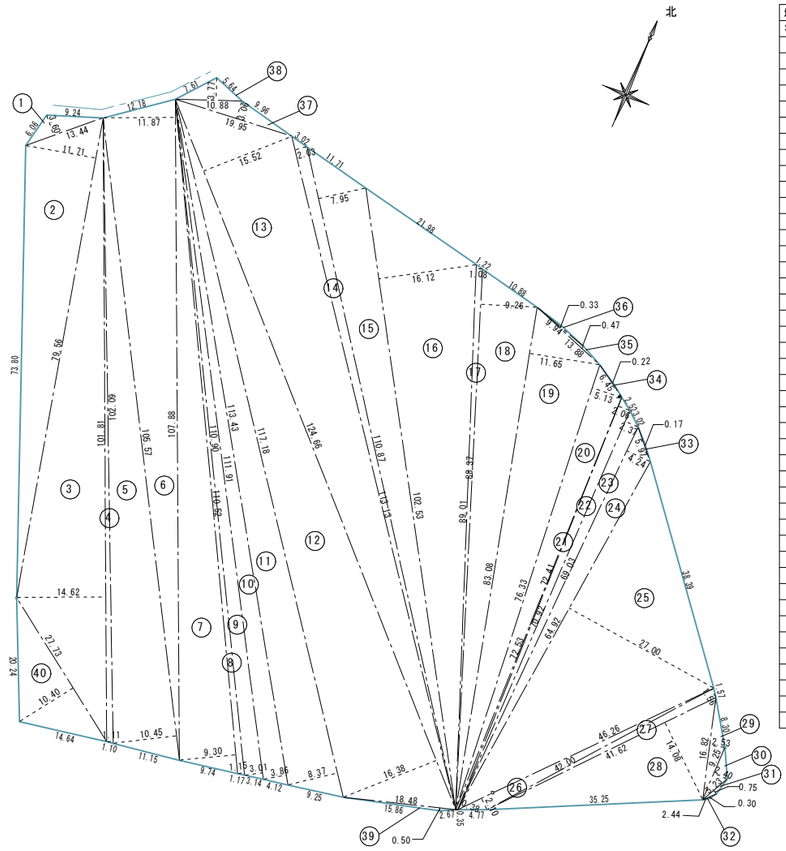
大月市立中央病院既存棟改修工事

図面NO.	図面名称	図面NO.	図面名称	図面NO.	図面名称	図面NO.	図面名称	図面NO.	図面名称
意　匠				電　気		機械			
Ａ　0	表紙、図面リスト			ＺＥ　1	図面リスト	Ｍ　1	図面リスト		
1	計画概要表、案内図、敷地求積図			2	電気設備工事特記仕様書（1）	2	共通　機械設備特記仕様書		
2	特記仕様書（1）			3	電気設備工事特記仕様書（2）	3	共通　空調設備　凡例		
3	特記仕様書（2）			4	電気設備工事特記仕様書（3）	4	共通　衛生設備　凡例		
4	特記仕様書（3）					5	給食棟改修　空調設備　機器表（新設）		
5	特記仕様書（4）			Ｅ　1	給食棟　動力制御盤結線図	6	給食棟改修　空調設備　１階ダクト平面図（新設）		
6	工事区分表			2	給食棟　１階　動力設備配線図	7	給食棟改修　空調設備　２階ダクト平面図（新設）		
				3	給食棟　２階　動力設備配線図	8	給食棟改修　空調設備　Ｒ階ダクト平面図（新設）		
				4	給食棟　Ｒ階　動力設備配線図	9	給食棟改修　空調設備　１階配管平面図（新設）		
	【給食棟改修工事】			5	給食棟　１階　コンセント設備配線図	10	給食棟改修　空調設備　２階配管平面図（新設）		
ＫＡ　1	仕上表１（給食棟）			6	給食棟　２階　コンセント設備配線図	11	給食棟改修　空調設備　Ｒ階配管平面図（新設）		
2	仕上表２（給食棟）			7	照明器具姿図　1	12	給食棟改修　空調設備　系統図・機器表（撤去）		
3	地下１階平面詳細図（給食棟）			8	照明器具姿図　2	13	給食棟改修　空調設備　地下１階ダクト平面図（撤去）		
4	既存１階平面詳細図（給食棟）			9	給食棟　１階　電灯設備配線図	14	給食棟改修　空調設備　１階ダクト平面図（撤去）		
5	改修１階平面詳細図（給食棟）			10	給食棟　２階　電灯設備配線図	15	給食棟改修　空調設備　２階ダクト平面図（撤去）		
6	改修２階平面詳細図（給食棟）			11	給食棟　地下１階　防災照明設備配線図	16	給食棟改修　空調設備　Ｒ階ダクト平面図（撤去）		
7	改修Ｒ階平面詳細図（給食棟）			12	給食棟　１階　防災設備配線図	17	給食棟改修　空調設備　１階配管平面図（撤去）		
8	既存１階天井伏図（給食棟）			13	給食棟　２階　防災設備配線図	18	給食棟改修　空調設備　２階配管平面図（撤去）		
9	改修１階天井伏図（給食棟）			14	拡声設備　器具姿図	19	給食棟改修　空調設備　Ｒ階配管平面図（撤去）		
10	改修２階天井伏図（給食棟）			15	拡声設備　系統図	20	給食棟改修　衛生設備　１階配管平面図（新設）		
11	矩計図（給食棟）			16	給食棟　地下１階　拡声設備配線図	21	給食棟改修　衛生設備　２階配管平面図（新設）		
12	建具表（給食棟）			17	給食棟　１階　拡声・インターホン設備配線図	22	給食棟改修　衛生設備　系統図・機器表（撤去）		
13	厨房機器リスト参考図（給食棟）			18	給食棟　２階　拡声・テレビ設備配線図	23	給食棟改修　衛生設備　地下１階平面図（撤去）		
14	１階改修後厨房機器レイアウト参考図（給食棟）			19	自動火災報知設備　凡例・特記仕様　系統図	24	給食棟改修　衛生設備　１階平面図（撤去）		
				20	給食棟　地下１階　自動火災報知設備配線図	25	給食棟改修　衛生設備　１階詳細図（撤去）		
				21	給食棟　１階　自動火災報知設備配線図	26	給食棟改修　衛生設備　２階平面図（撤去）		
				22	給食棟　２階　自動火災報知設備配線図	27	給食棟改修　衛生設備　Ｒ階平面図（撤去）		
	【既存棟外壁改修工事】			23	別館　地下１階　空調機電源設備配線図	28	給食棟改修　衛生設備　１階便所平面図（撤去）		
ＧＡ　1	外部仕上表			24	別館　１階　空調機電源設備配線図	29	給食棟改修　消火設備　１階平面図（新設・撤去）		
2	ボイラー棟　既存・改修立面図			25	別館　２階　空調機設備電源配線図	30	給食棟改修　消火設備　２階平面図（撤去）		
3	南棟　既存立面図			26	別館　地下１階　コンセント設備配線図	31	給食棟改修　１階厨房器具表（参考）		
4	南棟　改修立面図			27	別館　１階　コンセント設備配線図	32	給食棟改修　１階厨房器具配置平面図（参考）		
5	新館　既存立面図			28	別館　２階　コンセント設備配線図	33	別館　会議室改修　空調設備　機器表（新設）		
6	新館　改修立面図			29	別館　地下１階　電灯設備配線図	34	別館　会議室改修　空調設備　系統図（新設）		
7	レントゲン棟　既存・改修立面図			30	別館　１階　電灯設備配線図	35	別館　会議室改修　空調設備　地下１階平面図（新設）		
8	別館　既存立面図			31	別館　２階　電灯設備配線図	36	別館　会議室改修　空調設備　１階平面図（新設）		
9	別館　改修立面図			32	別館　地下１階　防災照明設備配線図	37	別館　会議室改修　空調設備　２階平面図（新設）		
10	給食棟　既存立面図			33	別館　１階　防災照明設備配線図	38	別館　会議室改修　空調設備　１階平面図（撤去）		
11	給食棟　改修立面図			34	別館　２階　防災照明設備配線図	39	別館　会議室改修　空調設備　２階平面図（撤去）		
12	南棟・レントゲン棟　矩計図			35	別館　地下１階　電話・拡声・テレビ設備配線図	40	別館　会議室改修　衛生設備　１階平面図（撤去）		
13	新館・別館　矩計図			36	別館　１階　電話・拡声・テレビ設備配線図	41	別館　会議室改修　衛生設備　２階平面図（撤去）		
14	給食棟　矩計図			37	別館　２階　電話・拡声・テレビ設備配線図	42	別館　会議室改修　衛生設備　１階平面図（新設）		
15				38	別館　地下１階　自動火災報知設備配線図	43	別館　空調更新　空調設備　機器表（新設）		
				39	別館　１階　自動火災報知設備配線図	44	別館　空調更新　空調設備　系統図（新設）		
				40	別館　２階　自動火災報知設備配線図	45	別館　空調更新　空調設備　地下１階平面図（新設）		
	【別館会議室改修工事】			41	給食棟　器具・配線撤去図	46	別館　空調更新　空調設備　１階平面図（新設）		
ＢＡ　1	仕上表			42	別館　器具・配線撤去図	47	別館　空調更新　空調設備　２階平面図（新設）		
2	既存地下１階平面詳細図（別館）			43	別館　地下１階　空調機電源設備更新配線図	48	別館　空調更新　空調設備　地下１階平面図（撤去）		
3	既存１階平面詳細ｘ図（別館）			44	別館　１階　空調機電源設備更新配線図	49	別館　空調更新　空調設備　１階平面図（撤去）		
4	既存２階平面詳細図（別館）			45	別館　２階　空調機電源設備更新配線図	50	その他　空調設備　機器表（新設）		
5	改修地下１階平面詳細図（別館）					51	その他　空調設備　１階平面図（新設）		
6	改修１階平面詳細図（別館）					52	その他　衛生設備　１階平面図（新設）		
7	改修２階平面詳細図（別館）					53	その他　衛生設備　２階平面図（新設）		
8	既存地下１階天井伏図（別館）					54	その他　衛生設備　１階平面図（撤去）		
9	改修地下１階天井伏図（別館）					55	その他　衛生設備　２階平面図（撤去）		
10	既存１階天井伏図（別館）								
11	改修１階天井伏図（別館）								
12	改修２階天井伏図（別館）								
13	建具表1（別館）								
14	建具表2（別館）								
15	矩計図（別館）								
16									
17									
18									
19									
20									

設計概要表	
工事名称	大月市立中央病院既存棟改修工事
工事場所	大月市大月町花咲1255番地
工事種別	改修工事
建築主	大月市長　石井　由己雄
建築主住所	山梨県大月市大月二丁目６番２０号
建物用途	病院
工　期	平成26年10月着工～
都市計画区域内外	都市計画区域内
用途地域	第一種住居地域
防火地域	指定無し
高度地区	指定無し
日影規制	指定無し
許容建蔽率	60%
許容容積率	200%
敷地面積	10,255.58　㎡
建築面積	5,171.16㎡
建蔽率	50.42%
延床面積	14,961.17㎡
自動車車庫等の部分	1,753.27㎡
容積対象延床面積	13,207.90㎡
容積率	128.78%
構造概要	既存別館：鉄筋コンクリート造　既存西棟：鉄筋コンクリート造
	既存南棟：鉄筋コンクリート造　既存給食棟：鉄筋コンクリート造
	立体駐車場：重量鉄骨造　病院新築東棟：鉄筋コンクリート造
建築規模	既存別館：地下１階地上２階、　既存新館：地上３階
	既存レントゲン棟：地上1階　既存南棟：地下１階地上３階
	既存給食棟：地下１階地上２階
	立体駐車場：地下１階地上２階　病院新築東棟：地下１階地上５階
建物高さ	領域１　領域２
	既存別館：11.256m　既存新館：11.77m　既存レントゲン棟：4.77m
	立体駐車場：8.186m　既存南棟：15.77m　既存給食棟：9.07m
	病院新築東棟：22.920m

案内図（no scale）

敷地求積図　（A1：S=1/500、A3：S=1/1000）



地番	1 現況実測面積		
符号	底辺	高さ	倍面積
1	13.44	3.60	48.384000
2	79.56	11.71	931.647600
3	101.81	14.62	1488.462200
4	102.09	1.11	113.319900
5	105.57	10.45	1103.206500
6	107.88	11.87	1280.535600
7	110.52	9.30	1027.836000
8	110.90	1.15	127.535000
9	111.91	3.01	336.849100
10	113.43	3.86	437.839800
11	117.18	8.37	980.796600
12	124.66	16.38	2041.930800
13	124.66	15.52	1934.723200
14	113.13	2.03	229.653900
15	110.87	7.95	881.416500
16	102.53	16.12	1652.783600
17	89.01	1.08	96.130800
18	88.37	9.26	818.306200
19	83.08	11.65	967.882000
20	76.33	5.13	391.572900
21	72.53	0.38	27.561400
22	72.41	2.06	149.164600
23	70.92	2.37	168.080400
24	69.03	4.24	292.687200
25	64.92	27.00	1752.840000
26	46.26	2.10	97.146000
27	42.00	1.56	65.520000
28	41.62	14.08	586.009600
29	16.82	2.53	42.554600
30	9.25	2.40	22.200000
31	5.23	0.75	3.922500
32	2.44	0.30	0.732000
33	5.97	0.17	1.014900
34	6.45	0.22	1.419000
35	13.88	0.47	6.523600
36	9.94	0.33	3.280200
37	19.95	3.06	61.047000
38	10.88	3.77	41.017600
39	18.48	0.50	9.240000
40	27.73	10.40	288.392000
		合　計	20511.164800
		合計面積	10255.5824000
		地　積	10255.58　㎡

工事件名	ＮＯ.	メモ	図面名称	縮尺	図面ＮＯ.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	計画概要表、案内図、敷地求積図	A1 1：400 A3 1：800 作成年月日 2014.07.01	Ａ－０１

００　特記仕様書の取扱いについて

1．項目は項目番号に○印をつけたものを適用する．
2．細目は，○印をつけたものを適用する．
3．その他特記事項は，（　）内に記載する．
4．製造会社，施工会社指定については，後棟のメーカーリストに依るものとし，同等品以上を読み替える事も可能である．
　但し，その仕様，採用に当っては，設計担当者の承認を受けるものとする．

０１　一般共通事項

A　一般事項

(1). 適用基準 ○本工事は，下記の設計図書に基づき施工する。その適用に当たっての優先順位は下記による。
1、質疑回答書
2、現場説明事項（見積要項を含む）
3、特記仕様書
4、設計図書
5、建設大臣官房官庁営繕部制定建築工事共通仕様書　及び日本建築学会標準仕様書

(2). 官公庁その他への手続き ○施工上必要な官公庁への他への手続きは，すべて工事施工者がその費用を負担し，延滞なく行う。

(3). 周知用看板 ○本工事の周知広報のため設計担当者の指示に従って，諸看板を制作取り付ける。

(4). 疑義 ○本工事の設計図書に関する疑義は，工事契約前に，質疑応答書をもって確かめておくものとする。
○設計図書に記載なくとも，外観上、構造上、設備上，当然 必要と認められるものは設計担当者の指示に従い，請負金額範囲内において施工するものとする。

(5). 軽微な変更 ○現場の納まり，取り合いの関係で材料の寸法，取り付け位置，又は取り付け方法の変更，あるいは施工上の数量を増減する等の軽微な変更は，設計担当者と協議の上行う。
この場合，請負金額の増減又は，工期の延長はしない。

(6). 既設部分との取合 ○既設建物と今回工事の取合部分，その他で工事の都合などにより破損，損傷させた箇所は，今回工事仕上，及び旧工事仕上同材にて完全補修しなければならない．

(7). 別途工事 ○別途工事についての工事工程ならびに，納まり等に関して，別途工事業者と密接に連絡し、調整しなければならない。

B　施工

(1). 工程表 ○現場担当者は，工事に先立ち総合工程表を作成し，建築主及び設計担当者に提出する。
又、工程に変更の必要を生じた時は，すみやかに変更工程表を作成し，再提出する。
（ネットワーク工程表）

(2). 施工図・制作図 ○設計図書に基づいて，施工に必要な施工図、制作図、原寸図、等を作成し，設計担当者の確認を受ける。

(3). 定例会議 ○工事の円滑な進行を計る為、工事期間中定期的に（原則的には週１回）各工事責任者を召集し，打合せを行うものとする。

C　記録

(1). 定例議事録 ○現場担当者は，上記定例会議の際議事録を取り，その都度設計担当者の確認を得るものとする。

(2). 工事報告書 ○工事（工程）報告書は毎月作成し３部提出する。写真を添付する。

(3). 工事写真 ○工事着工前には，敷地の状況及び近隣住宅の現況を撮影する。
○完成後外部から明視する事が出来ない工事を施工の都度撮影すること。

D　提出書類　等 ○本工事の提出図書は，上述のもの又下記に定める他、必要に応じて作成するものとする。

(1). 請負契約書 ○契約時に３部用意すること、その内の１部は設計者の控えとする。

(2). 提出図書

提出図書等	部数	提出時期	備考
現場代理人及び主任技術者	2	契約後速やかに	経歴書、１級建築士証明
協力業者名簿	2	契約後速やかに	
メーカーリスト	2	契約後速やかに	
仮設計画図、現況図	2	契約後速やかに	
変更工事見積書	2	その都度	
官公庁届出書類	2	その都度	
材料試験報告書	2	試験後１０日以内	

(3). 竣工図 ○背張り２つ折り製本Ａ３版４部及びＣＤ－Ｒ３部

(4). 竣工報告書 ○竣工後に、工事竣工届，工事竣工引渡書，竣工調書を２部提出すること。(内１部　写し)
○調書内容１）　工事概要
２）　工事担当者及び連絡窓口
３）　協力業者一覧
４）　仕上表
５）　主な材料のカタログ
６）　設備機器のメーカーリスト及びカタログ
７）　保守管理上の要点
８）　近隣対策記録
９）　工事記録
１０）　設備機器運転取扱説明書
１１）　許認可申請届出書及びその写し
１２）　保証書及びその写し
１３）　材料試験報告書
１４）　鍵リスト（鍵は、スチール製ケースに収納のこと）
１５）　その他

5．竣工写真 ・撮影は、建築写真家によるものとする。
・内容　１）　ＣＤ－Ｒ，１セット（外観１０カット・内観３０カット）
２）　カラー六ツ切（外観１０カット・内観３０カット）アルバム付にて2部提出．

E　管理

(1). 安全衛生管理 ○現場は常に整理，整頓，清掃に努め，安全，衛生に関する管理は関係法令に従って行う．

(2). 災害、公害、危険防止 ○工事施工者は災害、公害、危険防止のため関係法規の定める所に従い、十分な策を講じ工事を行う。他に損害を与えた場合の補修、保証は施工者の負担とする。

(3). 近隣補償 ○工事中の近隣よりの苦情に対しては施工者の責任において解決すること。

(4). 養生 ○施工済み部分、未使用材料などで、汚染又は損傷の恐れのあるものは適切な方法で養生する．

(5). 工事保証 ○建物竣工引き渡し後、２年以内において工事不良の為、生じたと認められる損害は、請負者の負担にて、敏速丁寧に復旧する。

F　材料

(1). 材料試験 ○使用材料は全て新品とし（仮設材を除く）特に規定されたものを除き「ＪＩＳ規格品」「ＪＡＳ規格品」の使用を標準とする。
○本工事に使用する材料のうち、設計担当者が指示するものに関しては、試験を行い、その成績表を提出し、承認を受けなければならない。尚それに要する諸経費は、全て請負業者の負担とする。

(2). 同等品 ○指定メーカー、製品、工法以外のものであっても、設計担当者が同等と認める場合は確認を得たのち使用することができる。

Ⅱ　建築・建築改修工事仕様

1．共通仕様
（１）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築（改修）工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備　工事編）（平成25年版）」（以下、「改修標仕」という。）による。
2．特記仕様
（１）項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙　印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ㊒ 印の付いた場合は、共に適用する。
（３）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、建築（改修）標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（４）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（５）Ｇ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　平成２５年版） ⊙工事写真の撮り方（改訂第三版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
	② 工事実績情報の登録	※適用する　［１．１．４］
	③ 品質計画等	⊙建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事　（１．２．２） ㊒　風速（Vo＝　30m／ｓ　） ㊒　地表面粗度区分（・　Ⅰ　・　Ⅱ　・　Ⅲ　・　Ⅳ） ⊙　積雪区分　Ｈ１２建告示第１４５５号　別表（２７）　山梨県建築基準法施工細則　50cm．
	④ 電気保安技術者	⊙要　　・不要　［１．３．３］ 工事現場において電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	⑤ 条件明示項目	⊙現場説明書による　［１．３．５］
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　［１．３．８］
	⑦ 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の項目を満たすものとする。 （１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （３）安定的な供給が可能であること （４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （６）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧ 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の５第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるＪＡＳ規格品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥｏ規格品 ④旧ＪＡＳのＦｃｏ規格品
	⑨ 特別な材料の工法	改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	［１．６．２］

適用工事種別	技能検定の職種
防水改修工事	⊙アスファルト防水工事作業　⊙合成ゴム系シート防水工事作業 ⊙塗膜防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業 ・左官　・建築板金
外壁改修工事	⊙左官　・タイル張り　⊙塗装（建築塗装作業）　⊙樹脂接着材注入施工
建具改修工事	⊙サッシ施工　⊙ガラス施工　⊙自動ドア施工
内装改修工事	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業　⊙ボード仕上げ工事作業 ⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）　⊙表装（壁装作業）　⊙左官 ・建築大工　⊙タイル張り
塗装改修工事	⊙塗装（建築塗装作業）
耐震改修工事	⊙鉄筋施工　⊙型枠施工　・とび
ブロック、ＡＬＣ工事	・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工
石工事	・石材施工（石張り施工）
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	⑪ 化学物質の濃度測定	［１．６．６］ 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・図示　⊙各階 測定箇所数　・図示　⊙㊐２室　合計12箇所 報告の様式等については、現場説明書による。
	⑫ 完成図等	⊙完成図　［１．８．１～３］［表１．８．１］ ○作成する　提出部数　※各２部　（A3製本及び電子媒体（CD-R）） ㊒竣工図　提出部数　※１部　⊙　２部 ㊒施工計画書　提出部数　※１部　⊙　２部 ㊒施工図　提出部数　※１部　⊙　２部 ⊙保全に関する資料　提出部数　※１部　⊙　２部
	⑬ 設備工事との取り合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑭ 設計ＧＬ	※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ　・　設計ＧＬ＝１ＦＬ－５００
	⑮ 工事写真	・「営繕電子納品要領（案）（平成１４年１１月版）」による
2 仮設工事	① 足場その他	内部足場　種別 ㊒きゃたつ、足場板等　・　［２．２．１］ 外部足場　種別 ㊒Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　［２．２．１］［表２．２．１］ 防護シートによる養生　㊒行う　・行わない 材料、搬去材等の運搬　［２．２．１］［表２．２．２］ ⊙Ａ種　㊒Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ⓔ種
	② 養生	既存部分の養生　㊒ビニルシート等　・　［２．３．１］ 既存家具等の養生　㊒ビニルシート等　・ 固定家具等の移動　㊒行わない　・行う（図示）
	③ 仮設間仕切	仮設間仕切等の種別　［２．３．２］［表２．３．１］

種　別	下　地	仕上材（厚さ　mm）	充てん材	塗　装
・A種	㊒軽量鉄骨	・合板（※９．０　・　　）		㊒無し
○B種	・木下地	㊒せっこうボード（※９．５　・	厚さ　mm	・片面
※C種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	㊒木製扉	※合板張り程度　・		㊒無し
	・鋼製扉	㊒片面フラッシュ程度　・		・有り

	④ 監督職員事務所	・既存建物内の一部を使用する　・構内に設置する　⊙設けない　［２．４．１］ ・規模及び仕上げの程度は現場説明書による。
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（㊒有償　・無償）
	⑥ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（㊒有償　・無償）
3 防水（改修）工事	1 アスファルト防水	［３．３．２～３］［表３．１．１］［表３．３．３～１０］

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	・Ｐ１Ｂ		・Ｂ－１　※Ｂ－２
	・Ｐ１ＢＩ　・Ｔ１ＢＩ		・ＢＩ－１　※ＢＩ－２
	・Ｐ２Ａ Ｉ		・ＡＩ－１　※ＡＩ－２
	・Ｐ２Ａ		・Ａ－１　※Ａ－２
露出防水	・Ｍ４Ｃ	別館エントランス屋上	・Ｃ－１　※Ｃ－２
防水	・Ｍ３Ｄ　・Ｐ０Ｄ		・Ｄ－１　※Ｄ－２
屋内防水	・Ｐ１Ｅ　⊙Ｐ２Ｅ		・Ｅ－１　※Ｅ－２

アスファルトの種類　※３種　・４種　防煙低臭型　［３．２．２］［３．３．２］
保護コンクリートのコンクリート種類　※無筋コンクリート　［３．３．２］
ＰＯＤ工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　［３．２．５］
Ｍ３Ｄ、ＰＯＤ工法の脱気装置　※設けない　・設ける　［３．３．３］
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（Ｍ４Ｃ工法の場合）　・除去する　［３．２．６］
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※７０　・３５　［３．３．２］
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　［３．３．２］
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ１５mm

		2 改質アスファルトシート防水	［３．４．２～３］［表３．１．１］［表３．４．１～３］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ（mm）
・Ｍ４ＡＳ工法	既存断館Ｒ階解体改修部分	・ＡＳ－１　・ＡＳ－２　・ＡＳ－３	
・Ｍ３ＡＳＩ工法 ・ＰＯＡＳＩ工法 ・既存シート防水撤去改質アスファルトシート防水新設		・ＡＳ－４　・ＡＳ－５　・ＡＳ－６	
・Ｍ３ＡＳＩ工法 ・Ｍ４ＡＳＩ工法 ・ＰＯＡＳＩ工法		・ＡＳＩ－１　・ＡＳＩ－２	

脱気装置　※設けない　・　設ける（ＡＳ-６）

4 外壁改修工事　共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　［１．５．２］ 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びひび割れを壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひび割れを壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※２部　・

章	項　目	特　記　事　項
4 外壁改修工事　共通事項	③ 合成高分子系ルーフィングシート防水	［３．５．２～３］［表３．１．１］［表３．５．１］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・ＰＯＳ工法 ・Ｓ４Ｓ工法 ⊙Ｓ３Ｓ工法		・Ｓ－Ｆ１　・Ｓ－Ｍ１ ・Ｓ－Ｆ２　⊙Ｓ－Ｍ２	・カラー ⊙シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・Ｍ４Ｓ工法		・Ｓ－Ｍ１　・Ｓ－Ｍ２		
・ＰＯＳＩ工法 ・Ｓ３ＳＩ工法 ・Ｓ４ＳＩ工法 ・Ｍ４ＳＩ工法		・ＳＩ－Ｆ１　・ＳＩ－Ｍ１ ・ＳＩ－Ｆ２　・ＳＩ－Ｍ２ ・ＳＩ－Ｍ３		

脱気装置　・設ける　⊙設けない　［３．５．３］
目地処理　ＰＣコンクリートの場合（　　）［３．５．４］

④ 塗膜防水　［３．６．２～３］［表３．１．１］［表３．６．１］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・ＰＯＸ工法		・Ｘ－１	・シルバー
○Ｌ４ＸＩ工法	図示による	⊙Ｘ－１	⊙カラー（軽歩行用ノンスリップ）

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（Ｌ４ＸＩ工法の場合）　・除去する　［３．２．６］
脱気装置　※設けない　・設ける　［３．６．３］

5 脱気装置　［３．３．３］［３．４．３］［３．５．３］

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ＡＢＳ樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	（　５０　） ㎡　当たり１箇所
・立上がり部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	（　　） ㎡　当たり１箇所

⑤ シーリング　［３．１．４］［表３．１．２］
シーリング改修工法の種類
・シーリング充てん工法　⊙シーリング再充てん工法
・拡幅シーリング再充てん工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　［３．７．２］［表３．７．１］
※下表以外は、改修標仕表３．７．１を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示による	ウレタン塗膜防水と接する部分はＰＵ－２
	その他は改修工事標準仕様書表3.7.1による

ＰＣＢ含有シーリング調査
・１次分析（ＰＣＢ含有分析の要否判定）
工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。
なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、ＰＣＢ含有分析が必要な場合は監督職員と協議する。

・２次分析（ＰＣＢ含有分析）
ＰＣＢの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。
１）採取箇所　計　　箇所
２）採取方法　分析機関の指定する方法により採取する
３）分析方法　ＧＣ－ＥＣＤ法による（ＪＩＳ Ｋ ０１１４）
シーリングにＰＣＢが含有していた場合の措置
１）除去方法　改修標仕３．７．５（ａ）による
２）処理方法　関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、ＰＣＢが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。

⑦ とい　［３．８．２］［表３．８．１］
といの材種
※配管用鋼管　⊙硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU）　㊒
鋼管製といの防露　［３．８．３］［表３．８．５］
・次の箇所は行わない（　　）
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
掃　除　口　※有り　・無し
縦どい受け金物の取付け　［３．８．３］
※図示　・標仕１３．５．３（ｄ）（２）による

8 アルミニウム製笠木　［３．９．２～３］［表３．９．１］

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備　考
・２５０形	１．６以上	※Ａ－１又は	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・３００形	１．８以上	Ｂ－１種		
・３５０形	２．０以上	・Ｂ－２種		
・１００形		（　　）		
・				

板材折曲げ形の取付工法　・　図示　［３．９．３］

9 折板葺　（１３．３．２～３）（表１３．２．１）

形　式	※重ね形カバー工法　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　88　）　山ピッチ（　200　）　板厚　※０．６　⊙０．８
材　料（規格等）	※塗装溶融５５％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（ＣＧＬＣＣＲ－２０－ＡＺ１５０） ・ヨドルーフ88改修工法同等品
軒先面戸板	※有り　⊙無し
断　熱　材	※有り（種別：　　厚さ：　　mm）　⊙無し
耐火性能	※３０分耐火　・無し

改修特記仕様書（その１）

工事件名	ＮＯ．	メモ	図面名称	縮尺	図面ＮＯ．
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	特記仕様書（１）	N.S 作成年月日 2014.07.01	Ａ－０２

4 外壁改修工事 共通事項

② 改修材料

○既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm²) 標準時	接着強さ (N/mm²) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm²)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

○パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性（標準）	接着強さ（標準）	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/mm² 以上	6.0N/mm² 以上	50.0N/mm² 以上	30.0N/mm² 以上	3.0（%）以下

a．均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b．対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c．常温・常湿（温度5℃～35℃、湿度15%～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

○可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/mm² 以上	1.0N/mm² 以上	1.0N/mm² 以上	最大引張応力1.0N/mm² 以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a．均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b．対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c．常温・常湿（温度5℃～35℃、湿度45%～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着さき	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度（N/mm）	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率（%）	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ（N/mm）	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び（%）	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘度に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a．外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。
b．タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。
c．「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d．常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e．ずれ抵抗性があること。
f．混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮さ	曲げ強さ
1.0N/mm² 以上	20.0N/mm² 以上	10.0N/mm² 以上

a．こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。
b．均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c．「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d．形状に異常が無く、だれが生じないこと。
e．常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

○ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン－酢ビ系等

曲げ強さ	圧縮強さ	接着強さ 標準時	接着強さ 湿潤時	接着強さ 低温時
（N/mm²）	（N/mm²）			
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性　裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）	引張接着性（材齢28日）	曲げ性能（材齢28日）	吸水性（72時間）	耐久性（劣化曲げ強さ）
3以上	3%以下	0.5N/mm² 以上	5.0N/mm² 以上	15%以下	5.0N/mm² 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分（%）	吸水性（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4－1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4～6]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※50～100	※40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形）
検査（コア抜取り） ※行わない [4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法： ）

・Uカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]
※充てん工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

4－2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去 ・行う（※全面 ・図示の範囲）

② ひび割れ部改修工法
・既存モルタル撤去工法（範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による）
※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.4.2] [4.4.5]
（※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面）

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形）
検査（コア抜取り） ※行わない [4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法： ）

○Uカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

○シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]
（※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面）
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.4.2] [4.6.3]
（※シール工法の範囲 ・ ）

③ 欠損部改修工法
既存モルタル面の欠損部 [4.1.4] [4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充てん工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2（g）による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

既製目地材 ・適用する（形状 ※図示 ・ ） [4.2.2]

④ 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.5.9～15] [表4.4.3～4]

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンニングの本数（本/m²） 一般部	アンカーピンニングの本数（本/m²） 指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	注入口の箇所数（箇所/m²） 指定部	充てん量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25ml ──
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25ml ・50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50ml ・

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm

4－3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ○図示の範囲
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法
改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面（・コンクリート面 ・モルタル面）
※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4] [4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形）
検査（コア抜取り） ※行わない [4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法： ）
・Uカットシール材充てん工法（既存タイル張り撤去面[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5～6]

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.7]

接着材の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』（建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月）」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプIであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4] [4.5.8]
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地 [4.5.8] [表4.5.1]
位置 ※改修標仕表4.5.1による ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.5.9～15] [表4.4.3～4]

改修工法の種類（タイルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数（本/m²） 一般部	アンカーピンの本数（本/m²） 指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	注入口の箇所数（箇所/m²） 指定部	充てん量 注入量
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25ml ──
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25ml ・50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50ml ・

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.16]
・伸縮目地改修工法 [4.1.4] [4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2] [表3.7.1]
種類 ※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器質タイル張り

タイルの種類 [4.2.2] [4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小R、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き ※行わない ・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8] [表4.5.3]
外装タイル ・密着張り ・マスク張り
タイルの試験張り ※行わない ・行う

4－4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

① 既存塗膜等の除去及び下地処理
既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3] [表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
※サンダー工法	※既存仕上面全体 ・	○ひび割れ部改修工法
○高圧水洗工法 加圧力 ※50MPa程度	※既存仕上面全体 ・	○浮き部改修工法 ○欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

塗膜はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材 ※下地調整塗材 [4.2.2] [4.6.4]
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上げ塗材主材を使用

⑤ 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4] [4.2.2] [表4.2.3～4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・ ・ ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 砂壁状
○複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ○複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候形3種 ・ 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2] (15.5.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

5 建具改修工事

① 改修工法の適用 [5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	備考
○アルミニウム製建具		・	・	
○鋼製建具	○外部	・	・	
	○内部	・	○	
○鋼製軽量建具		・	・	
・ステンレス製建具		・	・	

2 見本の製作等 ・特殊な建具の仮組（建具符号： ） [5.1.5]

③ アルミニウム製建具
外部に面する建具 [5.2.2] [表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
○A種	S－4	※A－3 ・	・	※70 ・	※図示 ・
・B種	S－5		※W－4		
・C種	S－6	A－4	W－5	100	

表面処理 [5.2.4] [表5.2.2]
※B－1 ・B－2（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
屋内建具
表面処理 ※C－1種又はB－1種 [5.2.4] [表5.2.2]
・C－2種又はB－2種（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
○両引き分け折戸は、ドリーム自動ドアまたは日本自動ドア同等品とする。

④ 網戸
防虫網 [5.2.3]
網の種別 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316）
形式 ※外部可動式 ・固定式

⑤ 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.3.2] [表5.3.1]
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備の戸 ○ 適用する [5.3.4]

⑥ 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2]

7 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.5.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・ [5.5.4]
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強有り） [5.5.5]
特定防火設備の戸 ・ 適用する

⑧ 自動ドア開閉装置
※製造所標準製作規定寸法許容差による [5.7.2～3] [表5.7.1～3]

開閉方法	センサの種類
※スライデイングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ・電子マットスイッチ
	※光線スイッチ ・音波スイッチ
	・熱線スイッチ ・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

⑨ 自閉式上吊り引戸装置
品質規格 ※ 改修標仕 5.8.3 による [5.8.3] [表5.8.1]
○ 製造所標準仕様による

10 木製建具
かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） (16.6.2)
ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） (表16.6.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.6.2)
※規制対象外 ・第三種

⑪ 建具用金物
マスターキー ※製作する ・製作しない [5.6.4]
建具用金物 [5.6.2～3] [表5.6.1～2]
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける
吊金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
○ピボットヒンジ

⑫ ガラス
※建具表による [5.12.2]
・ガラスブロック 改修標仕5.12.5による [5.12.5]

寸法（mm）	色調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー（ ）		※無し ・有り

⑬ ガラス留め材及び溝
ガラス留め材 [5.12.2] [表5.12.1]

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.12.3]
改修標仕5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会JASS17 ガラス工事 「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。

⑭ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1

品質JIS A 5759による

⑮ 重量シャッター [5.9.2] [表5.9.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（ ）N/m
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（ ）N/m
○LV厚改修用防火防煙シャッター	樹脂コーティングシリカクロス（約0.7mm）避難開口付き
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能
※上部電動式（手動併用） ○上部手動式
危害防止機構 ※障害物感知装置（自動閉鎖型） [5.9.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ○設けない [5.9.2]

16 軽量シャッター
開閉形式 [5.10.2] [表5.10.1]
※手動式 ・上部電動式（手動併用）
スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.10.3]
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.10.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）
耐風圧性能（ ）N/m²

改修特記仕様書（その2）

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	特記仕様書（2）	N.S 作成年月日 2014.07.01	A－03

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア [5.11.2～4] [表5.11.1～2]

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （ＳＵＳ３０４）

耐風圧性能（　　）N/m²

18 かぎ箱

市販品
形　式　・３０組用　・６０組用　・１２０組用　・

6 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
③壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
③壁面より両側６００mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
③既存のまま
○図示の範囲
塩ビ既成見切り材などの仕様は新病棟特記仕様書による

② 既存床の撤去並びに下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　㊟仕上げ材のみ（接着剤とも）
○下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　㊟改修箇所の室内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修 [6.3.2] [4.4.9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
③図示
○モルタル塗り（塗り厚２５mmを超える場合の補強　㊟行う　・行わない）

4 木下地等

木材の品質 [6.5.2] [表6.5.2～3]
※改修標準仕様書６．５．２による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表６．５．４による [6.5.2] [表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所（　　）
保存処理木材を適用する箇所（　　）

5 集成材等 K [6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・１種　※２種　・３種	・	
・造作用集成材	※１等　・２等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１等　・２等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第３種

⑥ 接着剤

接着材に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 [6.5.2]
㊟木工事に使用する接着剤
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
③規制対象外　・第３種
[6.8.2] [6.14.2]
㊟壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
③規制対象外　・第３種

7 防腐、防蟻処理

行う箇所（　　）
防腐処理　※行う（※図示　・　　）
防蟻処理　・行う（※図示　・　　）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存（防腐・防蟻剤）剤は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床 [表6.5.11]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第３種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（共仕１９．５．２による）	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第３種	
	・縁甲板	※ひのき　・	

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 [6.6.2] [表6.6.1]
屋外（・１９型　㊟２５型）　屋内（㊟１９型　・２５型）
既存の埋込インサート　・一部使用する　・使用しない [6.6.3～4]
あと施工アンカーの引抜き試験　・行う　○行わない [6.6.4]

⑩ 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが５ｍを超える場合　※ 図示 [6.7.3] [表6.7.1]

⑪ ビニル床シート張り [6.8.2]

種　類	ＪＩＳの記号	色　柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※ＮＣ　・	※無地　・マーブル柄	※２．５
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
○　内部仕上表参照			
・			

工法　㊟熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　） [6.8.3]

○種類：○長尺塩ビシートＡ　サンゲツ　グラニット同等品　2.0*2000*12500
・種類：・長尺塩ビシートＢ　サンゲツ　エスリューム・マーブル同等品　2.0*2000*10000
・種類：・長尺塩ビシートＣ

・種類：・タジマ視覚障害者用ゴムタイル、ガイドタイル同等品　t=2.0

⑫ ビニル床タイル張り [6.8.2]

種　類	ＪＩＳの記号	厚さ（mm）	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	ＣＴ	※２	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	ＣＴＳ	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	ＨＴ	・	
・ＯＡフロア対応ビニル床タイル		※２	タジマ　ﾚｲﾌﾗｯﾄﾀｲﾙ同等品

⑬ 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※２　・	体積抵抗値（ＪＩＳ Ｋ ６９１１による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	１．０Ｘ１０⁹ Ω　以下、または、
・ＯＡﾌﾛｱ対応用ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ500*500	・５．０	漏えい抵抗値（ＪＩＳ Ａ １４５４による）
・	・	１．０Ｘ１０⁷Ω　未満

・種類：　・ＯＡフロア対応ビニル床タイル　タジマ　ﾚｲﾌﾗｯﾄﾀｲﾙLF-2000同等品　5.0*500*500

14 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材） [6.8.2]

ブロックパターンはＪＩＳ Ｔ ９２５１による
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※３００　・　　）
・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※３００　・　　）

15 ビニル幅木

高さ（mm）　○６０　・７５　・１００ [6.8.2]

16 合成樹脂塗り床 [6.10.2～3] [表6.10.1～7]

種　別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
○エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第３種

17 フローリング張り [6.11.2～7] [表6.11.1～4]

種　別	材　種	工　法	仕上げ塗装等	備考
※天然木化粧複合フローリング	※なら ・ひのき	※釘どめ工法（Ｃ種）	※塗装品 ・無塗装品	
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・　第３種

18 畳敷き [6.12.2～3] [表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕　表６．５．９による床組	※Ｂ種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※Ｃ種　・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする
コルクタイル下地　　厚さ（mm）　※40　・㊺　・80
長尺塩ビシート類　厚さ（mm）　※80　・95　○10
※油化三昌　ネダフォーム同等品
担当　斉藤　03-6212-6395
施工　昭和工営　担当　佐々木　045-228-8564

19 ポリスチレンフォーム床下地材

・繊じゅうたん [6.9.2～3] [表6.9.1]

種　別	パイル形状	帯電性	色柄　等	備考
・Ａ種	・カットパイル	人体帯電圧	※無地	
・Ｂ種	・ループパイル	※３kv以下	・柄物（標準品）	
・Ｃ種	・カット、ループパイル併用	・	・	

耐電性　※人体帯電圧３kV以下　・

20 カーペット敷き

・タフテッドカーペット [6.9.2～3] [表6.9.2]

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備考
・カットパイル	※５～７　・	※全面接着工法	
・ループパイル	※４～６　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※４　・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性　※人体帯電圧３kV以下　・

○タイルカーペット [6.9.2～3] [表6.9.2]

パイル形状	種　類	種　類	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※５００×５００ ・	※６．５ ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧３kV以下（フリーアクセスフロア新設範囲）

23 せっこうボードその他のボード張り [6.13.2] [表6.13.1]

種　類	ＪＩＳの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HM K	・１５　・２０　・２５　・
・普通木毛セメント板	NM K	・１５　・２０　・２５　・
○けい酸カルシウム板	０．８FK	タイプ２（無石綿）　○６・８　・　　）
○ロックウール化粧吸音板	DR	㊟ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ　９（不燃）　○１２（不燃）　・ ・凹凸タイプ （※１２（不燃）　・１５　・１９　・　　）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR DR(凹凸) DR(軒天) DR(軒天凹凸)	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ　９（不燃）　○　ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ１２（不燃） ・凹凸タイプ　（※１２　・１５）（不燃）
○せっこうボード	GB-R	㊟１２．５（不燃）　○９．５（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	９．５（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
○シージングせっこうボード	GB-S	１２．５（不燃）
○強化せっこうボード	GB-F	１２．５（不燃）　１５．０（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	９．５
○化粧せっこうボード	GB-D	９．５（不燃）910*910mm
・難燃合板	K	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板	K	ＪＩＳ Ｋ ６９０３による　厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF K	・３　・７　・９　・１２　・
・単板張りパーティクルボード	K	・無研磨板　・研磨板 ・１０　・１２　・１５　・１８　・
・ハードボード（素地） ※規制対象外　・第３種	HB K	・無研磨板（・スタンダード　・テンパード） ・研磨板　（・スタンダード　・テンパード）
・インシュレーションボード	IB K	Ａ級（・天井仕上　・内装仕上　・　　） ・９　・１２　・１５　・１８　・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※繊維混入化粧ケイ酸カルシウム板：６mm　0.8化粧けい酸カルシウム板　ｴｰﾏｲﾄﾞｴｰﾏﾃｨｱﾙ　ステンド＃400不燃
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
③適用する　・適用しない
○不燃メラミン化粧板ｔ3.0：アイカ「セラール」同等品

22 吸音材 [表6.13.1]

種　類	ＪＩＳの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	※２５　・
※グラスウール吸音ボード３２Ｋ	GW-B	※２５　・

24 壁紙張り [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維（織物）	プラ ビニル	その他 化学繊維	無機質	防火性能	備考
仕上表による	・	・	○	・	○	○不燃・準不燃・難燃	一部強化
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ [6.14.3] [表7.2.4] [表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※ＲＢ種　・ＲＡ種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　※ＲＢ種　・ＲＡ種（施工箇所：　　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第３種 [6.14.2]

25 モルタル塗り材料

吸水調整材 [6.15.3]

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±１．０	３０分で１ｇ以下	０．９８以上	５０以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝　結　時　間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の５%以下	ＪＩＳ Ｒ ５２０１の試験において 始発　１時間以上 終結　１０時間以内	７０%以上	９５%以下	８０%以下

膨張性のひび割れおよびそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　○適用する

26 陶磁器質タイル張り

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	せっ器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 あり	なし	色 標準	特注	再生材の適用K	備考
風除室　床	300角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	ダイカスSNNRA程度
特殊浴槽室　床	50角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	ブレバS0程度
特殊浴槽室　壁	100角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	ボディSWアイ程度
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　㊟行わない　・行う（※外装タイル　・　　）
内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り

26 断熱材 （19.9.2～3）

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※２種ｂ	※一般部 ・	※２５ ・	特定フロンを使用しないもの
	※３種ｂ（スキン層付）	・接地部分 ・	※２５ ・	
○現場発泡断熱材		㊟断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの
		○一般部 ・（位置は図示による）	㊟１５ALC ○２０RC	難燃性※３級　・２級

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
断熱材のホルムアルデヒドの放散量　㊟規制対象外　・第３種

27 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※２００ ・１００	回り縁は種付きとし、製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※３００ ・１００	

28 フリーアクセスフロア （20.2.2）

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備　考
	・パネル構法		・１．０Ｇ	・３，０００Ｎ	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・０．６Ｇ	・５，０００Ｎ	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・１．０Ｇ	・３，０００Ｎ	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・０．６Ｇ	・５，０００Ｎ	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・１．０Ｇ	・３，０００Ｎ	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・０．６Ｇ	・５，０００Ｎ	・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技
術評価において評価を取得したものを又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、各内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※２０～３０パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

29 可動間仕切 （20.2.3）

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・建具表参照 ・	※鋼板 （※0.5　・0.8） ・	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり （　　） ・なし	・あり ・なし

※小松ウォール　MW-GFRAME及びMW-70タイプ同等品

30 移動間仕切 （20.2.4）

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ	80	※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は２３壁紙張りによる
遮音性能はＪＩＳ Ａ ６５１２の遮音試験に準拠する
※小松ウォール　ＨＳ－６０同等品

31 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）（２０．２．５）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※SUS幅木型　・足金物型
※小松ウォール　サニティブースTB-GP同等品

32 階段滑止め

材　種　ステンレスＳＵＳ３０４ （20.2.6）
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）　約３５
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

33 階段手すり

種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ ・SGP34φ亜鉛メッキ処理	既存別館渡り廊下屋外階段
・ビニル製ハンドレール（幅　約５０mm）	

34 黒板及びホワイトボード （20.2.8）

種　類		寸法（mm）	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒 ※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

35 表示

衝突防止表示　※図示（市販品　※ステンレス製　径約３０mm　・　　）（２０．２．１０）
（・両面　・片面）
○サイン工事にて対応
表示標識　案内用図記号についてはＪＩＳ Ｚ ８２１０による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所

36 ブラインド（別途工事）

・既存再使用する（養生方法：　　） [2.3.1] [5.1.6]
・新設する （20.2.12）

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※２５ ・
・縦型	・１本操作コード ・２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・８０ ・１００

37 ロールスクリーン（別途工事）

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する （20.2.13）

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	性　能（防炎性能）	備　考
	・	・		
	・	・		
	・	・		

38 カーテン（別途工事）

○既存再使用する（養生方法：　　） [2.3.1] [5.1.6]
・新設する （20.2.14）

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

39 カーテンレール

○既存再使用する（吊式、天井面） [5.1.6]
・天井面へ新設する （20.2.14）
材　種　※アルミニウム製　・ステンレス製（新設）
形　式　・片引き　・引分け（※暗幕用は３００mm以上の召合せの重掛けとする）

40 ブラインドボックス及びカーテンボックス

○既存再使用する [5.1.6]
・新設する
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）・９０×１５０　※１２０×８０　・１２０×１５０　・１５０×８０　・
色彩　※Ｂ－１　・Ｂ－２（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
○図示

41 天井点検口

材　質　アルミニウム製（※額縁タイプ　○目地タイプ）

42 床点検口

材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	ＪＩＳ Ｓ １０３９の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	ＪＩＳ Ｓ １０４０の規格による	※１種　・２種　・３種

44 くつふきマット

市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

45 流し台ユニット

種　類	寸法（Ｌ＝ mm）	適用内容	規格・品質等
○流し台	※1200　・900　・1800	トラップ付き	㊟優良住宅部品
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード　※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200　・９００　・600	H=500　下端1,650 天井とのスキマ壁塞ぎ	・
・水切り棚	※1200　・９００	ステンレス製　※１段式	※市販品

46 屋内掲示板

サイン工事　図示による

47 洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約４５０　・約６００

48 収納家具

材質　図示による （12.2.2）（19.7.2）
形状・寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第３種

49 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※網入り磨板ガラス ・コンロ台	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※５００ ・８００ ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式 ・コンロ台 ・コンロ台	鋼板製又はアルミ製	※５００ ・８００ ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

50 乾式２重床

※フクビ　フリーフロアＣＰ工法H=80,220同等品

改修特記仕様書（その３）

工事件名	ＮＯ．	メモ	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	図面名称	特記仕様書（３）
		縮尺	N.S
		作成年月日	2014.07.01
		図面ＮＯ．	Ａ－０４

7 塗装改修工事

① 材料

屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
◎規制対象外　・第三種

② 下地調整　［7.2.2～7］［表7.2.1～7］

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種　◎RB種	
鉄鋼面	・RA種　◎RB種	
亜鉛めっき面	・RA種　◎RB種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	◎RB種　・RC種	
モルタル、プラスター面	・RA種　◎RB種	
コンクリート、ALCパネル面	・RA種　◎RB種	（2－UE）、（2－ASE）及び（2－FUE）は除く
せっこうボード、その他ボード面	・RA種　◎RB種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修　［表7.2.4～6］
◎行わない　・行う（補修範囲及び補修方法は図示）

3 合成樹脂調合ペイント塗り　新規鉄面の塗りの種別　・A種　※B種　［7.4.4］［表7.4.2］

4 フタル酸樹脂エナメル塗り　新規木部の塗りの種別　・A種　※B種　［7.5.2］［表7.5.1］
新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種別　・A種　※B種　［7.5.3］［表7.5.2］

5 2液形ポリウレタンエナメル塗り　［7.8.2～4］［表7.8.1～3］

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	

6 アクリルシリコン樹脂エナメル塗り　新規鋼製建具等　※B種　［7.9.3］［表7.9.2～3］

7 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り　［7.10.2～4］［表7.10.1～3］

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	

◎ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り　EP-G　新規の塗りの種別　・A種　※B種　［7.11.2］［表7.11.1］

◎ 合成樹脂エマルションペイント塗り　EP　新規の塗りの種別　○A種　※B種　［7.12.2］［表7.12.1］

10 合成樹脂エマルション模様塗り　新規の塗りの種別　・A種　※B種　［7.14.2］［表7.14.1］
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種　別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C－3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C－1種　・C－2種

8-1 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

① 鉄筋の種類　［8.2.1］［表8.2.1］

種類の記号	呼び名（mm）
○SD295A	◎D16以下　・
○SD345	◎D19以上　・
・	

② 溶接金網　網目の形状、寸法及び鉄線の径　［8.2.2］

網目の形状、寸法（たて×よこ）	鉄線の径または呼び（mm）	規格
◎100×100	◎6.0	JIS G 3551による
・	・	

③ 鉄筋の継手　継手工法　［8.3.4］［表8.3.3］

継手方法	呼び名（mm）	適用箇所
・ガス圧接		
○重ね継手		
・		

④ 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ　鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、目地底から算定する。　［8.3.5］［表8.3.6］
○耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕 表8.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打ち放し面	◎10　・

5 各部の配筋
柱の配筋
帯筋の組立ての形の種別　［8.3.4］［図8.3.4］
・H形　・W－I形　※W－III形

6 ガス圧接　圧接部の確認試験　［8.3.9］
※超音波探傷試験
・引張試験

⑦ コンクリートの種類及び強度　レディーミクストコンクリートの類別　［8.1.3］［表8.1.1］
※I類　・II類
普通コンクリートの設計基準強度　［8.1.3］

設計基準強度Fc（N/mm²）	適用箇所
※　21	
・　24	

軽量コンクリートの設計基準強度　［8.10.1］［表8.10.1］

設計基準強度Fc（N/mm²）	気乾単位容積質量（t/m³）	種　別	適用箇所
◎21			
・			

⑧ コンクリートの品質　スランプ　［8.1.4］

スランプ（cm）	適用箇所
◎18	
・	

9 普通コンクリート
セメントの種類　［8.2.5］［表8.2.3］
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種
普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

混和材料
混和材料の種類　［8.2.5］
※混和剤
・混和材

10 モルタル及びグラウト材
柱底等の均しモルタル　（7.2.9）（7.10.3）（表7.10.2）［8.2.10］
※　無収縮モルタル
・　標仕表7.10.2によるB種

グラウト材　［8.2.10］
※無収縮グラウト材

無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による
無収縮グラウト材　プレミックス及び現場調合形

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルフォアルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウトの品質及び試験方法（現場調合形においては標準使用量・配合値）

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　20N/mm　以上 材齢28日　40.0N/mm　以上
付着強度	材齢28日　2.5N/mm　以上
塩化物量	0.30kg/m³　以下
試験方法	1)日本道路公団規格（JHS）の「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う。 2)塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルフォアルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）：砂＝1：1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　25.0N/mm²　以上 材齢28日　45.0N/mm²　以上
付着強度	材齢28日　3.0N/mm²　以上
塩化物量	0.30kg/m³　以下
試験方法	1)日本道路公団規格（JHS）「無収縮モルタル品質管理試験方312-1992による。 2)塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

11 無筋コンクリート　（6.14.3）

種　類	設計基準強度（N/mm²）	スランプ（cm）	粗骨材の最大寸法	適用箇所
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25mm	
・軽量コンクリート	・		・20mm	

12 高い強度のコンクリート　設計基準強度（N/mm²）　［8.9.1～2］［8.9.4］
・27　・30　・33　・36
適用箇所（　　）
混和材料　［8.9.3］
※混和剤
※高性能AE減水剤標準形又は遅延形

13 鉄骨製作工場　製作工場の加工能力　［8.1.5］
・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。
入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図示　・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示　・

14 施工管理技術者　◎適用する　（7.1.4）

15 鋼材　鋼材の材質　［8.2.7］［表8.2.5］

種類の記号	適用箇所	規格等
SS400	鉄骨補強部、再構築部　梁・ブレース・他	◎JIS規格による
STKR400	鉄骨補強部、再構築部　柱	◎JIS規格による
		※JIS規格による

16 スカラップ　※改良型スカラップ　・

17 高力ボルト　高力ボルトの適用　［8.2.8］
※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト

18 鉄骨工作仮組　・行う　※行わない　［8.12.9］

19 溶接部の試験　完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　［8.14.11～12］
※行う

20 錆止め塗料　耐火被覆材の接着する面の塗装　［8.16.3］
・行う（※JIS K 5622　・　）
※行わない

21 耐火被覆材　［8.17.2～6］

種　別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・耐火板張り		

22 既存コンクリート面の目荒し　適用範囲　［8.19.3］［8.20.3］
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱・梁面　打継ぎ面又は接合面全面の3／4以上
※壁面　打継ぎ面又は接合面全面の1／3程度
・
目荒らしの程度
※平均深さ5～10mm（最大深さ10～15mm）程度の凹部を施す

23 あと施工アンカーの材料　あと施工アンカーの材料　［8.2.4］
・金属系アンカー（耐震補強用）
※接着系アンカー
接着剤の品質　◎有機系　・
アンカー筋の種類　◎鉄筋コンクリート用棒鋼
・全ねじボルト

24 あと施工アンカーの穿孔　穿孔前の埋込み配管等の探査　［8.11.2］
範囲　※あと施工アンカー施工部分全て　・図示
方法　※探査器により探査し、配管等の位置の墨出を行う
・はつり出しによる

25 施工確認試験　アンカー筋※行う（確認強度は図示による）　［8.11.5］

26 断熱材兼用型枠　（19.9.2）（19.9.3）

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗 ＝厚さ／熱伝導率 ＝0.676以上 （m²・kl/w）
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

8-2 耐震改修工事

1 打増し壁に用いるシアコネクタ　現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ　［8.2.4］
種類　※「23 あと施工アンカーの材料」による
間隔（mm）　※500×500　・図示

2 増設・補強工事のコンクリートの打込み　工法の種類　［8.19.8］［8.21.5］
流し込み工法または圧入工法

3 柱補強　溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法　［8.21.5］
柱頭柱脚の隙間部間の型枠
※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む　・図示

4 連続繊維シート巻き　材料・形状　［8.2.11］
採用した工法の規定を満足するもの
材質
引張り強度（含浸硬化後）
・2500N/mm²以上
・3000N/mm²以上
ヤング係数（含浸硬化後）
・2.35×10⁵　N/mm²　程度
・2.00×10⁵　N/mm²　以上
工法　［8.21.7］
※（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法
・　SR－CF工法
下地調整
仕上げモルタルの除去　［8.21.7］
※　行う　・行わない
柱の隅角部の面取り　［8.21.7］
※　工法の評価内容による

5 スリットの施工　スリット部の配管等の探査　［8.22.2］
※　探査器により探査し、配管等の位置の墨出を行う
・はつり出し

9 環境配慮（グリーン）改修工事

① アスベスト含有調査（調査済み）　・行う（下表による）　○行わない

材　料　名	調査方法	1材料あたりの試料数
	※X線回折分析	※3
	・	・

2 アスベスト除去工事　吹付けアスベストの施工数量調査　［9.1.2］［表9.1.1～2］
※　行う
アスベスト粉じん濃度測定　※　行う
表9.1.1及び表9.1.2による他、関係法令及び関係条例に定める方法により測定する。
除去工事を行う当該建物の数地境界において、規制のある場合はその規制に従う。
作業管理者は、資格証明書の写しに工事履歴書を添付して監督職員に提出し、承諾を受ける。
吹付けアスベストのアスベスト処理後の機能回復のための工事　※図示
測定室　・図示
測定点　・図示

3 アスベスト成形板の処理等　処理を行うアスベスト成形板の仕様等　［9.1.3］

材　料　名	厚さ（mm）	処理を行う範囲
		※図示　・

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
（1）アスベスト成形板使用部位の確認
（2）アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認
（3）アスベスト成形板使用数量の確認

4 外断熱改修工事　断熱材の種類　［9.3.2］

材　料　名	厚さ（mm）
・ビーズ法ポリスチレンフォーム　・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム　・フェノールフォーム	
・ロックウール　・グラスウール	

外装材の種類　［9.3.2］

	防火性能	
・		

既存外壁の仕上材の撤去　・有り　・なし　［9.3.3］
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様
・
通気層　・有り（　mm　）　・なし　［9.3.4］
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける
特記無き事項は、製造所の仕様による。

⑤ ガラス改修工事　複層ガラスの厚さ　建具表による　［9.4.2］
断熱性・日射遮へい性による区分　※ U3-1　・ U3-2

6 屋上緑化改修工事　システムの種類　［9.6.1］
・管理型　・省管理型
その他特記事項は図示

7 透水性アスファルト舗装改修工事　路盤材料　［9.7.4］［表9.7.5］
※再生クラッシャラン（RC－40）
・クラッシャラン（C－40）又はクラッシャランスラグ（CS－40）
透水性の高いものを使用する
遮断層及び凍上抑制層の材料　［9.7.3］
・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
厚さは図示
盛り土に用いる材料　［9.7.3］［表9.7.1］
・A種　※B種　・C種　・D種
路床安定処理
※添加材料による安定処理　［9.7.3］［表9.7.3］
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量　kg/m³（目標CBR　※5以上　・　）
路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）
路床締固め度の試験　※行う
アスファルト混合物　［9.7.6］［表9.7.7］
車道部　※改質アスファルトⅠ型
歩道部　※ストレートアスファルト
透水性舗装　［9.7.9］
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

改修特記仕様書（その4）

工事件名	NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	

佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体

メモ

（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476
統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666

図面名称	縮尺	図面NO.
特記仕様書（4）	N.S	A－05
	作成年月日 2014.07.01	

＊本工事は、特記部分を除き全て一括発注工事とする。
＊この表は、設計図で示される一般的工事区分を補足するもので、関連工事とのとりあい部分についてその施工分担を示すものである。

項目	内容	建築		電気	機械設備		備考
		建築	昇降機		給衛	空調	
1．撤去 解体工事	解体、内装撤去工事	○		○	○	○	設備機器類撤去は各設備工事とする。
2．式典	（1）起工式						
	（2）上棟式						
	（3）竣工式						
3．工事公害対策	（1）電波障害対策						
（当該法規、条例、制度による。）	（2）地盤、家屋、植栽等の損害補償	○					工事に起因するもの
	（3）路線バス運行への警備員誘導	○					
4．外構工事	（1）外構工事						
	（2）植栽工事						
5．エレベーター工事	エレベーター工事						
6．各種水槽 ピット （建物と一体構造のもの）	（1）消火水槽 汚水槽等 でコンクリート造のもの						
	（2）建物躯体内の各種水槽釜場						
	（3）消火水槽の人孔蓋（防水型）及びタラップ 除害施設槽等の人孔蓋（脱臭型）及びタラップ						
	（4）二重床内改め口						
	（5）二重底盤通気管 通水管						
	（6）二重壁内の水抜管						
7．トレンチ 排水溝	（1）各種設備桝蓋及び人孔蓋			○	○仮設枡共		
	（2）屋内排水溝及び人孔蓋	○					
8．機器等の基礎	（1）機器用基礎（コンクリート現場打）	○				○	
	（2）屋上機器の基礎(既製品)			○	○	○	
	（3）屋上機器の基礎（鉄骨）				○	○	
	（4）機器、水槽等のアンカー		○	○	○	○	
9．スリーブ 及び補強	（1）各種配管用スリーブ	○		○	○	○	
	（2）ガラリ用スリーブ						
	（3）衛生器具(大便器)取付用箱入れ				○		
	（4）埋込型屋内消火栓取付穴用等の箱入れ						
	（5）分電盤取付穴用等の箱入れ			○			
	（6）各種スリーブ箱入れ部分の補強	○					
	（7）避雷針取付部						
	（8）外壁貫通スリーブまわりの防水	○					
	（9）床貫通スリーブまわりの防水	○					
	（10）貫通穴及びダクトまわりの空隙充填			○	○	○	
10．天井	（1）埋込照明器具、空調換気用吹出口等 埋込器具類取付のための 天井切込及び下地補強	○					
	（2）換気扇取付枠及び穴あけ	○					
	（3）ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰの開口						
	（4）同上設備プレート						
	（5）空調吹出口及び吸込口						
11．改め口、点検扉	（1）天井改め口	○					
	（2）各種シャフト点検口	○					
12．はつり及び補修	（1）配管のための貫通及び埋込個所のはつり 補修	○		○	○	○	
13．サイン	（1）一般サイン	○					
	（2）外部看板等						
	（3）電気盤、ﾌﾟﾚｰﾄﾈｰﾑ			○			
	（4）設備機器類の表示				○	○	

項目	内容	建築		電気	機械設備		備考
		建築	昇降機		給衛	空調	
13．排水	（1）各種床排水金物	○清、ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ			○		
	（2）給食棟 グリーストラップ				○（既存の清掃）		
	（3）ステンレス流しの排水金具						
	（4）洗濯機用パン						
	（5）同上に接続する排水金物						
14．雨水排水	（1）ルーフドレイン	○既存の清掃					
	（2）室内配管の竪樋				○		
	（3）室外配管の竪樋	○			○地中貫入部分より先		
15．ガラリ及び補強	（1）外壁またはサッシュに取付けるガラリ	○					
	（2）ドアガラリ	○					
16．動力	（1）一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管 配線			○			
	（2）機器付属の盤及び二次側配管 配線				○	○	
	（3）空調屋外機までの一次側電源供給			○			
	（4）それ以降の二次側電気工事				○	○	
	（5）空調室内機への電源供給			○			
	（6）電動ｼｬｯﾀｰ 自動ドアとその電源の二次側配管 配線及び操作盤 押釦取付	○					
	（7）同上への電源供給			○			
17．制御	（1）空調室内機ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ取付及び配管 配線					○	
	（2）集中コントローラー取付及び各エアコンへの渡り配線					○	
	（3）集中コントローラーへの電源供給及び警報信号 配管 配線			○			
	（4）ロスナイスイッチの支給					○	
	（5）同上取付及び配管 配線			○			
	（6）ロスナイ以外の換気用スイッチ工事			○			
	（7）液面制御機器取付				○	○	
	（8）同上配管 配線			○			
	（9）ビル管理総合盤						
	（10）同上取付及び配管 配線			○			
	（11）警備会社への移報装置			○			
	（12）加湿用タイマー取付 加湿管電磁弁取付						
	（13）同上タイマーと電磁弁間の連給用配管 配線						
18．防災	（1）煙感知器連動の防火戸 防火シャッターその他の 防災設備の電源 二次側配管 配線及び検出器 制御盤			○			
	（2）煙感連動防煙垂れ壁の取付						
	（3）同上電源供給工事						
	（4）仮設消火栓工事						
19．各種シャフト	（1）各シャフトのうちコンクリート造のもの及び，煙突						
	（2）煙突						なし
20．メディア関連	（1）電話機器及び配管、配線			○（健診渡り廊下～別館）			電話機器は別途
	（2）ＬＡＮ配管			○（健診渡り廊下～別館）			
	（3）ｵｰﾀﾞﾘﾝｸﾞｼｽﾃﾑのＬＡＮ配管						
	（4）ＬＩＳシステムのＬＡＮ配管						
	（5）ＩＴＶ設備 電気時計設備						

項目	内容	建築	昇降機	電気	機械設備		備考
		建築			給衛	空調	
21．手術室工事	（1）手術室内装工事一式（含むｵｰﾄ扉）						
	（2）一次側電源，供給						
	（3）空調、換気設備						
22．医療ガス工事	（1）既存医療ガスアウトレットの撤去	○					
	（2）配管、家具 ｺﾝｿｰﾙﾊﾟﾈﾙへの接続						
23．機械警備	（1） ①防犯会社接続機器						なし
	②同上取付						なし
	③同上配管及び電源						なし
	（2） ①電気錠工事	○					ｶｰﾄﾞ式非接触ﾀｲﾌﾟ
	③同上制御盤･配線工事	○					
	④同上配管及び電源			○			
24．設備監視	（1）各種警報設備			○	○	○	
	（2）設備異常通報システム						
	（3）防災無線工事						
	（2）地域防災スピーカー						
26．その他	（1）各種手すり	○					
	（2）SP、GPパーティション	○					
	（3）風除室ゴムマット						別途
	（4）厨房機器の移設、再設置、廃棄						別途
	（5）避難通路ライン引き						
	（5）点字誘導ブロック等						
	（6）流し台（水切棚+吊戸棚）	○					
	（7）手洗い器、洗面器				○ｶｳﾝﾀｰ等と一体のもの		
	（8）洗面台、足浴槽、洗髪洗面台						
	（9）鏡、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾀｵﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰ、小物棚、ﾌｯｸ	○					
	（10）ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾙﾀﾞｰ	○					
	（11）Ｘ線防護						
	（12）ＭＲＩシールド工事						
	（13）脳波シールド						
	（14）各種腰板	○					
	（15）アスベスト ＰＣＢ処理	なし		○PCB	○配管継手ｱｽﾍｽﾄ		
	（16）地中熱利用ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ工事						
	（17）床頭台、液晶テレビ						
	（18）メディカルコンソール						
	（19）カーテンレール、点滴レール						
	（20）電気、水道料金 ①基本料金	○受電後引渡しまで					基本料金は使用量応分負担とする
	②使用料金	○仮設電源敷設					
	（22）掲示板						
	（22）医療機器類移設						
	（23）カーテン、ロールスクリーン						別途
	（24）消火器、家具、什器、備品						別途

NO.		メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	工事区分表	N.S 作成年月日 2014.07.01	A－06

内部仕上表

＊接着剤、仕上材及び下地、内部建具、家具は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用
＊天井裏等への措置は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用

●：新設　△：部分新設
○：一時撤去・復旧又は移設
別：別途工事　×：撤去

棟	階数	室名	床 仕上	床 下地	巾木 仕上	巾木 H	壁 仕上	壁 下地	腰壁 仕上	腰壁 H	腰壁 下地	天井 仕上	天井 下地	天井高	廻縁	備考 建築	備考 設備・電気
給食棟	B１階	男子ロッカー室	既存 モルタル金ゴテ押えの上、パーケットモザイク貼	RC	ラワン	60	モルタル金ゴテ押えの上、AE系有光沢塗料（３分艶）、コンクリート打放しの上、EPローラー	RC・CB				PBDt=12.0目透かし貼りの上、EPローラー	LGS	２４００	塩ビ製		
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		女子ロッカー室	既存 モルタル金ゴテ押えの上、パーケットモザイク貼、モルタル金ゴテ押えの上、塩ビ製格子マット敷	RC	ラワン	60	モルタル金ゴテ押えの上、AE系有光沢塗料（３分艶）、コンクリート打放しの上、EPローラー	RC・CB				PBDt=12.0目透かし貼りの上、EPローラー	LGS	２４００	塩ビ製		
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		食品庫	既存 ――				ユニット式断熱パネル										
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		冷凍冷蔵庫 野菜倉庫	既存 ――				ユニット式断熱パネル										
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		昇降口 下足コーナー	既存 モルタル金ゴテ押えの上、長尺塩ビシートt=2.0	RC	モルタル金ゴテ目地切	60	コンクリート打放しの上、AEP拭取り2回塗	RC				PBDｔ＝12.0目透かし貼の上、EPローラー	LGS	２５００	塩ビ製		
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		ＷＣ	既存 モルタル金ゴテ押えの上、　ポリマコンモザイクタイル19角貼	RC	――	―	半磁器タイル100角貼	RC				FBｔ＝4.0目透かし貼の上、防バクテリア塗装	LGS	２４００	塩ビ製		
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		階段	既存 モルタル金ゴテ押えの上、長尺塩ビシートt=2.0	RC	ビニル巾木	60	モルタル金ゴテ押えの上、AE系有光沢塗料（３分艶）、PBDt=9.0の上、AE系有光沢塗料（３分艶）	RC、LGS				PBDt=12.0目透かし貼の上、EPローラー　及び コンクリート打放しの上、セメントリシン吹付	――	――	塩ビ製		
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		相談室	既存 モルタル金ゴテ押えの上、長尺塩ビシートｔ＝2.0	RC	ビニル巾木	100	PBDt=12.0の上、ビニルクロス貼	RC、LGS				PBDｔ＝9.0の上、ビニルクロス貼	LGS	２４００	塩ビ製		
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	ＳＤ、ＡＤ：建具調整	
		廊下	既存 モルタル金ゴテ押えの上、長尺塩ビシートｔ＝2.0	RC	ビニル巾木	100	PBDt=12.0の上、ビニルクロス貼	RC、LGS				PBDｔ＝9.0の上、ビニルクロス貼	LGS	２４００	塩ビ製		
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま ELV扉部分天井材撤去・復旧	既存のまま	既存のまま	既存のまま	●ELV：遮煙シャッター追加	
		倉庫、食品庫	既存 モルタル金ゴテ押え	RC	――	―	一部PBDｔ＝12.0	RC、LGS				コンクリート打放し	――	２８４０	――		
			改修 既存のまま	既存のまま			既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
			改修														
給食棟	１階	調理室	既存 シート防水下地の上、エポキシモルタル　撤去 シンダーコンクリートはつり	RC	半磁器タイル　撤去	300	モルタル金ゴテ押えの上、防バクテリア塗装 一部既存壁解体	RC				FBt=4.0目透かし貼の上、防バクテリア塗装　撤去	× LGS	３３００	× 塩ビ製	※外部グリーストラップの連携メンテナンスを行う	●電気・設備全面改修一式
			改修 シンダーコンクリート復旧、シート防水やり替え、エポキシモルタル塗の上、厚膜型MMA樹脂系塗床材（ABC商会、ケミクリートMS程度）		床材立上げ ケイカル見切アルミ材	300	既存下地調整の上化粧ケイカル板t6.0接着貼り 目地シールNS　出隅：アルミ専用ジョイナー					ケイカル板t6.0目透し貼900*900　EP-G 既存梁露出部分　EP-G	LGS	２７００ ３３００	塩ビ製 目透し	△渡り廊下出入口部分：SD→LSDへ改修、H=1400→H=2100へ ●排水溝：改修・新設　※電気設備盤類扉：塗替　●SUS防水パン、排水溝新設	×レンジフード撤去：設備工事 ×エアーカーテン撤去：設備工事 別：厨房機器撤去、移設、再設置
		下処理室	既存 シート防水下地の上、エポキシモルタル　撤去 シンダーコンクリートはつり復旧	RC	半磁器タイル　撤去	300	モルタル金ゴテ押えの上、防バクテリア塗装 一部既存壁解体	RC				FBt=4.0目透かし貼の上、防バクテリア塗装　撤去	× LGS	３３００	× 塩ビ製		●電気・設備全面改修一式
			改修 シンダーコンクリート復旧、シート防水やり替え、エポキシモルタル塗の上、厚膜型MMA樹脂系塗床材（ABC商会、ケミクリートMS程度）		床材立上げ ケイカル見切アルミ材	300	既存下地調整の上化粧ケイカル板t6.0接着貼り 目地シールNS　出隅：アルミ専用ジョイナー					ケイカル板t6.0目透し貼900*900　EP-G 既存梁露出部分　EP-G	LGS	２７００	塩ビ製 目透し	●排水溝：改修・新設	
		荷捌室	既存 モルタル金ゴテ押え	RC	モルタル金ゴテ目地切	100	モルタル金ゴテ押えの上、EPローラー	RC				PBDｔ＝12.0目透かし貼の上、EPローラー	LGS	３１５０	塩ビ製		●照明取り替え
			改修 既存下地調整の上 外部用長尺塩ビシートt2.0		既存のEP-G	100	既存の上EP-G					既存の上EP-G　ELV扉部分天井材撤去・復旧	既存のまま	既存のまま	既存のまま	●ELV：遮煙シャッター追加	
		事務室	既存 モルタル金ゴテ押えの上、カーペットタイル貼	RC	モルタル金ゴテ目地切	100	モルタル金ゴテ押えの上、EPローラー	RC				PBDｔ＝12.0目透かし貼の上、EPローラー	LGS	２９５０	塩ビ製		●照明取り替え
			改修 カーペットタイルt6.5貼替え		既存のEP-G	100	既存の上ビニルクロス貼り					既存の上EP-G	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		食品庫	既存 モルタル金ゴテ押え	RC	――	―	コンクリート打放し下地の上、EPローラー　及び モルタル金ゴテ押えの上、EPローラー	RC・CB				コンクリート打放しの上、セメントリシン吹付	LGS	２８３０	塩ビ製		●照明取り替え
			改修 既存の上、厚膜型MMA樹脂系塗床材 ABC商会、ケミクリートMS程度		既存のまま		既存の上EP-G					既存の上EP-G	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		ＷＣ　前廊下	既存 モルタル金ゴテ押えの上、長尺塩ビシートt=2.0　撤去	RC	ビニル巾木　撤去	60	モルタル金ゴテ押えの上、AE系有光沢塗料（３分艶）、コンクリート打放しの上、EPローラー	RC				FBｔ＝4.0目透かし貼の上、EPローラー　撤去	LGS	２４００	塩ビ製		●衛生器具取り替え、照明取り替え
			改修 長尺塩ビシートt=2.0貼替え		ビニル巾木	60	既存の上ビニルクロス貼り					ケイカル板t6.0目透し貼900*900　EP-G	既存のまま	既存のまま	既存のまま	●床段差部分ノンスリップ取り替え 木製家具建具：塗替、電気設備盤類扉：塗替	
		調乳室	既存 モルタル金ゴテ押えの上、ポゾンテックス	RC	モルタル金ゴテ ポゾンテックス	300	モルタル金ゴテ押えの上、VP	RC				ケイカル板t=6.0、目スカ張りt=6.0　防バクテリア塗装	LGS	２５００	塩ビ製		×有圧扇撤去：設備工事
			改修 既存仕上げの上厚膜型MMA樹脂系塗床材 ABC商会、ケミクリートMS程度		既存のEP-G	300	既存の上EP-G					既存の上EP-G	既存のまま	既存のまま	既存のまま		

凡　例

St	鉄骨、鋼製	GB-RH	硬質石膏ボード
AL	アルミ	GB-F	強化石膏ボード
SUS	ステンレス	DR	岩綿吸音板
LGS	軽量鉄骨壁・天井下地	SOP	合成樹脂調合ペイント
CB	ＲＣブロック	CL	クリアラッカー
GB-R	石膏ボード	UC	ウレタン樹脂ワニス
GB-S	耐水石膏ボード	EP	合成樹脂エマルションペイント
GB-D	化粧石膏ボード	EP-G	つやあり合成樹脂エマルションペイント
SLM	セルフレベリングモルタル（セメント系）	2-UE	ポリウレタン塗装

■塗装仕様

※ＥＰ、ＥＰ-Ｇ塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、塗料1種2回塗（B種）とする
※鉄部SOP塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえC種、錆止塗料A種工場一回
　、SOP1種工程B種とする
※木部CL塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、塗料二回塗りB種とする
※木部UC塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、ポリウレタン系1液性B種とする

■内装不燃認定番号表

ｔ９．５不燃積層石膏ボード	ＮＭ－０４４１
ｔ１２．５石膏ボード	ＮＭ－８６１２，８６１９
ｔ１２．５防水石膏ボード	ＮＭ－９６３９
ｔ９.５,12.5硬質石膏ボード	ＮＭ－９６４５
ｔ１２.５強化石膏ボード	ＮＭ－８６１５
ｔ９．５化粧石膏ボード	ＮＭ－１８６４
ｔ９．１２岩綿化粧吸音板	ＮＭ－８５９９
ｔ９．５不燃石膏吸音ボード	ＮＭ－０８７９
ｔ３．０不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板	ＮＭ－２１８３
ｔ６．０突板塗装不燃化粧板	ＮＭ－１７３９
ｔ６．０繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板	ＮＭ－３０７３
ｔ８．０曲面加工FGﾎﾞｰﾄﾞ	ＮＭ－９０２８

■耐火構造リスト

壁：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
柱：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
床：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
梁：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
屋根：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
階段：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）

■壁下地、石膏ボード厚さ

W1（防火上主要な間仕切、及び耐久壁）
2重張　上張　GB-R-H　t9.5
　　下張　GB-R　t12.5

ＧＬ工法部分
GB-R-H　t12.5

■特記事項

＊特記以外の柱・梁・下がり壁の仕上は壁仕上げと同様とする。
＊室名札・案内板等の位置はサイン図による。床下点検口等の位置は平面図による。
＊天井点検口等の位置は天井伏図による。
＊接着材、仕上材及び下地、内部建具、家具はF☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用すること。
＊天井裏等への措置は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用すること。
＊水廻りのビニル床シート貼りは溶接工法とし、エポキシ系接着材を使用すること。
＊天井廻縁及び、見切り縁は樹脂製とし、特記無き限り軽量鉄骨天井下地は19型（屋外は25型）とする。
＊特記以外のＡＷ額縁・カーテンボックスはスチールEP-Gとしてサッシュ建具表に示す。
＊樹脂製目透し廻縁はﾌｸﾋﾞ，先付けｸﾛｽﾌﾘｰ見切りとする
＊特記以外の壁、天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類、岩綿吸音板、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼りは不燃認定品とする。
＊水廻りの壁石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼りは、壁・天井共、表面GBを耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞを使用すること。
＊使用する建材は全てﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄ(含有量0.1%以下)とすること。
＊壁ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼りは不燃認定品とする。素地ごしらえはB種とする。
＊壁建具取付、天井開口部は下地開口補強を見込むこと。
＊壁仕様は平面詳細図中の凡例によるものとする。
＊内部ＲＣ打放し部分はＡ種　増打ｔ20とする。
＊B1Fスラブ下はｔ50スタイロフォーム打込みとする。
＊改修する壁面の既存塗類はすべてEP-G塗装とする。

NO.	大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ
（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No.12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No.191666	図面名称 給食棟改修工事 仕上表（給食棟１）	縮尺 N.S 作成年月日 2014.07.01	図面NO. ＫＡ－０１

内部仕上表

＊接着剤、仕上材及び下地、内部建具、家具は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用
＊天井裏等への措置は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用

●：新設　△：部分新設
○：一時撤去・復旧又は移設
別：別途工事　×：撤去

棟	階数	室名	床 仕上		床 下地	巾木 仕上	巾木 H	壁 仕上	壁 下地	腰壁 仕上	腰壁 H	腰壁 下地	天井 仕上	天井 下地	天井高	廻縁	備考 建築	備考 設備・電気
給食棟	２階	職員ラウンジ（旧　会議室）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ貼　撤去	ＲＣ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ目地切	60	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、及びVP	ＲＣ				GB-R12.0の上、DR19	ＬＧＳ	３２５０ 梁下2,650	塩ビ製		●ＡＣ取替え ●照明取替え
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（既存）の上、 カーペットタイル t6.5貼替		ビニル巾木	60	既存面、移動間仕切り：ビニルクロス貼	ＬＧＳ				既存ボード面、EP　梁型：ビニルクロス貼	既存のまま	既存のまま	既存のまま	●腰板（ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑﾚｰﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼）+流し台カウンター ●移動間仕切：ビニルクロス貼替　既存盤類扉：塗替え	換気設備：既存のまま
		医事事務室（旧　会議室）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ貼　撤去	ＲＣ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ目地切	60	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、及びVP	ＲＣ				GB-R12.0の上、DR19	ＬＧＳ	３２５０ 梁下2,650	塩ビ製		
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（既存）の上、 カーペットタイル t6.5貼替		ビニル巾木	60	既存面、移動間仕切り：ビニルクロス貼	ＬＧＳ				既存ボード面、EP　梁型：ビニルクロス貼	既存のまま	既存のまま	既存のまま	●南側ＡＷ改修	
		当直室	既存	ﾕﾆｯﾄﾌﾛｱｰの上耐水ﾗﾜﾝ合板下地の上、畳及び合板ｴﾝｺ板t=15.0貼	ＲＣ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ目地切	60	GB-R9.0の上、ｼﾞｭﾗｸｻﾝ吹付　撤去	ＲＣ				GB-R12.0の上、不燃ｸﾛｽ貼	ＬＧＳ	２３８０	木製		●電気・設備改修なし
			改修	畳取替え		既存のまま		既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		当直、休憩室	既存	ﾕﾆｯﾄﾌﾛｱｰの上耐水ﾗﾜﾝ合板下地の上、畳及び合板ｴﾝｺ板t=15.0貼	ＲＣ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ目地切	60	GB-R9.0の上、ｼﾞｭﾗｸｻﾝ吹付　撤去	ＲＣ				GB-R12.0の上、不燃ｸﾛｽ貼	ＬＧＳ	２３８０	木製		●電気・設備改修なし
			改修	畳取替え		既存のまま		既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		ホール 階段（1-2F）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×長尺塩ﾋﾞｼｰﾄt=2.0	ＲＣ	×ビニル巾木	60	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、AE系有光沢塗料（３分艶）、 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上、EPﾛｰﾗｰ	ＲＣ				GB-R12.0目透かし貼の上、EPﾛｰﾗｰ	ＬＧＳ	２６５０	塩ビ製		●電気・設備改修なし
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（既存）の上、 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄB　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存面へビニルクロス貼り					既存ボード面、EP	既存のまま	既存のまま	既存のまま	●階段ノンスリップ取替 ●室名サイン取付	
		ＷＣ	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×長尺塩ﾋﾞｼｰﾄt=2.0	ＲＣ	×ビニル巾木	60	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、AE系有光沢塗料（３分艶）、 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上、EPﾛｰﾗｰ	ＲＣ				ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ t4.0目透かし貼の上、EPﾛｰﾗｰ	ＬＧＳ	２４００	塩ビ製		●衛生器具取替 ●照明取替え
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（既存）の上、 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄB　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存面へビニルクロス貼り					既存ボード面、EP	既存のまま	既存のまま	既存のまま	※トイレブース既存のまま	

凡　例

St	鉄骨、鋼製	GB-RH	硬質石膏ボード
AL	アルミ	GB-F	強化石膏ボード
SUS	ステンレス	DR	岩綿吸音板
LGS	軽量鉄骨壁・天井下地	SOP	合成樹脂調合ペイント
CB	ＲＣブロック	CL	クリアラッカー
GB-R	石膏ボード	UC	ウレタン樹脂ワニス
GB-S	耐水石膏ボード	EP	合成樹脂エマルションペイント
GB-D	化粧石膏ボード	EP-G	つやあり合成樹脂エマルションペイント
SLM	セルフレベリングモルタル（セメント系）	2-UE	ポリウレタン塗装

■塗装仕様

※ＥＰ、ＥＰ-Ｇ塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、塗料1種2回塗（B種）とする
※鉄部SOP塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえC種、錆止塗料A種工場一回
　、SOP1種工程B種とする
※木部CL塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、塗料二回塗りB種とする
※木部UC塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系1液性B種とする

■内装不燃認定番号表

ｔ９．５不燃積層石膏ボード	ＮＭ－０４４１
ｔ１２．５石膏ボード	ＮＭ－８６１２，８６１９
ｔ１２．５防水石膏ボード	ＮＭ－９６３９
t9.5,12.5硬質石膏ボード	ＮＭ－９６４５
ｔ１２．５強化石膏ボード	ＮＭ－８６１５
ｔ９．５化粧石膏ボード	ＮＭ－１８６４
ｔ９．１２岩綿化粧吸音板	ＮＭ－８５９９
ｔ９．５不燃石膏吸音ﾎﾞｰﾄﾞ	ＮＭ－０８７９
ｔ３．０不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板	ＮＭ－２１８３
ｔ６．０突板塗装不燃化粧板	ＮＭ－１７３９
ｔ６．０繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板	ＮＭ－３０７３
ｔ８．０曲面加工FGﾎﾞｰﾄﾞ	ＮＭ－９０２８

■耐火構造リスト

壁：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
柱：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
床：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
梁：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
屋根：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
階段：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）

■壁下地、石膏ボード厚さ

W1（防火上主要な間仕切、及び耐久壁）
2重張　上張　GB-R-H t9.5
　　下張　GB-R　t12.5

ＧＬ工法部分
GB-R-H　t12.5

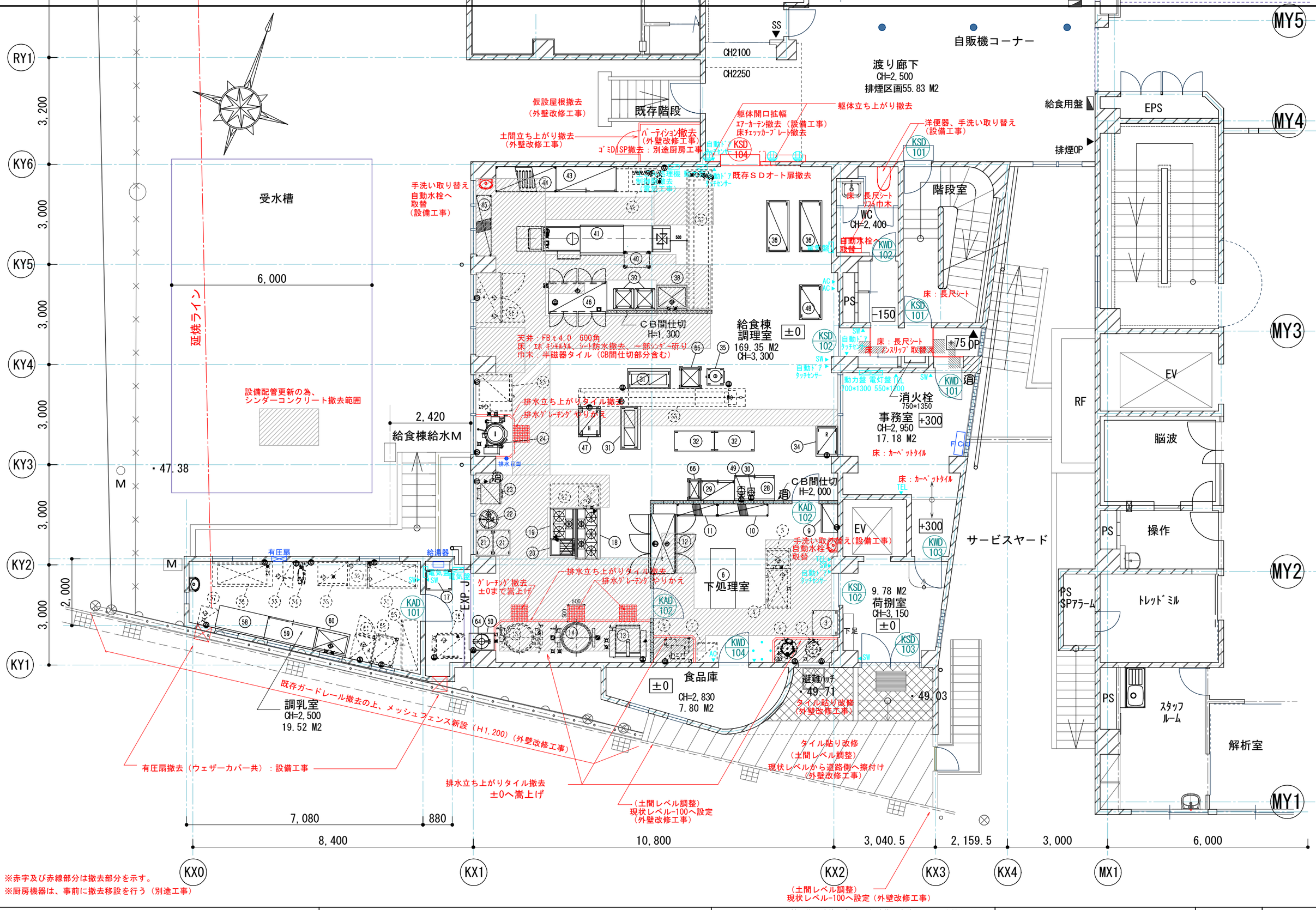
■特記事項

＊特記以外の柱・梁・下がり壁の仕上は壁仕上げと同様とする。
＊室名札・案内板等の位置はサイン図による。床下点検口等の位置は平面図による。
＊天井点検口等の位置は天井伏図による。
＊接着材、仕上材及び下地、内部建具、家具はF☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用すること。
＊天井裏等への措置は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用すること。
＊水廻りのﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼りは溶接工法とし、ｴﾎﾟｷｼ系接着材を使用すること。
＊天井廻縁及び、見切り縁は樹脂製とし、特記無き限り軽量鉄骨天井下地は19型（屋外は25型）とする。
＊特記以外のＡＷ額縁・カーテンボックスはスチールEP-Gとしてサッシュ建具表に示す。
＊樹脂製目透し廻縁はﾌｶﾋﾞ，先付けｸﾛｽﾌﾘｰ見切りとする
＊特記以外の壁、天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類、岩綿吸音板、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼りは不燃認定品とする。
＊水廻りの壁石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼りは、壁・天井共、表面GBを耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞを使用すること。
＊使用する建材は全てﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄ（含有量0.1%以下）とすること。
＊壁ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼りは不燃認定品とする。素地ごしらえはB種とする。
＊壁建具取付、天井開口部は下地開口補強を見込むこと。
＊壁仕様は平面詳細図中の凡例によるものとする。
＊内部ＲＣ打放し部分はＡ種　増打ｔ20とする。
＊B1Fスラブ下はｔ50スタイロフォーム打込みとする。
＊改修する壁面の既存塗類はすべてEP-G塗装とする。

NO.		メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No.12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No.191666	給食棟改修工事 仕上表（2）	N.S 作成年月日 2014.07.01	ＫＡ－０２

RY1
KY6
KY5
KY4
KY3
KY2
KY1
3,200
3,000
3,000
3,000
3,000
3,000
MY5
MY4
MY3
MY2
MY1
3,000
6,300
7,200
6,900
女子ﾛｯｶｰ室
既存のまま
CH=2,400
男子ﾛｯｶｰ室
既存のまま
CH=2,400
WC
既存のまま
CH=2,400
PS
地下階段
既存のまま
給食棟
CH=2,500
下足コーナー
消火栓
EV
マンホール
22.53 M2
PS
EV
遮煙
図面倉庫
CH=2,400
床点検口
床点検口
KSD 001
KAD 001
建具開閉調整
建具開閉調整
倉庫
既存のまま
相談室
既存のまま
CH=2,400
EXP.J
食品庫
既存のまま
CH=2,840
冷凍冷蔵庫
及び野菜倉庫
ビルトイン冷蔵庫
既存のまま
遮煙扉へ改修
RSH 002
廊下 既存のまま
CH=2,400
SPｱﾗｰﾑ弁
食品庫 既存のまま
CH=2,840
庫
既存のまま
PS
SPｱﾗｰﾑ弁
40.62 M2
8,400
10,800
3,040.5
2,159.5
3,000
6,000
KX0
KX1
KX2
KX3
KX4
MX1

工事件名 NO. 大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	図面名称 給食棟改修工事 給食棟B1階平面詳細図	縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	図面NO. KA－03



※赤字及び赤線部分は撤去部分を示す。
※厨房機器は、事前に撤去移設を行う（別途工事）

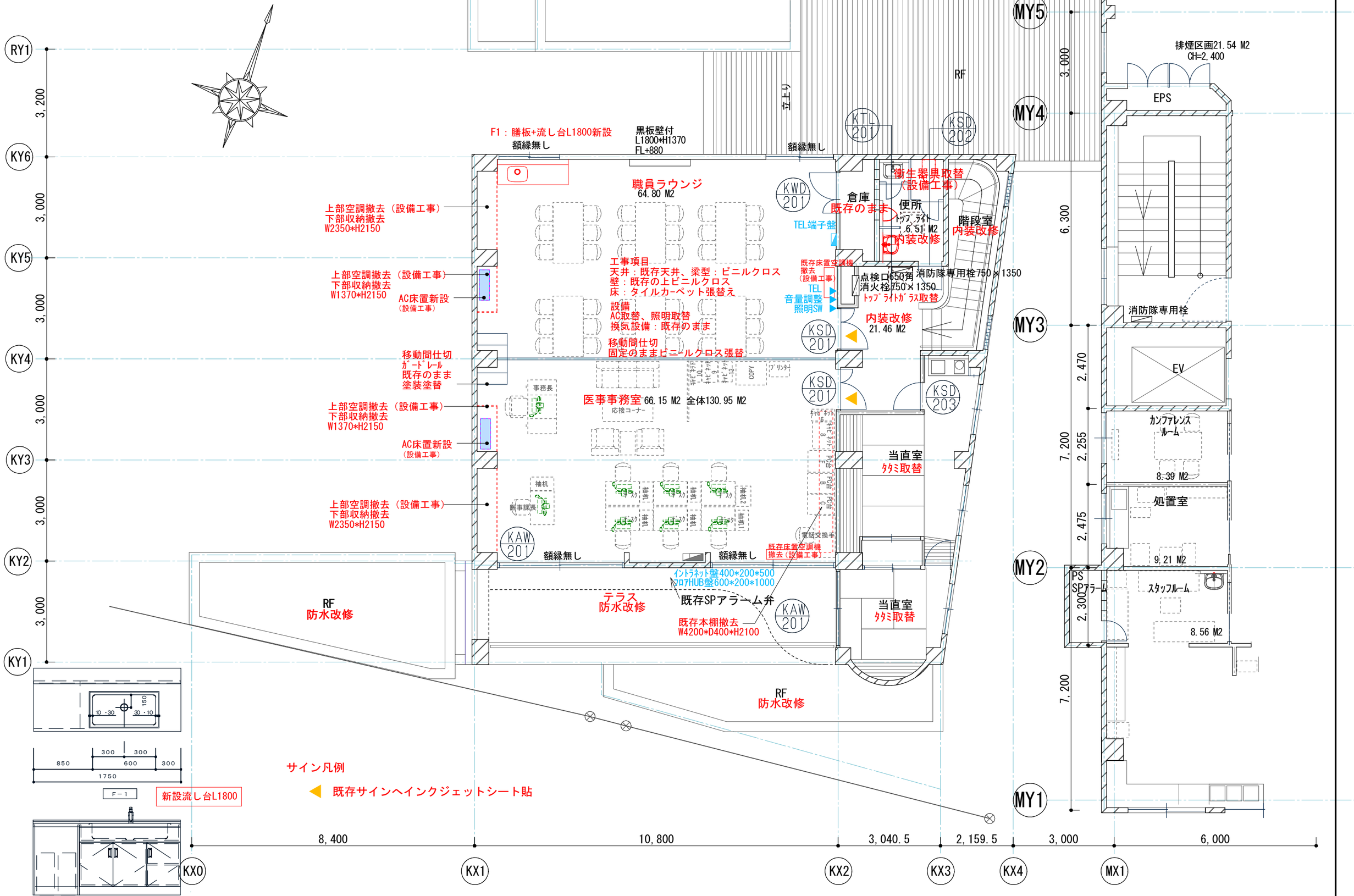
工事件名	メモ	図面名称	縮尺	図面ＮＯ.
ＮＯ. 大月市立中央病院既存棟改修工事	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	給食棟改修工事 既存 1階平面詳細図	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	ＫＡ－０４
佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体				

RY1
KY6
KY5
KY4
KY3
KY2
KY1
3,200
3,000
3,000
3,000
3,000
3,000
KX0
KX1
KX2
KX3
KX4
MX1
7,080
880
8,400
10,800
3,040.5
2,159.5
3,000
MY5
自販機コーナー
SS
CH2100
CH2250
LSDオート扉新設
1500*2100
躯体開口
1660*2115
LSD 101
渡り廊下
CH=2,500
排煙区画55.83 M2
12-a
KSD 101
給食用盤
EPS
排煙OP
自動ドア タッチセンサー
動力盤
新設水返し
100×100 (コンター=コンクリート)
電気盤：塗替え
便器取り替え
(設備工事)
階段室
内装改修
WC
内装改修
CH=2,400
自動水栓へ
取替（設備工事）
電気盤：塗替え
家具扉：塗替え
壁塗替範囲
PS
-150
KSD 101
壁塗替範囲
自動水栓へ
取替（設備工事）
新設側溝
洗浄コーナー
4,000
CB間仕切
H=1,300
給食棟
調理室
CH2,700
169.35 M2
内装改修
±0
KSD 102
自動ドア タッチセンサー
内装改修
床：ノンスリップ 取替え
+75
消火栓
家具扉：塗替え
動力盤 電灯盤 TEL
電気盤・消火栓扉：塗替え
KWD 101
手洗い新設
自動水栓
（設備工事）
17.18 M2
事務室
CH=2,950
内装改修
+300
FCU
スチール手摺塗替え
（外壁改修工事）
外部グリーストラップの
清掃メンテナンスを行う。
（機械設備工事）
受水槽
延焼ライン
給食棟給水M
・47.38
M
スチール手摺塗替え
（外壁改修工事）
排煙窓オペレーター不良箇所
CB間仕切
H=2,000
既存木製枠再塗装
床見切り設置
+300
床：塗床改修
サービスヤード
KAD 102
EV
自動水栓へ
取替（設備工事）
遮煙扉設置
KWD 103
PS
操作
PS
SPアラーム
トレッドミル
新設側溝
下処理室
KAD 102
新設側溝
KSD 102
9.78 M2
荷捌室
内装改修
CH=3,150
KSD 103
下足
19.52 M2
調乳室
内装改修
CH=2,500
KAD 101
EXP.J
新設ステンレス槽500×1500×70×2箇所
手洗い新設
自動水栓
（設備工事）
・47.38
±0
食品庫
内装改修
CH=2,830
7.80 M2
KWD 104
・49.71
壁面：配管貫通孔ふさぎ
・49.03
・49.45
既存ガードレール撤去の上、メッシュフェンス新設（H1,200）（外壁改修工事）
外壁開口ふさぎ（アルミパネルｔ=3.0）：建築工事
タイル貼り改修
（外壁改修工事）
（土間レベル調整）
現状レベル-100へ設定
（外壁改修工事）
スチール門扉塗替え
（外壁改修工事）
（土間レベル調整）
現状レベル-100へ設定（外壁改修工事）
鉄骨階段+手摺（支柱共）塗替え
（外壁改修工事）
RF
脳波
EV
スタッフ
ルーム
解析室
新設側溝
新設ステンレス槽500×1500×70
新設グレーチング
新設側溝
新設側溝

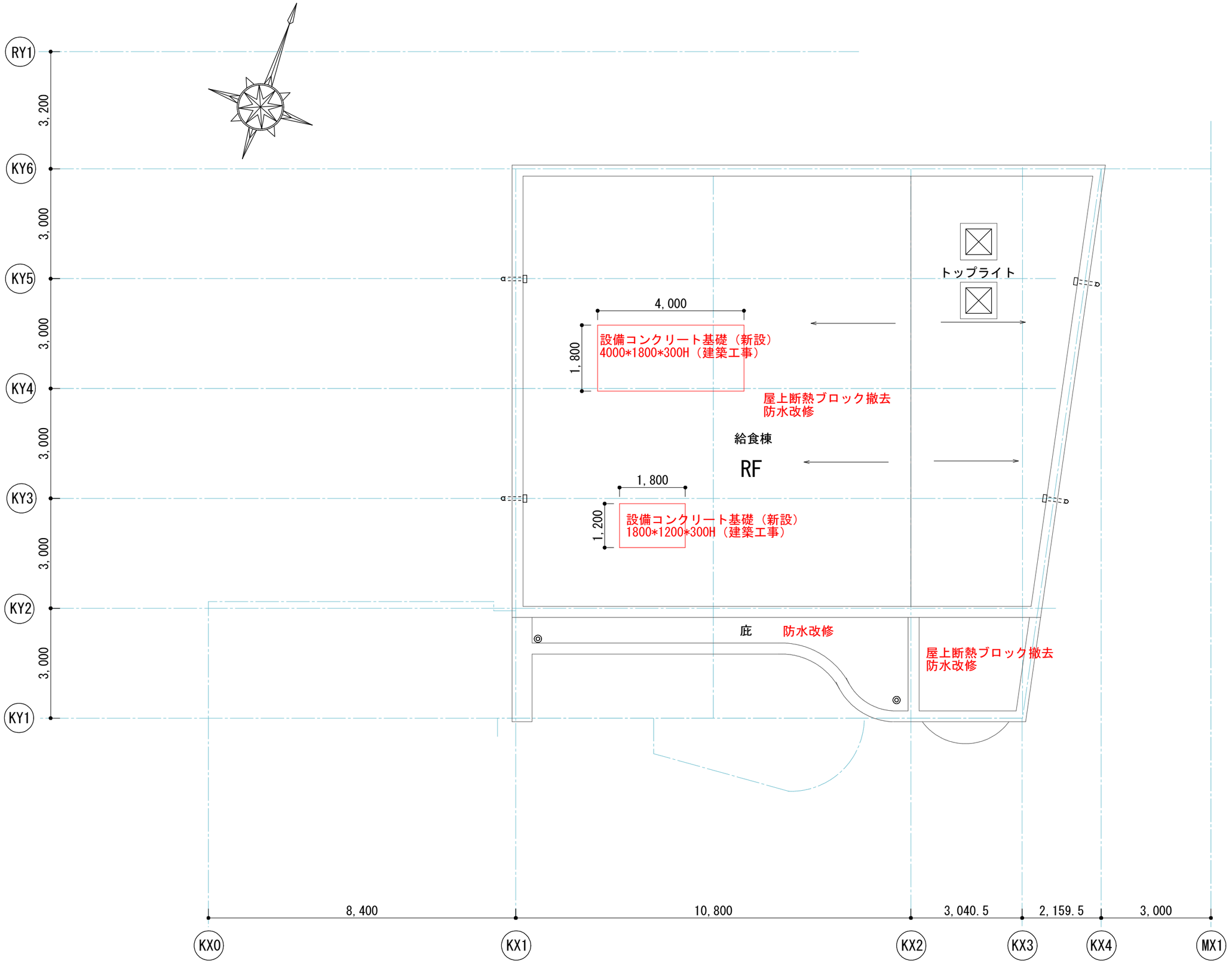
厨房器具　凡例
：新設品を示す
：既存品を示す

8 新設　ＳＵＳ巾木　ｔ＝1.0　Ｈ３００　巻き　サイン凡例
※赤字及び赤線部分は改修内容を示す。
※厨房機器撤去移設は、別途工事。
既存サインへインクジェットシート貼
12-a
誘導表示3a（壁付）　W1500*H400　「事務室　階段を上り、2階です」

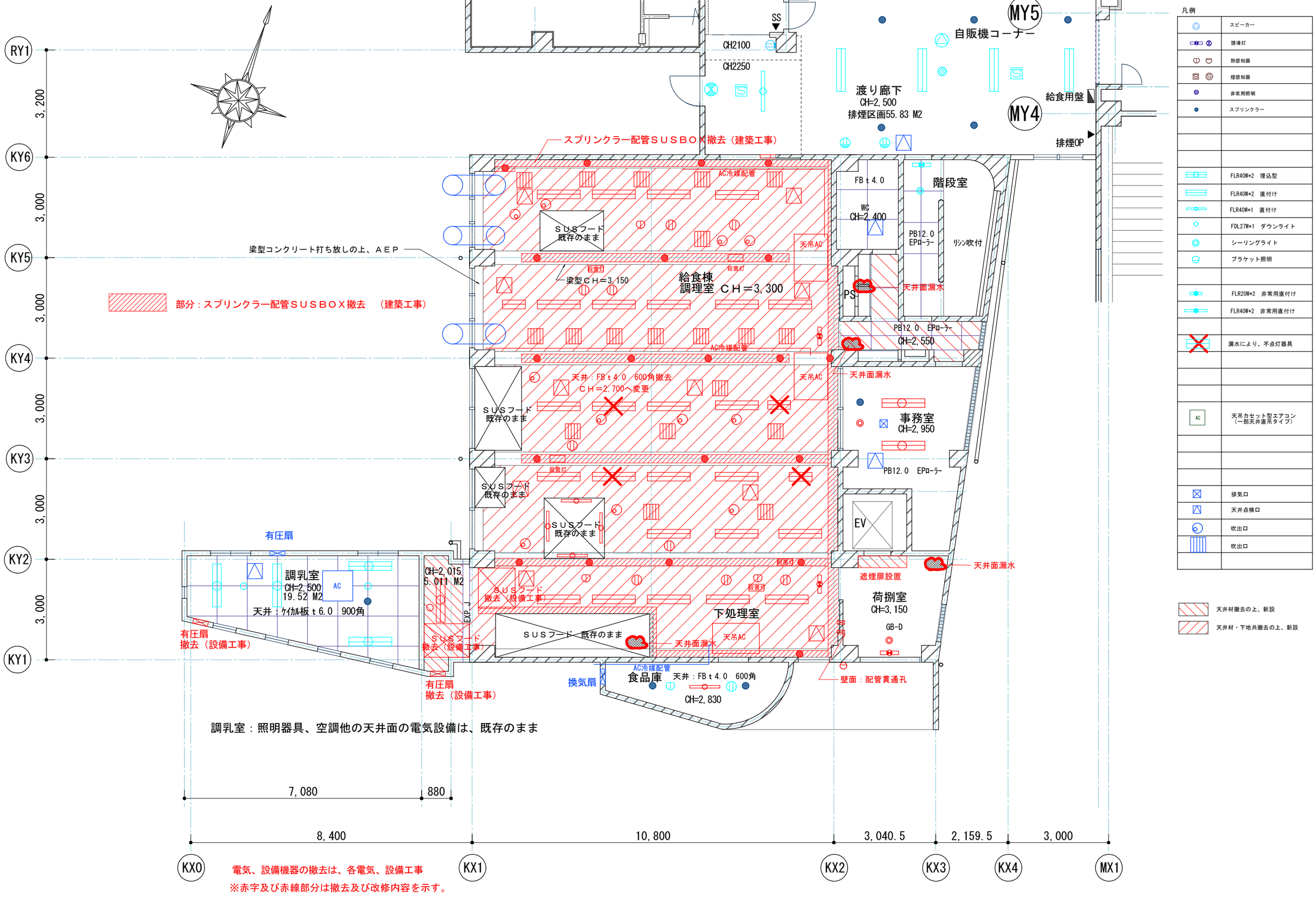
工事件名 / NO.		メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	給食棟改修工事 改修後　給食棟1階平面詳細図	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	ＫＡ－０５



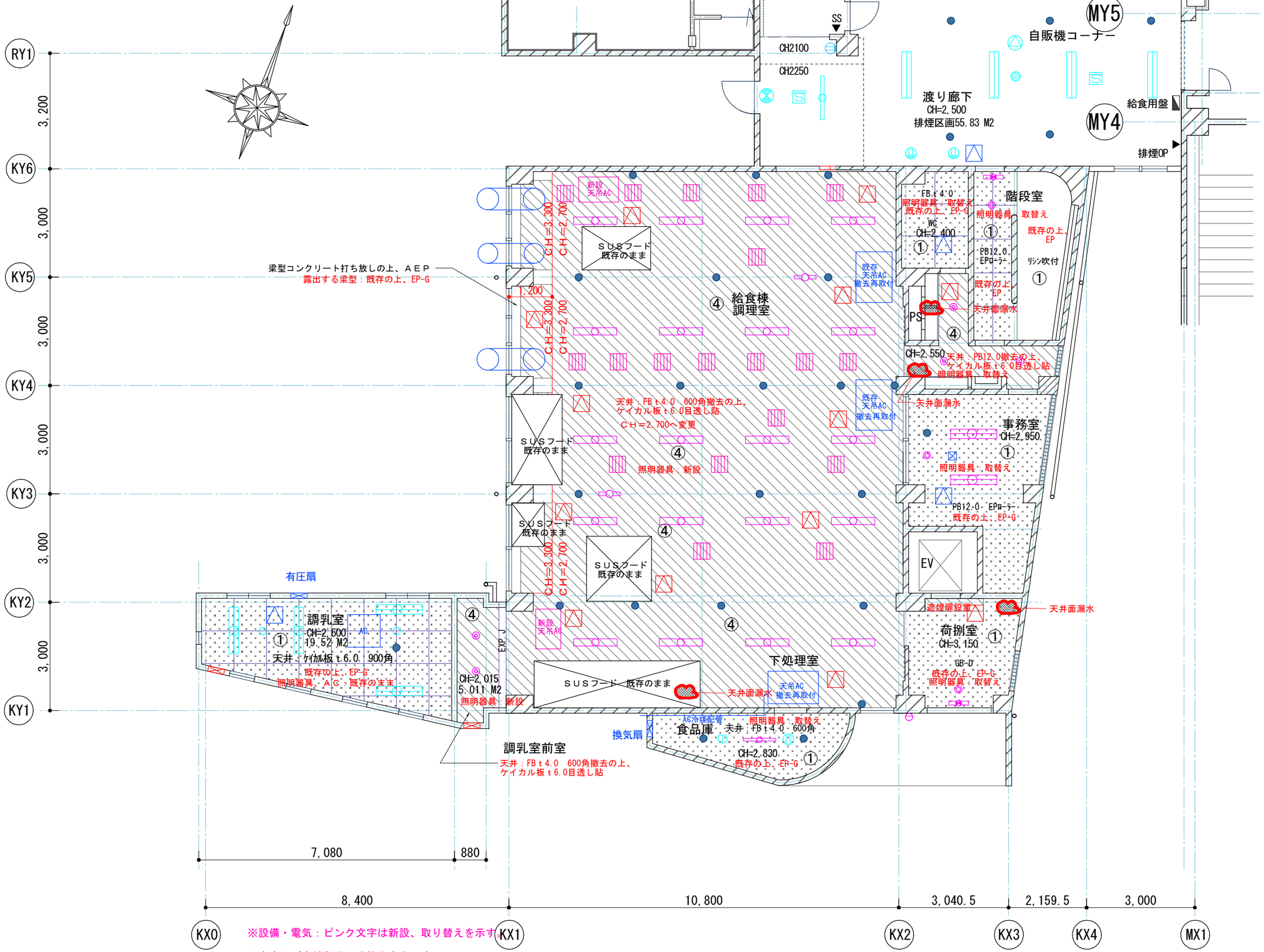
工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No. 12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No. 191666	給食棟改修工事 給食棟2階平面詳細図	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	KA－06



工事件名 大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No. 12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No. 191666	図面名称 給食棟改修工事 R階平面詳細図	縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	図面NO. KA－07



工事件名 大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 給食棟改修工事 既存　1階天井伏図	縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	図面NO. ＫＡ－０８



※設備・電気：ピンク文字は新設、取り替えを示す。

※赤字及び赤線部分は改修内容を示す。

凡例

	スピーカー
	誘導灯
	熱感知器
	煙感知器
	非常用照明
	スプリンクラー
	FLR40W*2 埋込型
	FLR40W*2 直付け
	FLR40W*1 直付け
	FDL27W*1 ダウンライト
	シーリングライト
	ブラケット照明
	FLR20W*2 非常用直付け
	FLR40W*2 非常用直付け
	新設 直付け
	新設 ダウンライト
AC	天吊カセット型エアコン（一部天井直吊タイプ）
	排気口
	天井点検口
	吹出口
	吹出口

口仕上げ表（改修前・改修後共通）

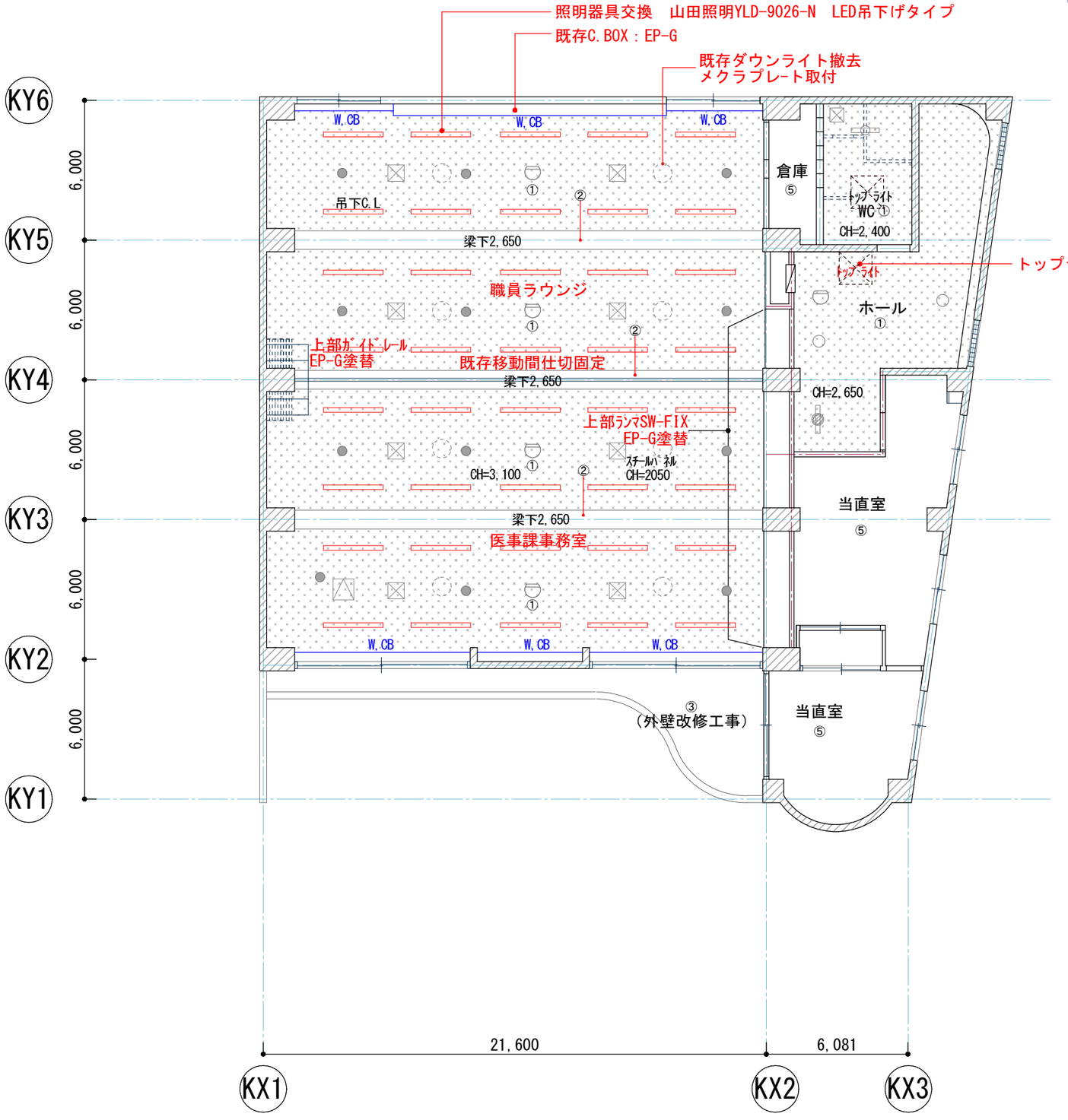
①	既存仕上げの上ＥＰ
②	既存仕上げの上ビニルクロス
③	高圧洗浄の上 複層塗材Ｅにて改修
④	珪酸カルシウム板6目透かし貼EP-G
⑤	既存のまま
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

凡例

口改修タイプ

- 天井仕上（下地処理の上再塗装）
- 天井 無改修室（図示部分を除く）
- 天井材撤去の上、新設
- 新設天井点検口450角

工事件名 大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	図面名称 給食棟改修工事 改修後 1階天井伏図	縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	図面NO. ＫＡ－０９



凡例

□改修タイプ

- 天井仕上（下地処理の上再塗装）
- 天井　無改修室（図示部分を除く）
- (CB) 既存カーテンボックス
- 新設天井点検口450角
- 新設天井点検口450角

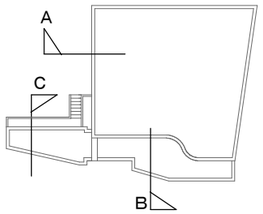
□仕上げ表（改修前・改修後共通）

①	既存仕上げの上ＥＰ
②	既存仕上げの上ビニルクロス
③	高圧洗浄の上 複層塗材Ｅにて改修
④	珪酸カルシウム板6目透かし貼EP-G
⑤	既存のまま
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

凡例

	スピーカー
	誘導灯
	熱感知器
	煙感知器
	非常用照明
	スプリンクラー
	天井表示灯
	アンテナ？
	FLR40W*2　埋込型
	FLR40W*2　直付け
	FLR40W*1　直付け
	FDL27W*1　ダウンライト
	処置灯　埋込型
	FLR40W*2+JD75W*2　埋込型
	FLR40W*1　流し元灯
	FLR20W*2　非常用直付け
	FLR40W*2　非常用直付け
	FHP45W*4　直付下面ルーバー
	FHP63W*2
	FHP32W*3　直付下面ルーバー
	FLR40W*2　埋込型
FC	天井ファンコイルユニット
AC	天吊カセット型エアコン（一部天井直吊タイプ）
	アネモ型吹出口
	排気口
	給気口
	全熱交換機型換気扇
	天井点検口
	機械排煙口
	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ

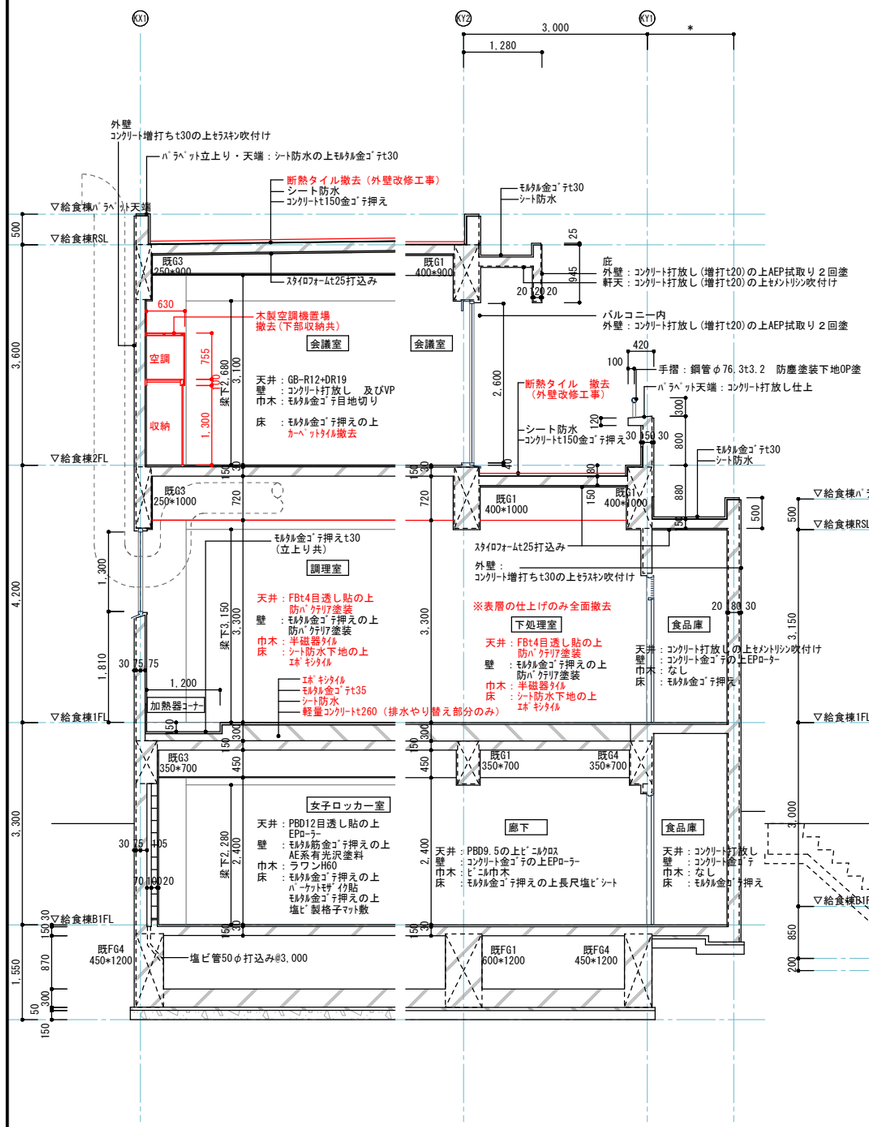
工事件名 大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 給食棟改修工事 給食棟２階　天井伏図	縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	図面NO. ＫＡ－１０



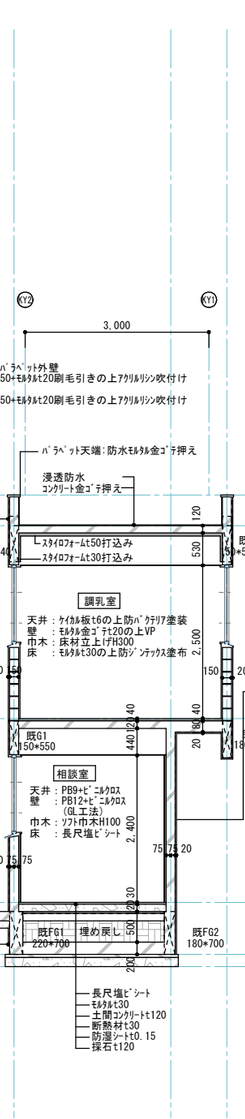
現況

赤：既存撤去部分を示す。

A矩計図



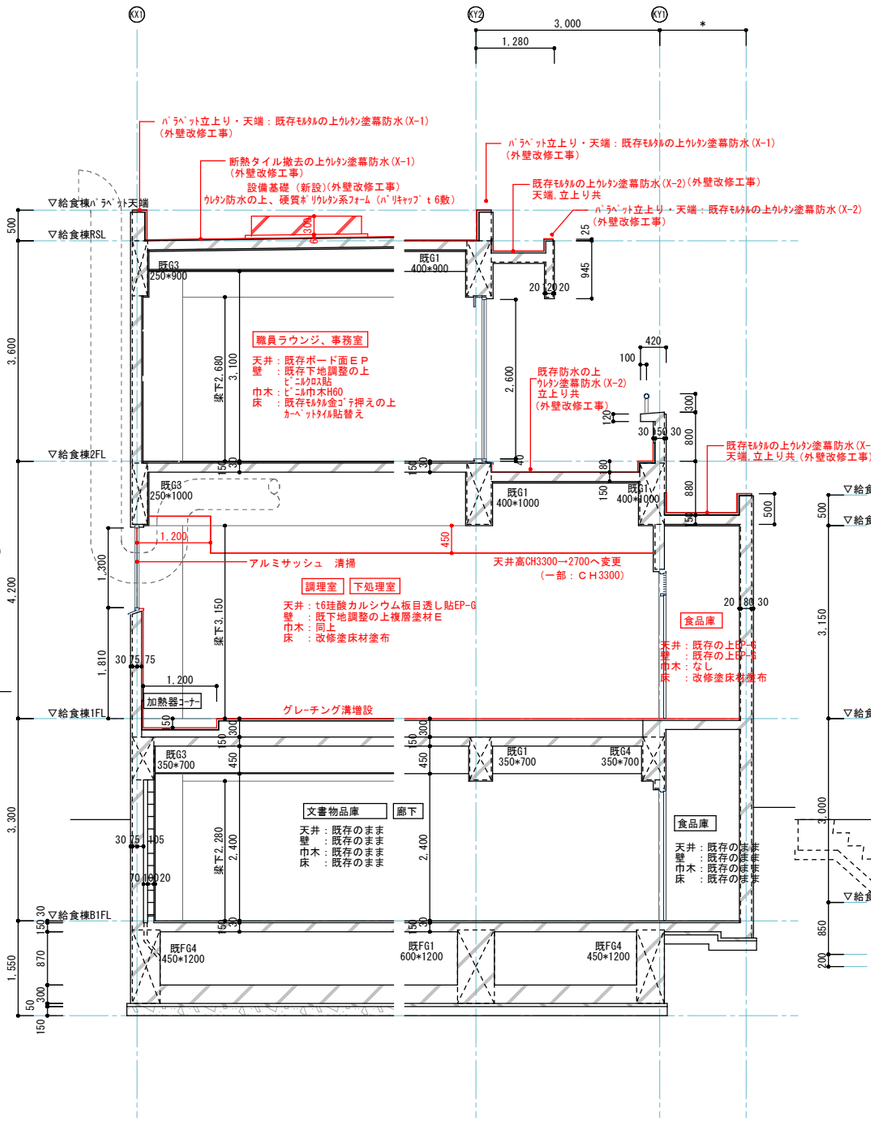
C矩計図



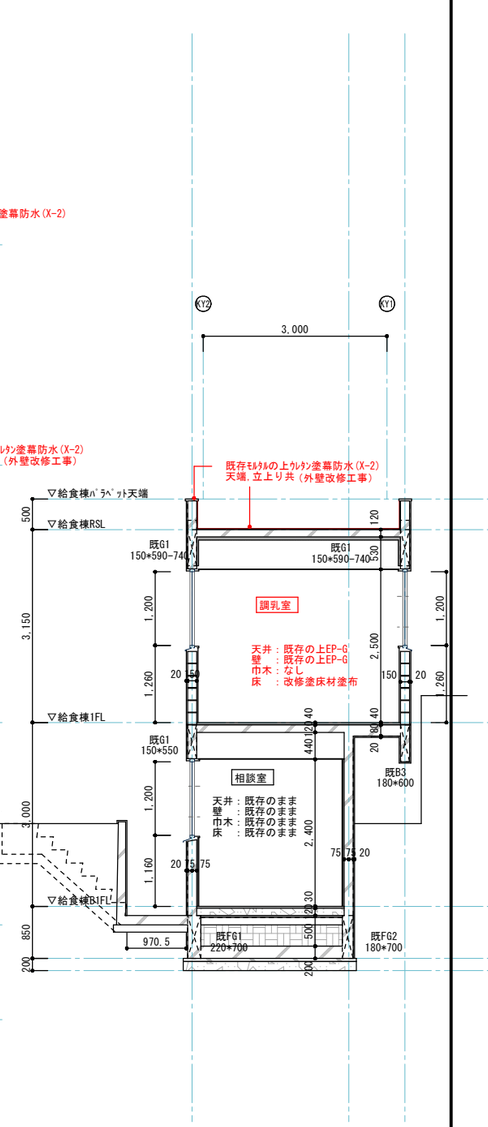
改修

赤：改修部分を示す。

A矩計図



C矩計図



工事件名 （仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事	ＮＯ.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 給食棟改修工事 給食棟　矩計図	縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014. 07. 01	図面ＮＯ. ＫＡ－１１

■共通事項

◎　一般事項

1．特記なき事項は東京都建築工事標準仕様書による。
2．標準的扉材には戸当りを設ける。設置場所は監督員の承諾を得ること。
3．ガラス押えは特記なき限りシール押えとする。
4．ＬＳＤは特記なき限り指定色とし、枠：焼付塗装、扉：鋼板t=0.6焼付塗装とする。
　切窓及びガラリを設ける場合、枠なしを標準とする。
5．ＳＤは特記なき限り、扉見込40、両面フラッシュとする。
6．防音扉の仕様は特記による。
7．ハンガードアは特記なき限り手動開、自動閉鎖、閉鎖時エアブレーキ付、引手付、
　ストップ機構付とする。
8．外壁に面するＳＤは躯体による抱きを設ける。屋内に設ける枠は特記なき場合大枠とする。
9．サッシュ寸法はタイル割付などにより寸法調整を行い、監督員の承諾を得ること。
10．排煙口手動開放装置のうち、手で操作する部分は壁面の床から0.8mから1.5mの範囲に
　設け、設置場所については監督員の承諾を得ること。使用方法を示す標識を設けること。
11．ガラス厚の合計が10mmを超す建具の下枠内部でｽﾁｰﾙ補強すること。
12．特定防火設備、防火設備の区別を監督員に確認すること。
13．塗装色については監督員の承諾を得ること。
14．塩化ビニルシート貼はアイカ：ダイノックシート同等品以上とする。
15．ガラスの飛散防止フィルム貼は特記によるものとする。
16．外部の開閉可能なサッシについては全て鍵付とする。（排煙窓を除く）
17．すべての建具寸法は、特記なき限り有効開口寸法とする。
18．カード式電気錠は、美和ロックFelicaカード、FKALT仕様同等品とする。
19．一般の電気錠は、非常用装置付電気錠、美和ロックAUS-E同等品とする。
20．高耐久性木材以外の木部は共通木材保護塗装とする。

◎　外部建具

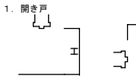
1．アルミサッシに付ける網戸の網は合成樹脂製とし、プリーツ網戸とする。
2．特記なき限り、アルミ建具(AW)には結露受(アルミ押出型材)をつけること。
3．鍵は、ピッキング防止用とする。
4．ＲＣ納まりの建具はﾓﾙﾀﾙ充填とする。外壁に面する建具は防水ﾓﾙﾀﾙ充填とする。
5．外部に面する建具には水切りを設けること。
　アルミサッシュ：アルミ製水切り、鋼製建具：SUS製水切り
6．アルミ建具は特記なき限り、以下の仕様とする。
　表面処理：B-2、　耐風圧：S-5、　気密性：A-3、　水密性：W-4、　遮音性：T-2、
　断熱性：H-3
7．外部に面するアルミサッシ枠廻りは4周共現場発泡ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ充填とする。
8．アルミサッシ以外の金属建具の枠廻りは、外部：防水モルタル内部：モルタル詰めとする。
9．シーリングは次による。
　コンクリートと金属：ポリサルファイド系シーリング材
　金属とガラス、ガラスとガラス：シリコンシーリング材
10．排煙窓の手動開放装置は隠蔽式とし、操作ボックスはﾒｰｶｰ仕様とする。
11．ガラス突きつけ部分はガラスと同厚のシリコンシーリングを行う。
12．アルミガラリはステンレス製防虫網・ダクト接続用ｱﾝｸﾞﾙ(4周)付とし、
　開口率は50%内外とする。又、補強が必要な場合は裏側補強とする。
13．回転窓、内たおし窓、外倒し窓の回転角度は45°以上とする。
14．電気錠は火災報知器連動とする。
15．外部に面する鋼製建具は特記なき限り簡易気密型ドアセット(S-4、A-3、W-1)とする。
16．クレセント高さは、床から0.8mから1.5mの範囲に設けること。
17．特記無き限り、すべて、クレセント、サムターンシリンダー錠等の鍵付とする。

◎　建具金物

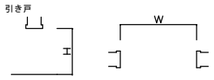
1．錠前は全てマスターキー対応とする。
2．建具金物は特記なき限り下記による。
　開き戸：レバーハンドル(ユニオンUL1039-0025同等品以上)
　両開き(親子開き)戸の場合はﾌﾗｽ落し付とする。
　錠前はｹｰｽﾛｯｸﾀｲﾌﾟ　ｻﾑﾀｰﾝｼﾘﾝﾀﾞｰとする。
　EPS・PS等の点検扉は隠し丁番(ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ)とする。
　引戸：戸車、ﾚｰﾙ、ｸﾚｾﾝﾄ、把手又は引手
　全ての建具を鍵付きとする。
　サムターン、鍵の取付位置はH=1400を標準とし、監督員の承諾を得ること。
3．木製建具の引縁には敷居スベリを取り付ける。
4．両開きに取り付けるﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰは特記なき限り順位調整器付とする。
5．押棒：(三共立山アルミ　ARM-S専用品　同等品)
6．ハンガー戸は、すべて自閉式とする。

◎　鋼製・軽量鋼製建具寸法

1．開き戸



2．引き戸



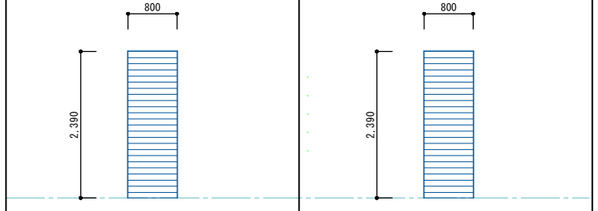
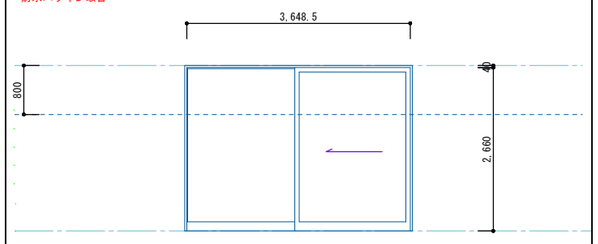
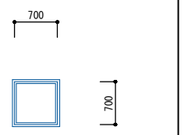
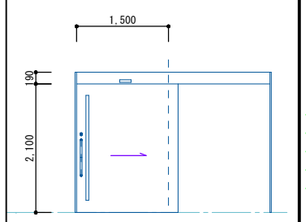
建具
WD　：木製扉
SD　：鋼製扉
SSD：ステンレス製扉
AD　：アルミニウム製扉
LSD：鋼製軽量扉
WW　：木製窓
SW　：鋼製窓
AW　：アルミニウム製窓
SS　：鋼製重量シャッター
SSS：ステンレス製シャッター
LS　：鋼製軽量シャッター
OD　：オーバーヘッドドア
WG　：木製ガラリ
SG　：鋼製ガラリ
AG　：アルミニウム製ガラリ
SSG：ステンレス製ガラリ
SL　：鉄格子
AL　：アルミニウム製ルーバー
SP　：鋼製パーテーション
AP　：アルミニウム製パーテーション
H　：ふすま
P　：障子

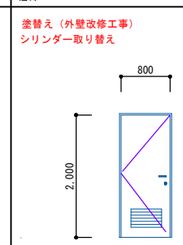
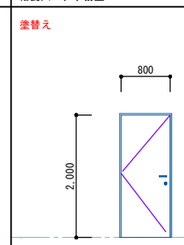
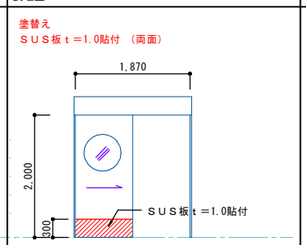
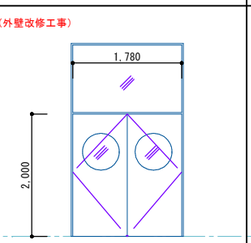
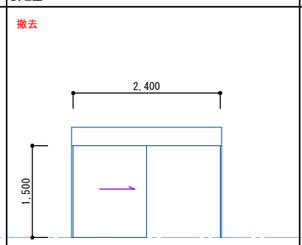
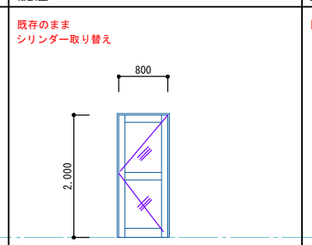
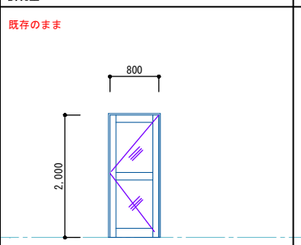
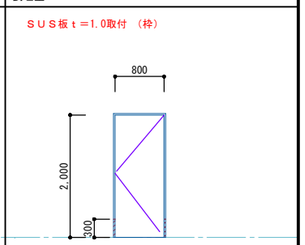
建具金物
DC：ドアクローザー
PH：ピボットヒンジ
HC：ヒンジクローザー
FH：フロアヒンジ
AS：アームストッパー
AH：オートヒンジ
LH：ラバトリーヒンジ
ガラス
FL　：フロート板ガラス
FLSG：フロート板ガラス（すりガラス）
F　：型板ガラス
NF　：網入り型板ガラス
NP　：網入りみがき板ガラス
L　：合わせガラス
T　：強化ガラス
HAP：熱線吸収フロート板ガラス
IG　：複層ガラス
HR　：熱線反射ガラス
DS　：倍強度ガラス
PC　：ポリカーボネート樹脂板
AC　：アクリル樹脂板

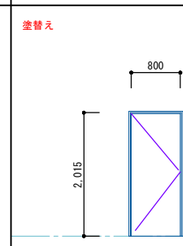
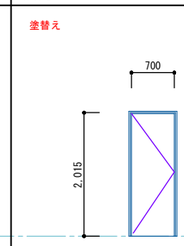
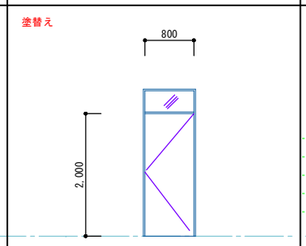
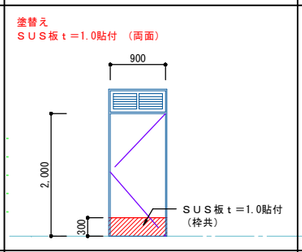
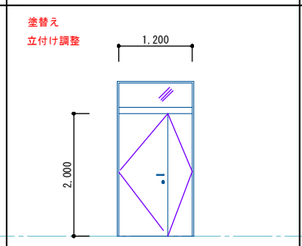
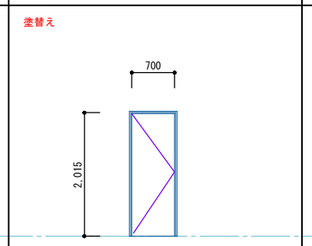
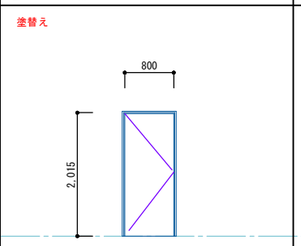
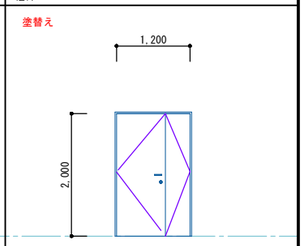
仕上げ
SOP　：合成樹脂調合ペイント塗り
FE　：フタル酸樹脂エナメル塗り
CL　：クリヤラッカー塗り
UC　：ウレタン樹脂ワニス塗り
OS　：オイルステイン塗り
LE　：ラッカーエナメル塗り
OF　：オイル塗りワックス拭き
HDZ55：鉄の溶融亜鉛めっきA種
　(550g/m2以上)
HDZ45：鉄の溶融亜鉛めっきB種
　(450g/m2以上)
HDZ35：鉄の溶融亜鉛めっきC種
　(350g/m2以上)
A－1種：無着色陽極酸化皮膜
A－2種：着色陽極酸化皮膜
B－1種：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
B－2種：着色陽極酸化塗装複合皮膜
C－1種：無着色陽極酸化皮膜
C－2種：着色陽極酸化皮膜
D種　：化成皮膜の上に塗装

容揺形式
A：なし
B：SUS製 FB　t=3　H=20
C：内部一般(フラット)　SUS製 t=2.0　W=40
D：内部一般(戸当たり)　SUS製 t=2.0
E：内部簡易気密　SUS製 t=2.0
F：外部一般　SUS製 t=2.0
G：外部簡易気密　SUS製 t=2.0

ガラリの形状
特記なき限りガラリ形状はBとする。
開口率30～60%
開口率30～40%
開口率30～40%
※は図中に記載

符号・数量	(FSA 001) 1箇所	(FSA 101) 1箇所			(KAN 201) 既存建具改修 2箇所	(KTT 201) 既存建具改修 1箇所	(KSD 101) 1箇所
場所	B1Fエレベーター扉	1Fエレベーター扉			２Ｆ事務室	２Ｆホール	1F　調理室
姿図							
形式	煙感連動防火シャッター（遮煙）	煙感連動防火シャッター（遮煙）			片引き+ＦＩＸ窓	片引き+ＦＩＸ窓	片引きハンガー戸（外付け、自動扉）
扉材質･仕上げ(見込)	遮煙シートタイプ	遮煙シートタイプ			アルミ電解着色	アルミ電解着色	軽量スチール　焼付塗装　40
枠材質･仕上げ(見込)	SUS枠	SUS枠			100		スチール　焼付塗装　135
建具金物	手動巻上げタイプ、付属金物一式	手動巻上げタイプ、付属金物一式			付属金物一式　　防水パッキン取替	付属金物一式	付属金物一式、タッチセンサースイッチ、シリンダー錠
ガラス					FL6	ＦＷＧ6.8取替	Ｆ４
備考	特定防火設備（常閉）	特定防火設備（常閉）					

符号・数量	(KSD 001) 既存建具改修 1箇所	(KSD 101) 既存建具改修 2箇所	(KSD 102) 2箇所	(KSD 103) 1箇所	(KSD 104) 1箇所	(KAD 101) 既存建具 1箇所	(KAD 102) 既存建具 1箇所	(KAD 103) 既存建具 2箇所
場所	倉庫	給食入口、事務室	調理室	荷捌室	調理室	相談室	調乳室	調理室
姿図								
形式	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片引きハンガー戸（自動扉）	ＦＩＸ+両開き戸	片引きハンガー戸（自動扉）	片開きアルミ框戸	片開きアルミ框戸	片開きアルミ框戸
扉材質･仕上げ(見込)	スチール　ＳＯＰ　40　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ　40　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　40　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　40　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　40	アルミ	アルミ	アルミ
枠材質･仕上げ(見込)	スチール　ＳＯＰ　100　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ　100　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　135　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　135　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　135	アルミ	アルミ	木製　ＳＯＰ　ＳＵＳ板ｔ＝1.0取付　(枠)
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式、タッチセンサースイッチ	付属金物一式	付属金物一式、タッチセンサースイッチ、シリンダー錠	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
ガラス				ＮＰ６．８		ＮＰ６．８	ＮＰ６．８	
備考								

符号・数量	(KWD 101) 既存建具改修 1箇所	(KWD 102) 既存建具改修 1箇所	(KWD 103) 既存建具改修 1箇所	(KWD 104) 既存建具改修 1箇所	(KSD 201) 既存建具改修 2箇所	(KSD 202) 既存建具改修 1箇所	(KSD 203) 既存建具改修 1箇所	(KWD 201) 既存建具改修 1箇所
場所	事務室	1FＷＣ	荷捌室	調理室	2F事務、ラウンジ	2FＷＣ	2F当直室入り口	倉庫
姿図								
形式	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	ＦＩＸ+片開き戸	ガラリ+片開き戸	ランマＦＩＸ付き親子開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	親子開きフラッシュ戸
扉材質･仕上げ(見込)	木製　ＳＯＰ　40　EP-G再塗装	木製　ＳＯＰ　40　EP-G再塗装	木製　ＳＯＰ塗装　40　EP-G再塗装	木製　ＳＯＰ塗装　40　片面：EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ　40　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ　40　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ　40　EP-G再塗装	木製　ＳＯＰ　40　片面EP-G再塗装
枠材質･仕上げ(見込)	木製　ＳＯＰ　100　EP-G再塗装	木製　ＳＯＰ　100　EP-G再塗装	木製　ＳＯＰ塗装　135　EP-G再塗装	木製　ＳＯＰ塗装　135　片面：EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ　100　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ　100　EP-G再塗装	スチール　ＳＯＰ　100　EP-G再塗装	木製　ＳＯＰ　100　片面EP-G再塗装
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
ガラス								
備考								

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	給食棟改修工事 建具表	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014. 07. 01	KA－12

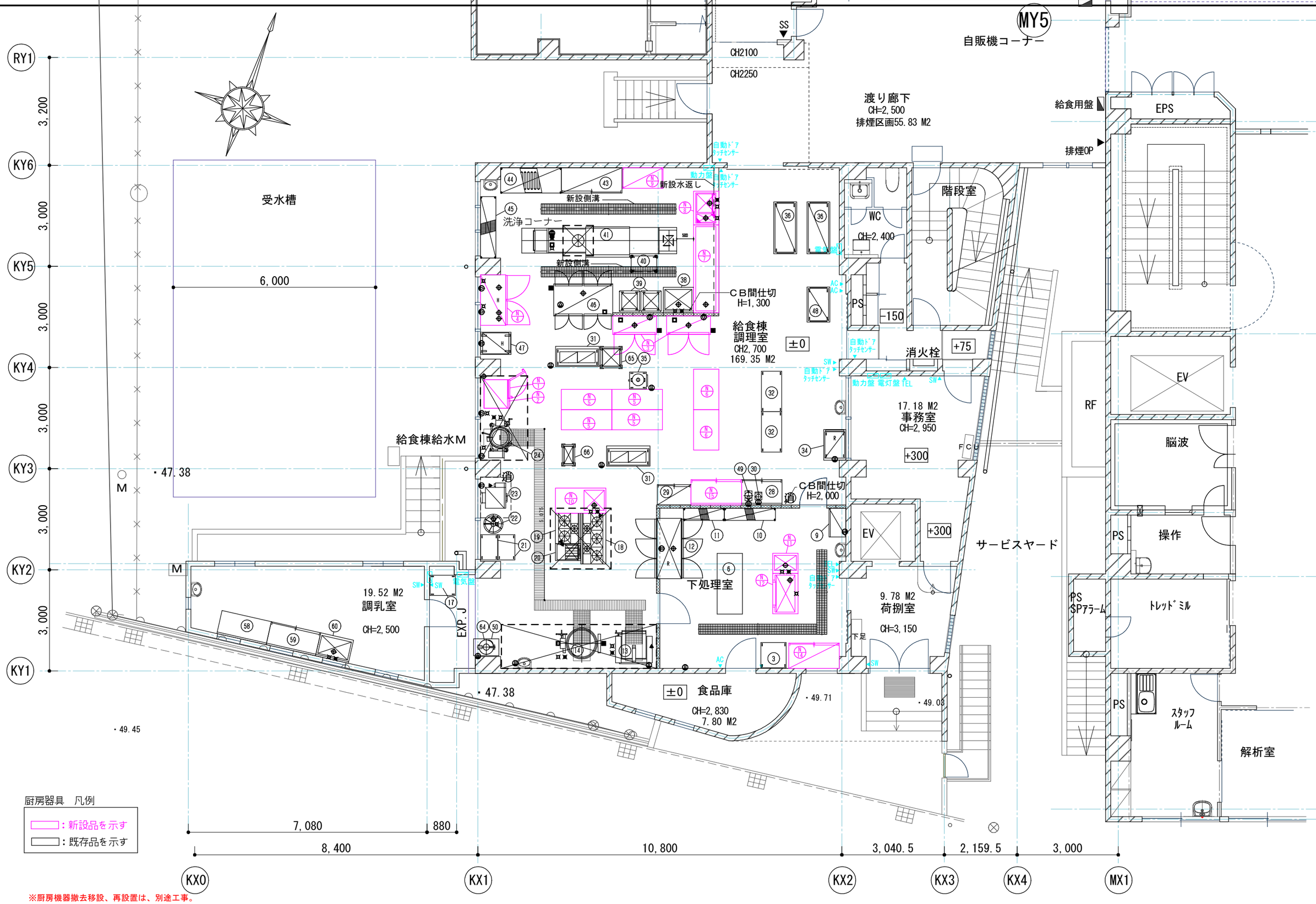
■：撤去品

セクション	No.	品名	MODEL	寸法(mm) 間口	奥行	高さ	台数	配管口径(A) 給水	給湯	排水	ガス 口径(A)	ガス 消費熱量(kW)(kcal/h)	蒸気 給気(A)	蒸気 排気(A)	蒸気 消費量(Kg/h)	電気 1φ100V(kW)	電気 1φ200V(kW)	電気 3φ200V(kW)	冷却水( ) 入口径(A)	冷却水( ) 出口径(A)	冷却水( ) 消費量(L/h)	フード	備考
■	1	ピーラー					1	15		ピット								0.4	撤去				
	2	脱水機		574	574	805	1	15								0.2							ピット
	3	移動台		750	750	850	1																
■	4	舟型シンク		1200	750	850	1	15		50									撤去				
■	5	一槽シンク		750	600	850	1	15	15	50									撤去				
	6	台		1800	750	850	1																
■	7	刃物用ロッカー					1												撤去				
■	8	フードスライサー	MG-201	646	769	1193	1	15										0.6	撤去				
	9	殺菌庫	FSCD8550B	850	500	1460	1									0.780							収納数(包丁30、まな板10) 紫外線殺菌＋乾燥機付
	10	シェルフ		1518	359	1892	1																
	11	シェルフ		1212	359	1892	1																
	12	冷蔵庫	FR1885WH	1790	850	1950	1			50						0.921							庫内容積:1704リットル
	13	ガスブレージングパン	FGB75A	1090	990	850	1	15	15	ピット	20	20.9 (18000)				0.02						G	容量:75リットル
	14	蒸気回転釜	KSⅡ-20	1450	990	815	1	15	15	ピット			20	20	51							G	満水量:150リットル
■	15	ガス回転釜	KGG-20	1390	980	780	1	15	15	ピット	20	37.2 (32000)							撤去			G	ツバ元水量:80リットル
■	16	ガス蒸し器	FGUG200	850	750	1650	1	15		25×2	20	20.9 (18000)				0.1			撤去			○	浄軟水器付
	17	移動台		750	600	850	1																
	18	ガステーブル	FGTR15-75A	1500	750	850	1				25	52.3 (45000)										G	
	19	ガステーブル	FGTR9-75A	900	750	850	1				20	33.1 (28500)										G	
	20	ガスフライヤー	FGF21NA75	500	750	850	1				15	14.0 (12000)										G	油量:21リットル JIA認証
	21	移動台		750	500	850	2																
	22	水圧洗米器	FRW22W	φ570		800	1	20		32													
	23	ガス自動炊飯器		750	710	1340	1				25	(33) (28000)				(0.1)						○	
	24	自動粥調理器	FRGC40	1160	890	950	1	15×2	15	ピット								9.03				○	糟容量:75リットル
■	25	カートイン式オーブン					1	20		50								(20)	撤去			G	
■	26	温蔵庫		1500	800	1950	1	15		40×2								5.0	撤去				
■	27	シンク付台		1500	750	850	1	15	15	50									撤去				
	28	台下戸棚		1200	750	850	1																
	29	戸棚		1000	600	1800	1																
	30	ブレンダー	バイタプレップ3	203	229	514	1									0.975							
	31	ウォーマーカート		1290	600	850	2										2.40×2						
	32	移動台	FTP1260C	1200	600	850	2																
■	33	ローラーコンベア					1												撤去				
	34	コールドフードカート		660	910	1790	1									0.389							
	35	スープウォーマーカート		500	500	850	1									1.50							
	36	配膳車		1540	680	1470	2																54膳
■	37	下膳カウンター(ディスポーザー付)		(4200)	(600)	850	2	20×2	15×2	65×2								(1.5)×2	撤去				
	38	一槽シンク		900	750	850	1	15	15	50													
	39	モービルシンク		600	600	850	2																
	40	移動台		759	461	923	1																
	41	コンベアタイプ洗浄機	B190PZYSC	4600	1020	2010	1	20	20	ピット			50	25	66.4			4.57				○	必要排気量1200m3/h
■	42	生ゴミ処理機	YS-600-PS-08-R	1200	750	850	1	20	15	65								1.5	撤去				処理能力：6Kg/min
	43	戸棚		1800	750	1800	1																
	44	パンラック		1800	750	1800	1																棚4段
	45	シェルフ		1821	460	1892	1																
	46	蒸気消毒保管庫	FSDBW40	1750	950	1900	1			25			20	20	28			0.800					収容カゴ数：40カゴ
	47	ホットフードカート		660	910	1790	1									1.36							
	48	配膳車		1040	680	1470	1																32膳
	49	卓上カッターミキサー	DLC-XPLUS	210	300	340	1									0.48							
	50	台		750	500	800	1																

セクション	No.	品名	MODEL	寸法(mm) 間口	奥行	高さ	台数	配管口径(A) 給水	給湯	排水	ガス 口径(A)	ガス 消費熱量(kW)(kcal/h)	蒸気 給気(A)	蒸気 排気(A)	蒸気 消費量(Kg/h)	電気 1φ100V(kW)	電気 1φ200V(kW)	電気 3φ200V(kW)	冷却水( ) 入口径(A)	冷却水( ) 出口径(A)	冷却水( ) 消費量(L/h)	フード	備考
■	51	予浸槽		1500	800	890	1	15	15	40						(1.6)			撤去				
■	52	水切台		600	800	790	1			25									撤去				
■	53	洗浄機		890	730	1470	1		15	50								0.8	撤去			○	
■	54	全自動軟水器	KSA-6A				1	15		40						(0.1)			撤去				
■	55	ロッカー					1												撤去				
■	56	冷却槽		1800	750	810	1	15	15	40								5.5	撤去				
■	57	調乳水製造装置	MI-100A	540	500	2400	1	15		40								4.0	撤去				
	58	台		1500	700	790	1																
	59	台下戸棚		1500	700	790	1																
	60	一槽シンク		1000	700	790	1	15	15	50													
■	61	冷蔵庫		610	800	1950	1			50						(0.3)			撤去				
■	62	ホットフードカート		660	910	1790	1									(1.4)			撤去				
■	63	戸棚		1500	500	1000	1												撤去				
	64	IHジャー炊飯器	SR-PGB54AP	502	429	390	1											4.57					5.4リットル(3升)炊き
	65	ラックディスペンサーカート		620	620	850	1																ストック数(ラック5段)
	66	ラックディスペンサーカート		620	370	850	1																ストック数(ハーフラック5段)
新設品	1	コンビオーブン(ケアコントロール)	FSCCWE101	847	771	1042	1	20		50								17.2				G	棚段数10段 1/1サイズ10枚収納 ｾﾙﾌｸｯｷﾝｸﾞｺﾝﾄﾛｰﾙ,ｴﾌｨｼｴﾝﾄﾚﾍﾞﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ
新設品	2	コンビオーブン専用架台(扉付)	BC-1DWEP	849	727	673	1																
新設品	3	蒸気消毒保管庫	FSDB15	1300	550	1900	2			25×2								0.400×2					収容カゴ数：15カゴ
	4	温蔵庫	FWC15B02TC	1500	800	1950	1	15×2		40×3			20×2	20×2	15×2			3.0×2					浄軟水器付
	5	台		1500	600	850	4																
	6	台	FTPA1275	1200	750	850	2																
	7	下膳台		2600	750	850	1			25													
	8	残菜処理シンク		1000	750	850	1	15×2	15	50 40													残菜カゴ付
	9	シェルフ(ソリッド4段)	CSU44487S	1220	610	1830	1																NSF仕様
	10	シンク付台		1500	750	850	1	15	15	50													
	11	一槽シンク	FS756OF	750	600	850	1	15	15	50													
	12	舟型シンク		1200	750	850	1	15		50													
	14	戸棚	FCC1575	1500	750	1800	1																
	15	台下戸棚	FTC1575	1500	750	850	1																

⚠ 注意：この設計図書は厨房室の下地材及び仕上材を不燃材と見なして設計してあります。

工事件名	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
NO. 大月市立中央病院既存棟改修工事 佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	給食棟改修工事 別途工事厨房機器リスト（参考図）	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	KA－13



※厨房機器撤去移設、再設置は、別途工事。

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	改修後 給食棟改修工事 給食棟1階厨房機器レイアウト図（参考）	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	ＫＡ－１４

外部仕上表（既存棟外装改修）

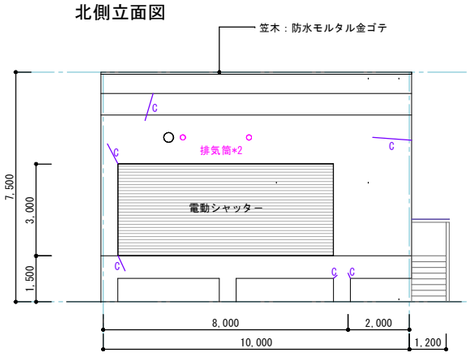
場所		仕上	備　考	備考及び設備概要
屋上	既存	既存南棟　PH階PF･PH　：コンクリート直押さえ+アスファル防水 既存新館　ＲＦ　：コンクリート直押さえ+アスファルトシート露出防水 給食棟　ＲＦ　：コンクリート直押さえ+シート防水+断熱タイル貼 別館　ＲＦ　：コンクリート直押さえ+アスファルト三層防水 レントゲン棟　ＲＦ　：コンクリート直押さえ+シート防水、豆砂利押さえ 既存ボイラー棟　ＲＦ　：コンクリート直押さえ+アスファル防水	ＲＤ：鋳鉄製150φ、　パラペット：アルミ製笠木 パラペット：天端防火モルタル金ゴテ仕上 ＲＤ：鋳鉄製100φ、75φパラペット：天端シート防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押さえ ＲＤ：鋳鉄製100φ　パラペット：天端防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押さえ パラペット：天端防水モルタル パラペット：天端防水モルタル	キュービクル・非常用発電機・給水本管・室外機・冷温水発生機・冷却塔・排風機・排煙機・細菌フィルター給湯機 高架水槽・冷温水発生機・冷却塔・送風機・排風機
	改修	既存南棟　PH階PF･PH　：コンクリート直押さえ+アスファル防水　改修なし 既存新館　ＲＦ　：コンクリート直押さえ+アスファルトシート露出防水　改修なし 給食棟　ＲＦ　：断熱タイル貼撤去の上ウレタン塗膜防水(X-1)（給食棟改修工事） ：パラペット部分：高圧洗浄の上ウレタン塗膜防水(X-1) 別館　ＲＦ　：コンクリート直押さえ+アスファルト三層防水　改修なし レントゲン棟　ＲＦ　：一般部分：豆砂利撤去の上ウレタン塗膜改修防水（X-1)パラペット共 既存ボイラー棟　ＲＦ　：コンクリート直押さえ+アスファル防水　改修なし	□全部位共通 スチール製タラップ・鉄骨階段・スチール製手摺・縦樋：塗装改修 SUSタラップ：改修なし トップライト：清掃 配管架台（置き型）：塗装改修 塗装改修：下地調整ＲＢ種　さび止めＡ種　EP-G 既存ドレイン廻りの清掃を行う。 工事中に漏水事故のないよう、適切な雨養生及び、仮設防水を行う。	□全部位共通 改修に伴い必要な設備電気機器類・配管類・基礎架台類の撤去復旧・移設・ジャッキアップ 仮設架台等はすべて本工事に含む。 ケーブルラック・ケーブルダクト・架台類の分解再組立は本工事とする。 現状塗装してある設備配管、プルボックスなど：すべてEP-G再塗装（SUS製を除く）
外壁	既存	外壁（既存南棟）　：コンクリート打放し補修の上、弾性複層模様吹付タイル 外壁（既存新館）　：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 外壁（既存給食棟）　：コンクリート増打ちの上、セラスキン吹付 外壁（既存別館）　：モルタル刷毛引き　アクリルリシン吹付、一部磁器質小口タイル貼 外壁（既存レントゲン棟）：コンクリート増打ちの上、アクリルリシン吹付 外壁（既存ボイラー棟）　：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付	基礎巾木（既存南館）：防水モルタル金ゴテ押さえ 基礎巾木（既存新館）：モルタル刷毛引き 基礎巾木（既存給食棟）：モルタル刷毛引き 基礎巾木（既存別館）：モルタル刷毛引き 基礎巾木（既存レントゲン棟）：モルタル刷毛引き	
	改修	外壁（既存棟共通）　：高圧洗浄の上、複層塗材Ｅ吹付け　タイル面は既存のまま 外壁（既存棟共通）　：クラック及び躯体爆裂部分は下地改修 外壁シール（既存棟共通）：層関打継、誘発、サッシュ廻り　すべてのシールを打替え 防水改修のない既存パラペット天端：複層塗材Ｅ	基礎巾木（既存棟共通）　：高圧洗浄の上、複層塗材Ｅ吹付け	□全部位共通 改修に伴い必要な設備電気機器類・配管類・基礎架台類の撤去復旧・移設・仮設架台等は本工事に含む
開口部	既存	開口部ＡＷ（既存棟共通）：アルミ製（ｱﾙﾏｲﾄ処理加工） 開口部SD（既存棟共通）：スチール製SOP		
	改修	開口部ＡＷ（既存棟共通）：アルミ製（ｱﾙﾏｲﾄ処理加工）清掃 開口部SD（既存棟共通）：スチール製SOP　撤去物以外すべてEP-G塗替		
軒天	既存	軒天（既存南館）：フレキシブル板、VP　　軒天（給食棟）：リシン吹付		
	改修	軒天（既存南館）：既存フレキシブル板EP-G塗替　軒天（給食棟）：リシン吹付		
エントランスポーチ	既存	既存南館キャノピー：柱：スチール焼付塗装　軒天：アルミスパンドレル　屋根：フッソ樹脂塗装鋼板 給食等エントランス：100角磁器タイル	給食エントランスからＢＦへの外階段手摺(南棟共）：スチールＳＯＰ　　道路と給食棟の間部分：既存ガードレール	
	改修	既存南館キャノピー：柱のみEP-G現場塗装 給食棟エントランス：既存100角磁器タイル撤去の上　下地調整150角タイル貼	給食エントランスからＢＦへの外階段手摺(南棟共）：スチール面ＥＰ－Ｇ塗替え　　道路と給食棟の間部分：既存ガードレール撤去の上新設メッシュフェンス H1,200　既存コンクリート擁壁天端へ固定	
その他	既存	既存別館・新館　縦樋　：ＶＰ100φ 既存南館　縦樋　：ＶＰ150φ 既存レントゲン棟　縦樋　：ＶＰ75φ 既存給食棟　縦樋　：ＳＵＳ製100φ、80φ、50φ 既存ボイラー棟　縦樋　：鋳鉄管150φ	既存エキスパンションジョイント：清掃 南棟、新館、給食棟バルコニースチール手摺：すべてＥＰ－Ｇ塗替え 南棟螺旋階段：すべてＥＰ－Ｇ塗替え ボイラー棟：スチール手摺：ＥＰ－Ｇ塗替え	
	改修	縦樋　：EP-G塗（SUS樋は除く）	給食棟東側地下サービスヤード階段手摺、スチール門扉：すべてＥＰ－Ｇ塗替え	

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
（仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	既存棟外装改修工事 外部仕上表	N.S 作成年月日 2014. 07. 01	ＧＡ－０１

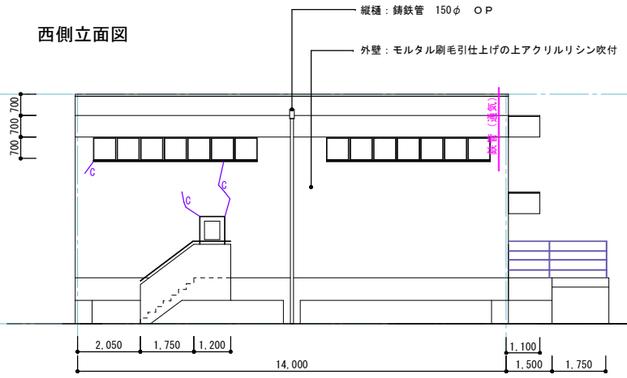
【現況図】

設備配管撤去は設備工事
（設備図参照）

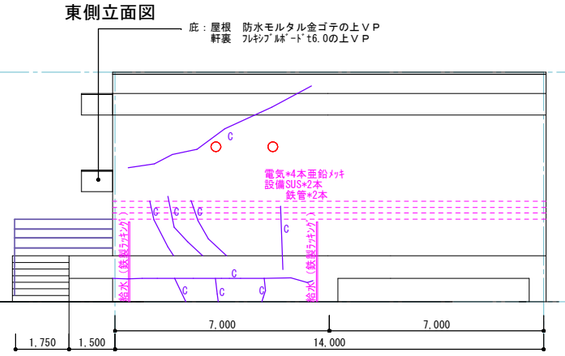
北側立面図



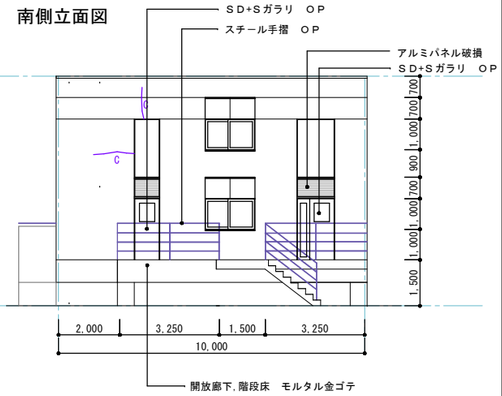
西側立面図



東側立面図



南側立面図

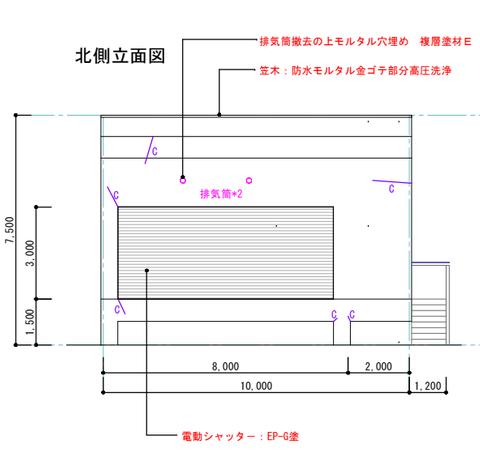


C：現状クラック位置を示す

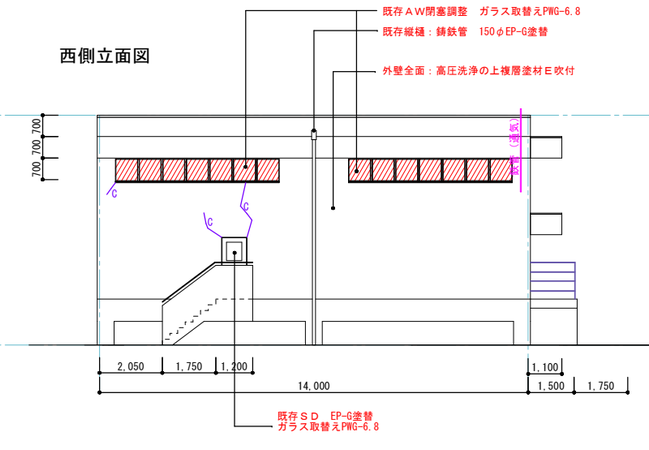
設備配管改修は設備工事
（設備図参照）

【改修図】

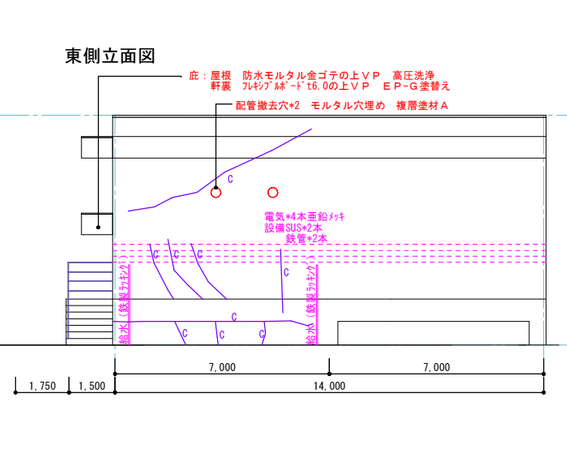
北側立面図



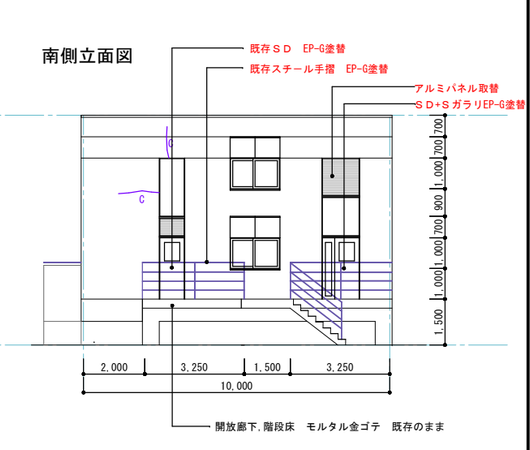
西側立面図



東側立面図



南側立面図

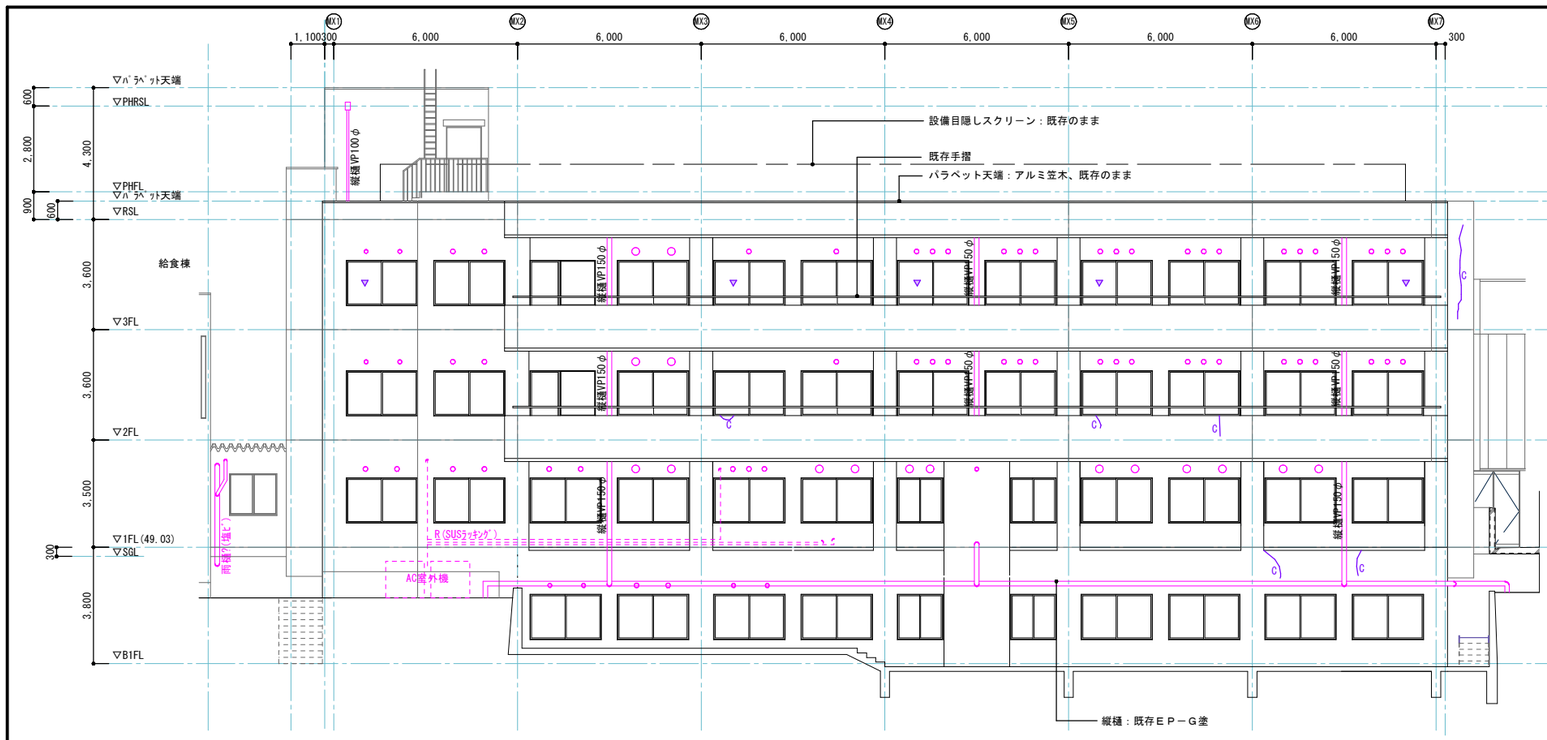


○：既存縦樋、設備配管類を示す
※SUSを除く縦樋は、EP-G塗替
※既存塗装配管類は、EP-G塗替
C：現状クラック位置を示す
　寸法に応じた補修を施工

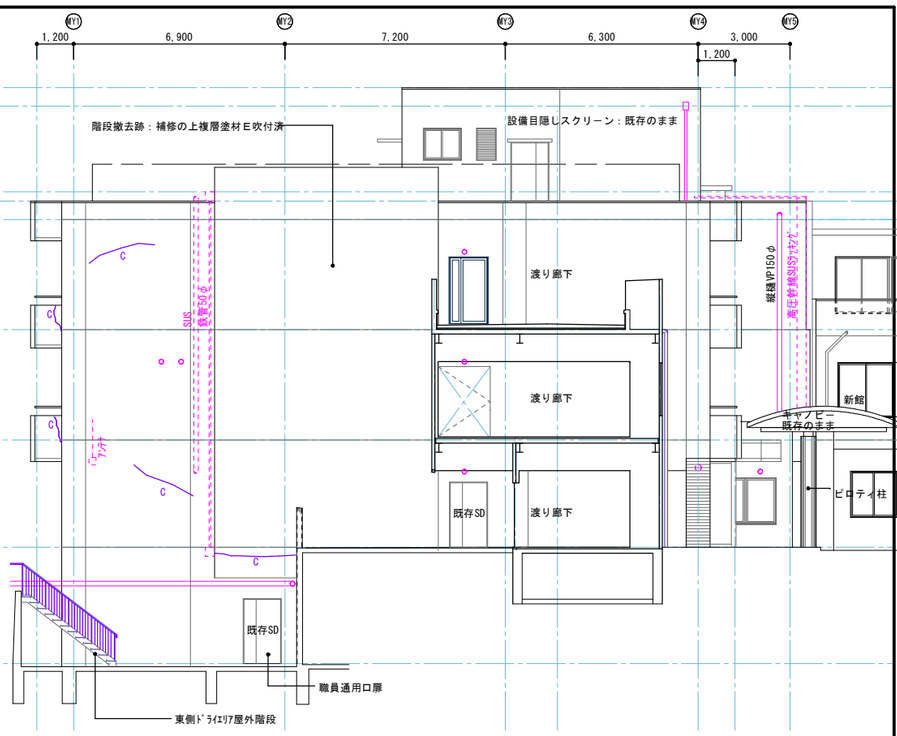
■各棟共通事項
※全てのＡＤ・ＡＷ・ＳＤ廻りのシール打替え
※全ての層間打継ぎ目地、誘発目地廻りのシール打替え

設備配管改修は設備工事
（設備図参照）

工事件名 （仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 既存・改修立面図（ボイラー棟）	縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01 図面ＮＯ．ＧＡ－０２

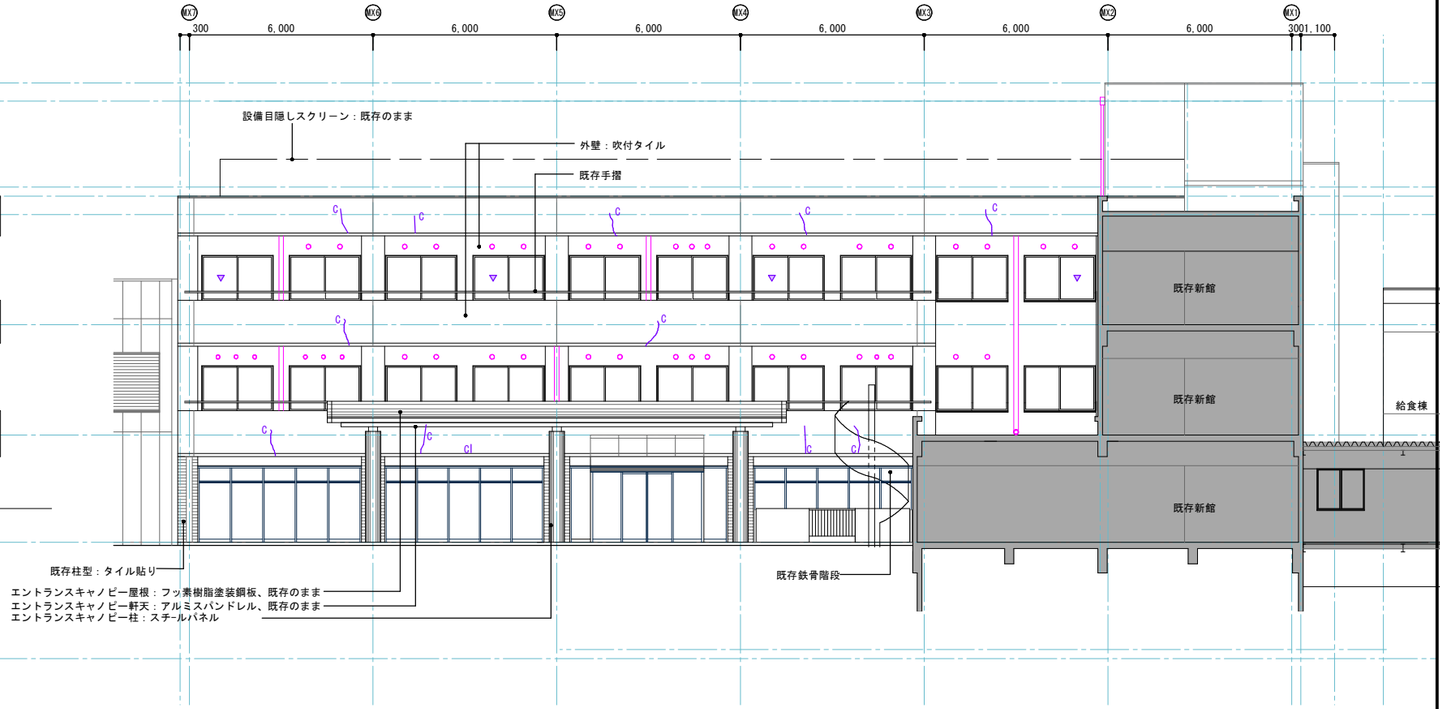


南側立面図



東側立面図

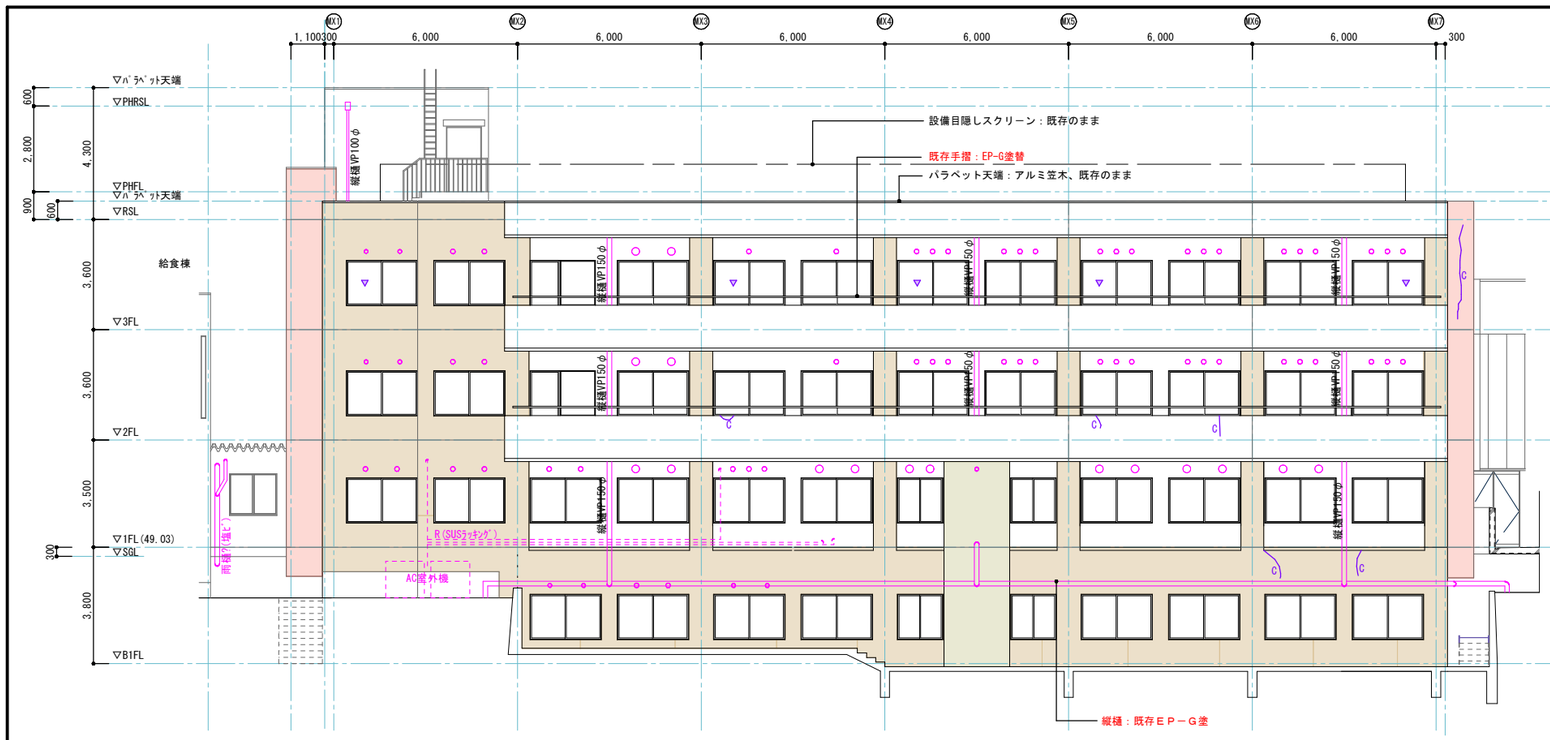
西側立面図



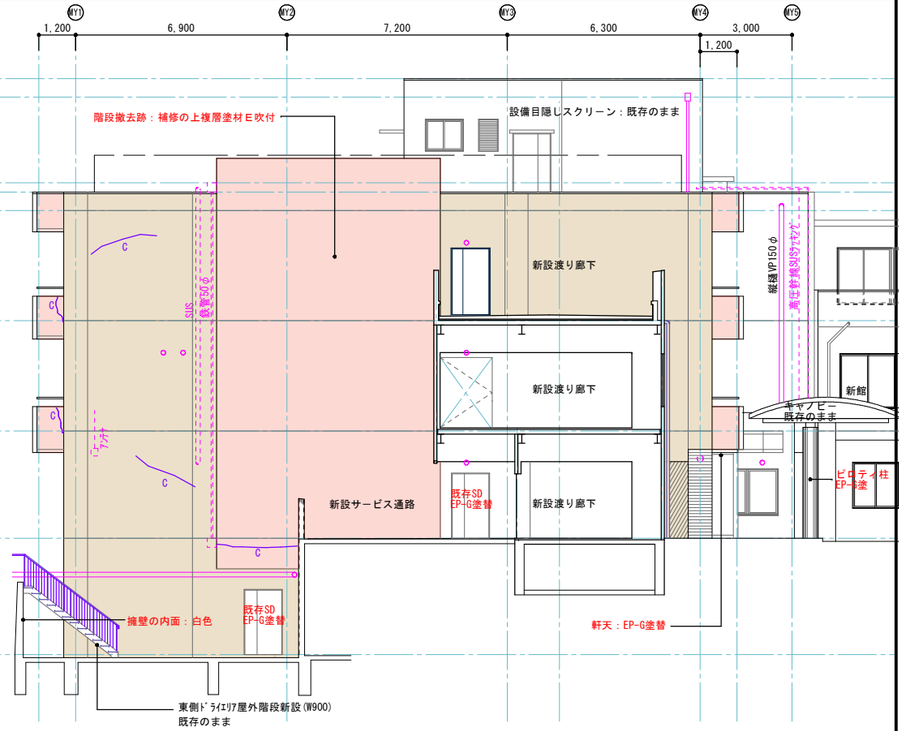
北側立面図

○:既存縦樋、設備配管類を示す
※SUSを除く縦樋は、EP-G塗替
※既存塗装配管類は、EP-G塗替
C：現状クラック位置を示す
W寸法に応じた補修を施工
設備配管改修は設備工事
（設備図参照）

工事件名 (仮称)大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 南棟　既存立面図	縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01	図面ＮＯ. ＧＡ－０３

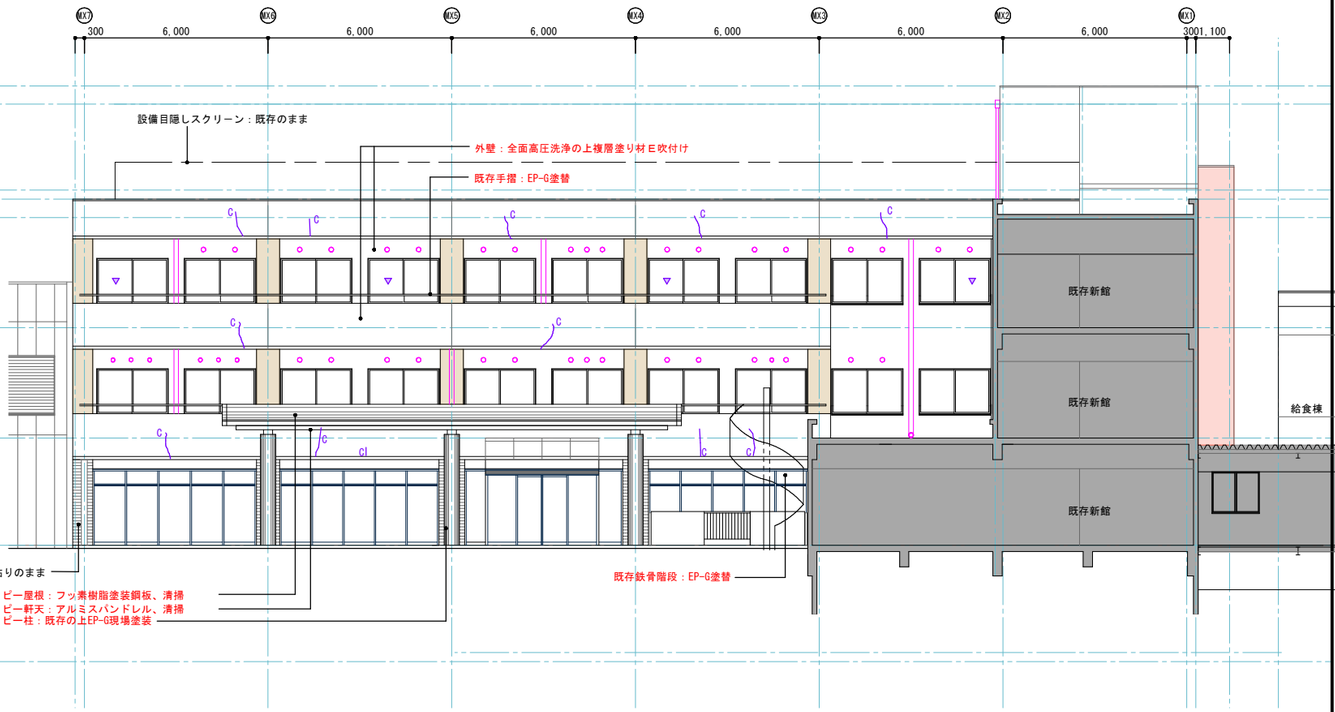


南側立面図



東側立面図

西側立面図

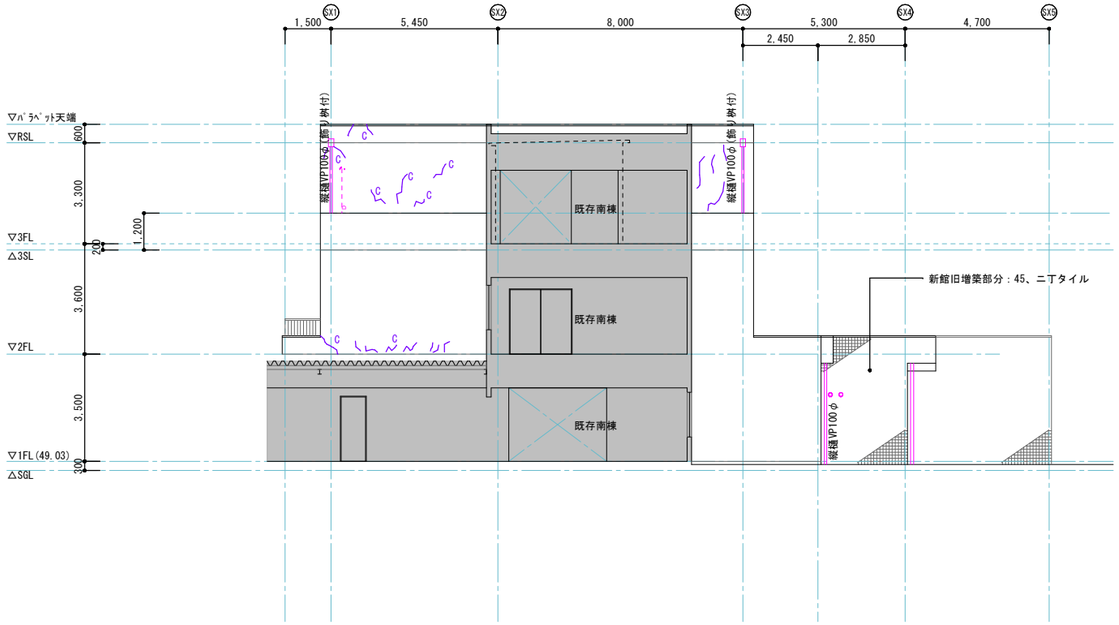


北側立面図

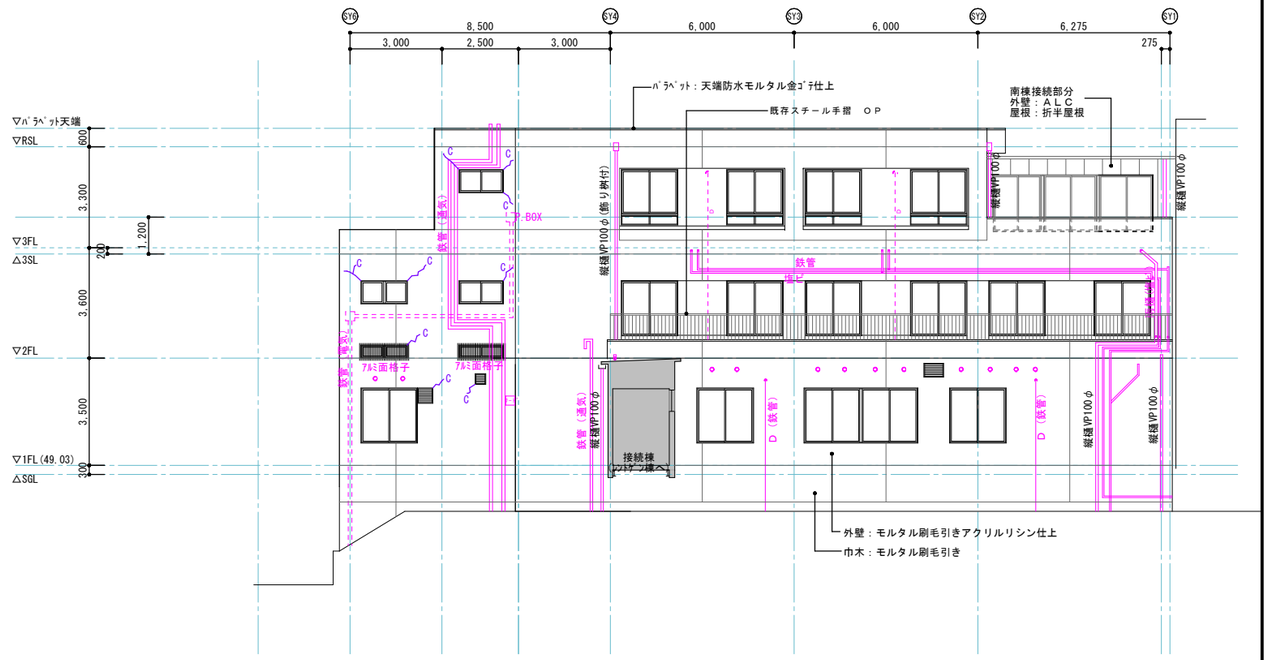
■各棟共通事項
※全てのＡＤ・ＡＷ・ＳＤ廻りのシール打替え
※全ての層間打継ぎ目地、誘発目地廻りのシール打替え

既存縦樋、設備配管類を示す
※SUSを除く縦樋は、EP-G塗替
※既存塗装配管類は、EP-G塗替
Ｃ：現状クラック位置を示す
Ｗ寸法に応じた補修を施工
設備配管改修は設備工事
（設備図参照）

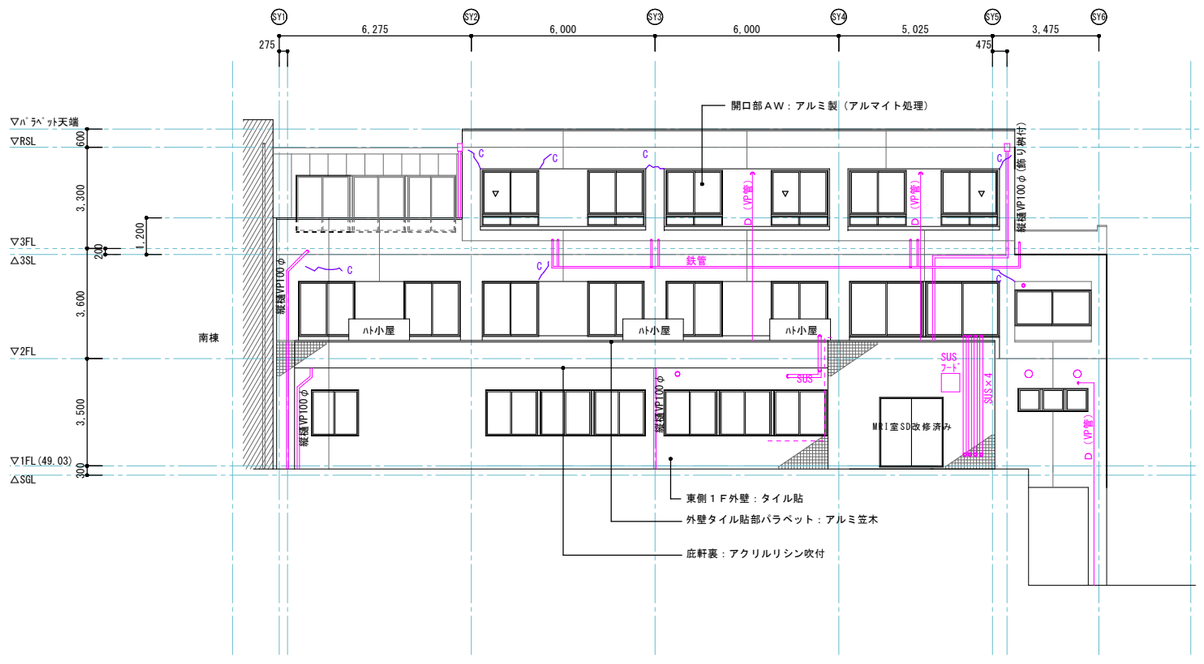
工事件名 ＮＯ. (仮称)大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No. 12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 南棟 改修立面図	縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01	図面ＮＯ. ＧＡ－０４



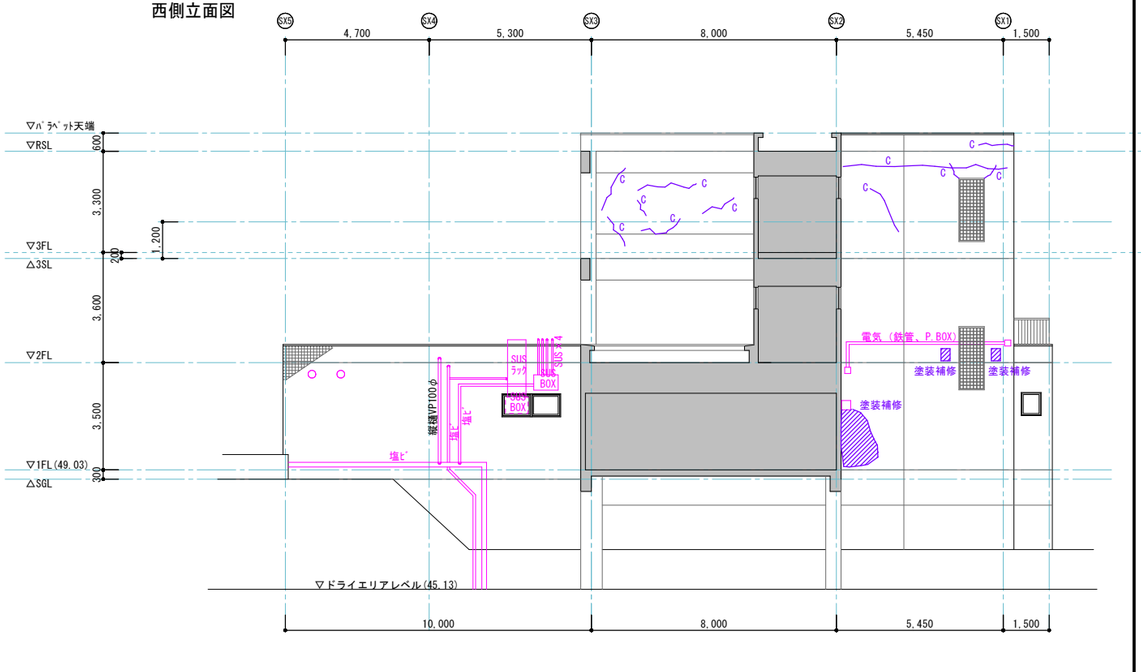
南側立面図



西側立面図



東側立面図

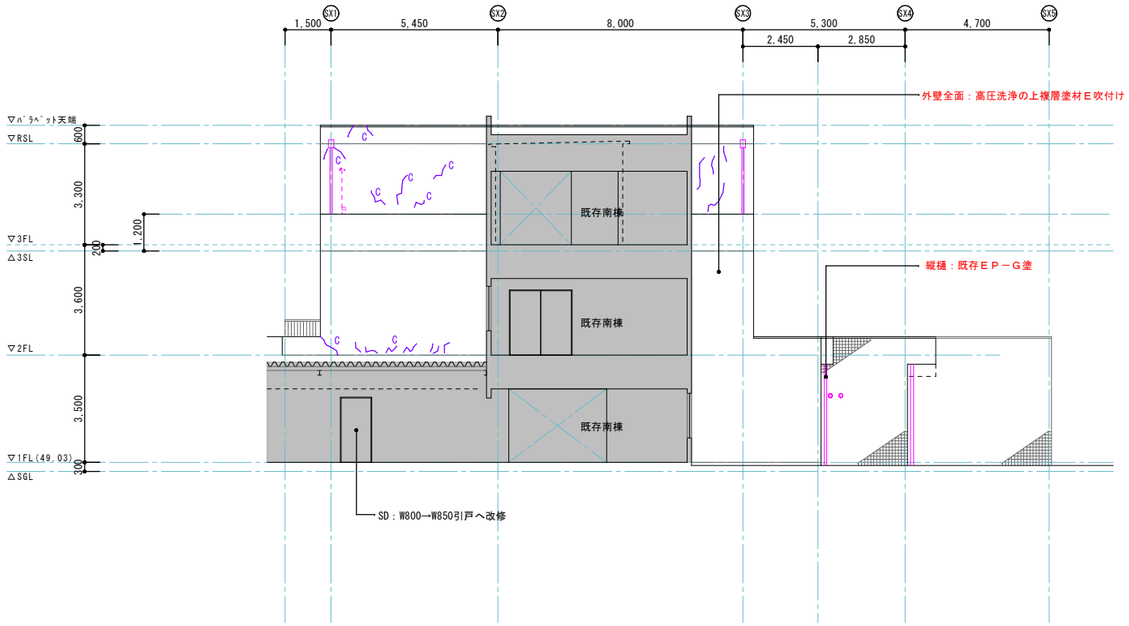


北側立面図

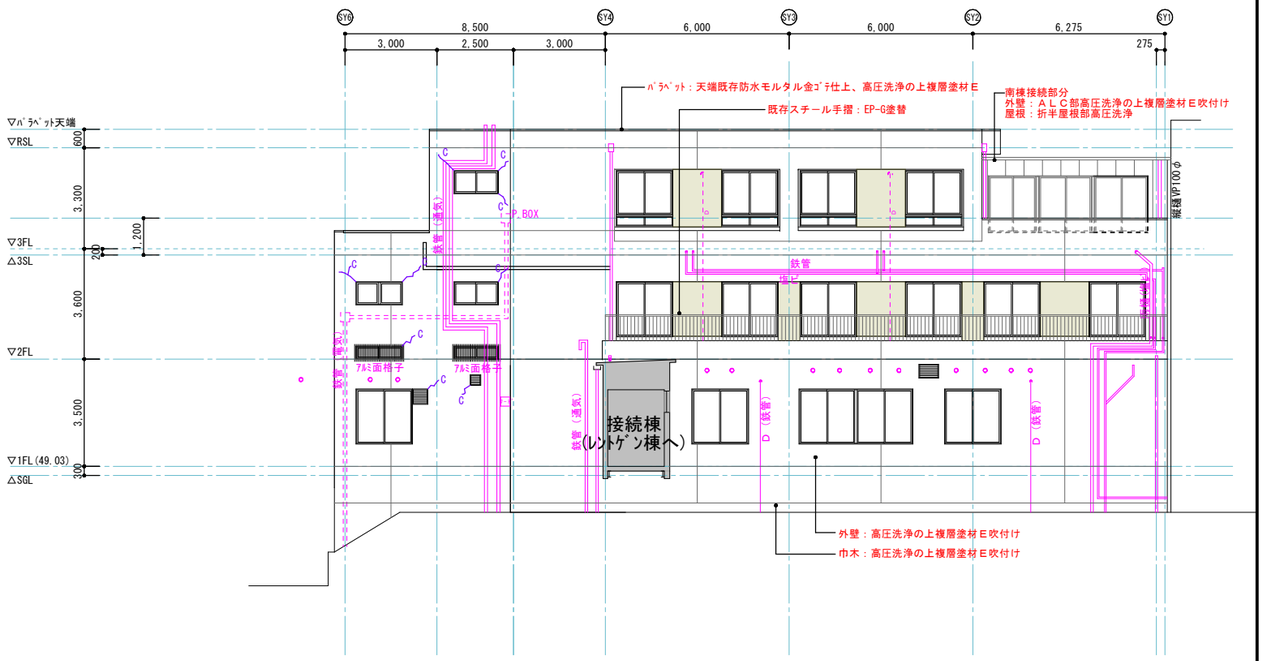
既存縦樋、設備配管類を示す
Ｃ：現状クラック位置を示す
設備配管撤去は設備工事（設備図参照）

ＮＯ. (仮称)大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 新館　既存立面図	縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01	図面ＮＯ. ＧＡ－０５

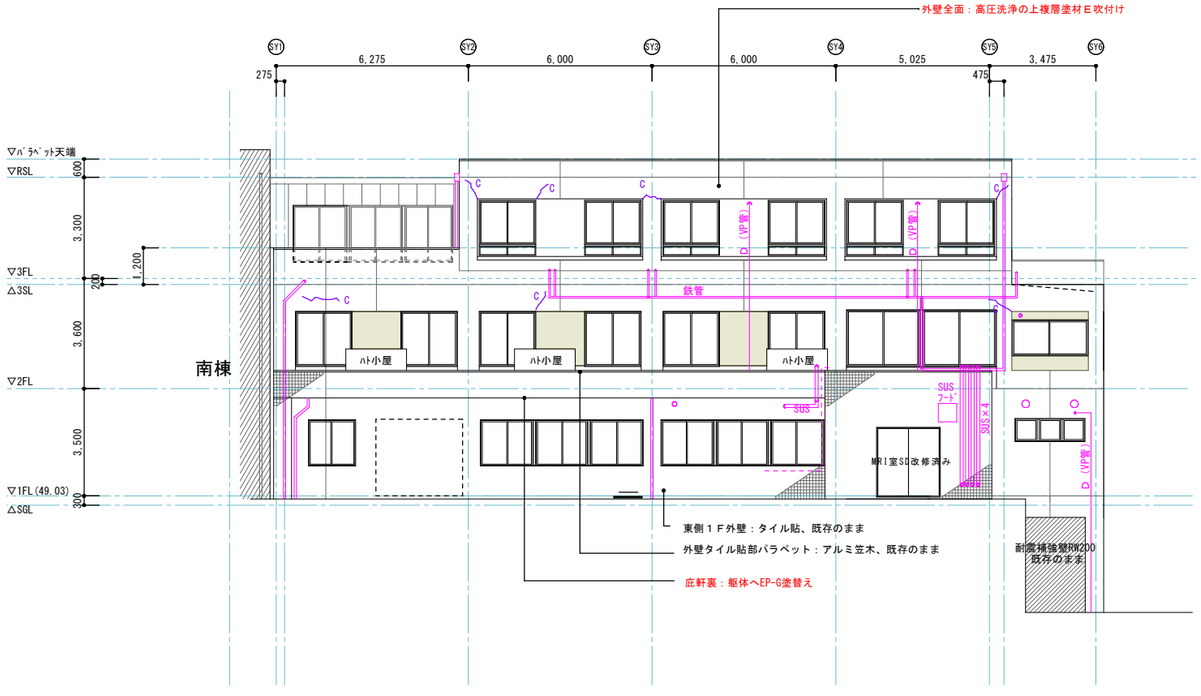
設備配管改修は設備工事
（設備図参照）



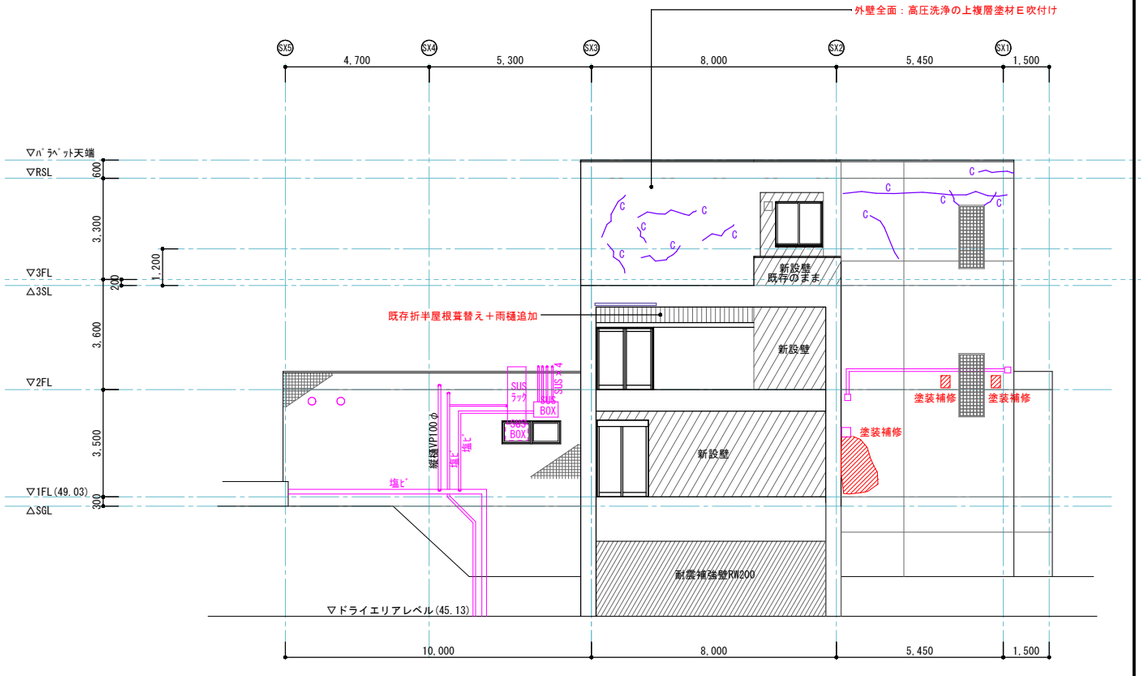
南側立面図



西側立面図



東側立面図



北側立面図

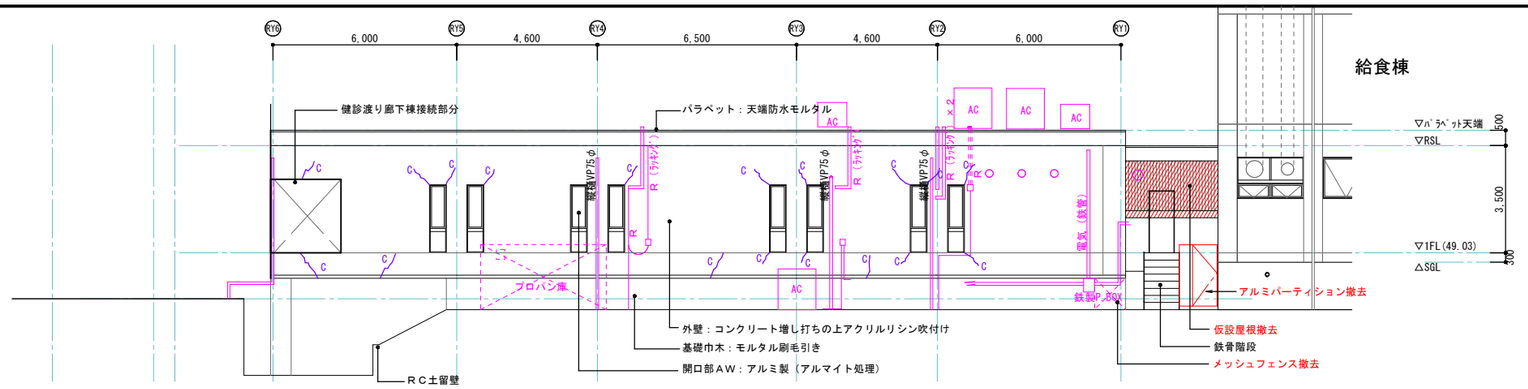
■各棟共通事項
※全てのＡＤ・ＡＷ・ＳＤ廻りのシール打替え
※全ての層間打継ぎ目地、誘発目地廻りのシール打替え

○：既存縦樋、設備配管類を示す
※SUSを除く縦樋は、EP-G塗替
※既存塗装配管類は、EP-G塗替
Ｃ：現状クラック位置を示す
Ｗ寸法に応じた補修を施工
設備配管改修は設備工事
（設備図参照）

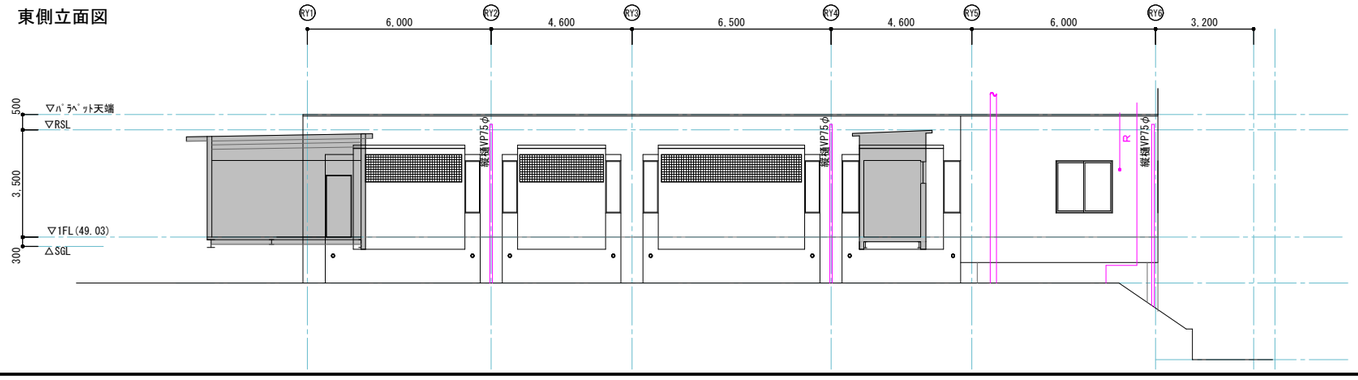
工事件名 （仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事 NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No. 12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 新館　改修立面図	縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01	図面NO. GA－06

【現況図】

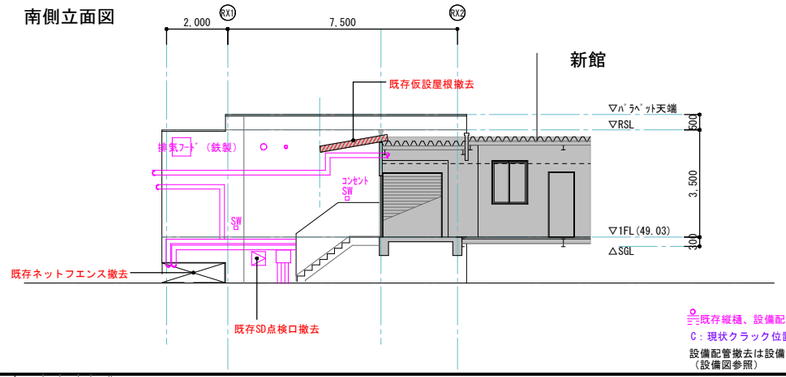
西側立面図



東側立面図



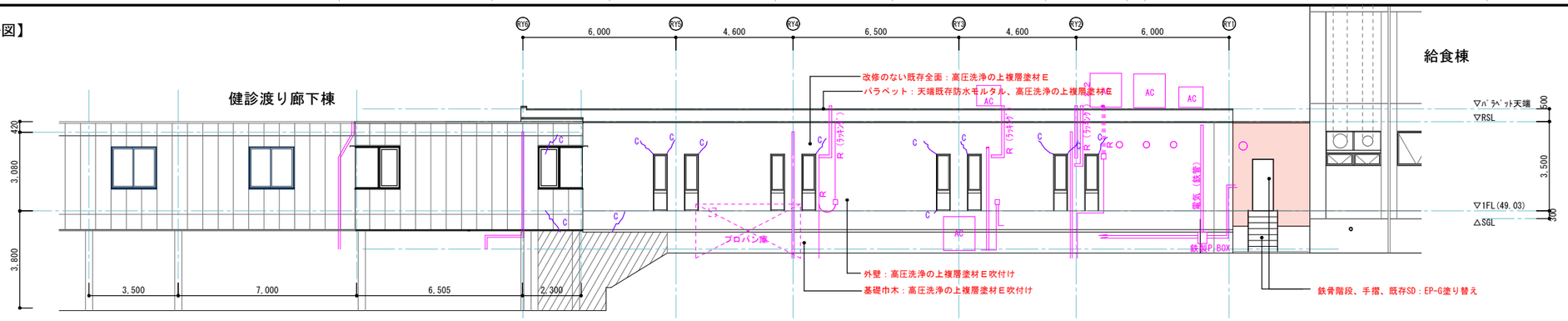
南側立面図



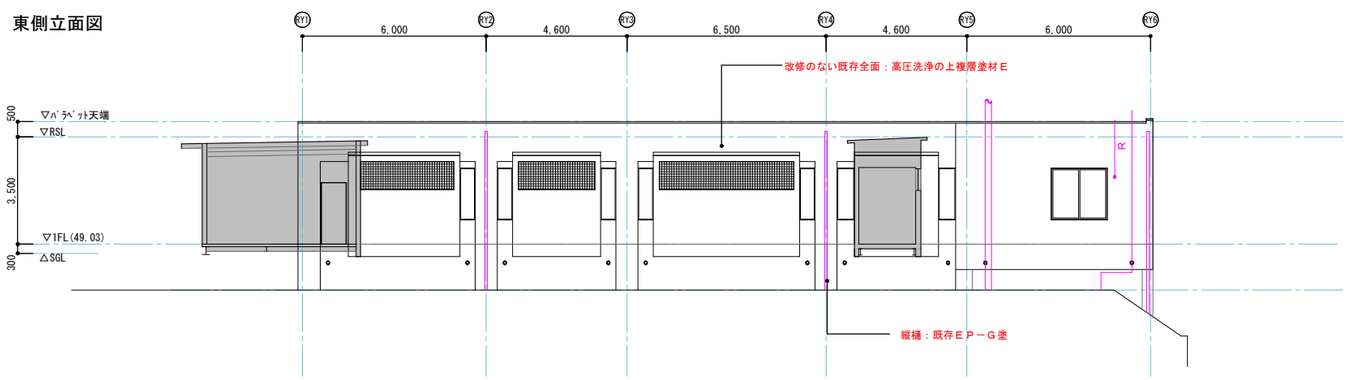
三：既存縦樋、設備配管類を示す
Ｃ：現状クラック位置を示す
設備配管撤去は設備工事
（設備図参照）

【改修図】

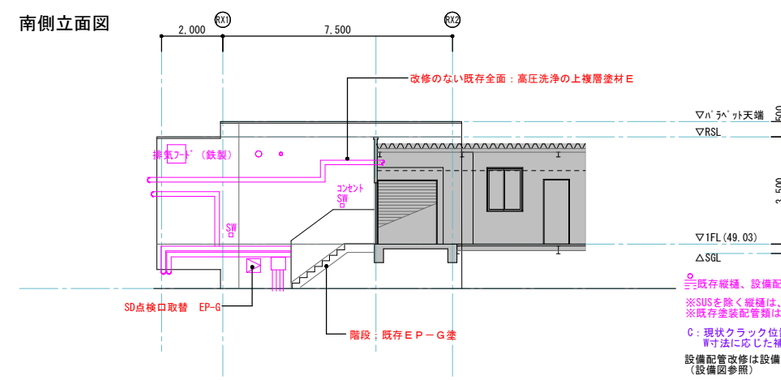
■各棟共通事項
※全てのＡＤ・ＡＷ・ＳＤ廻りのシール打替え
※全ての層間打継ぎ目地、誘発目地廻りのシール打替え



東側立面図

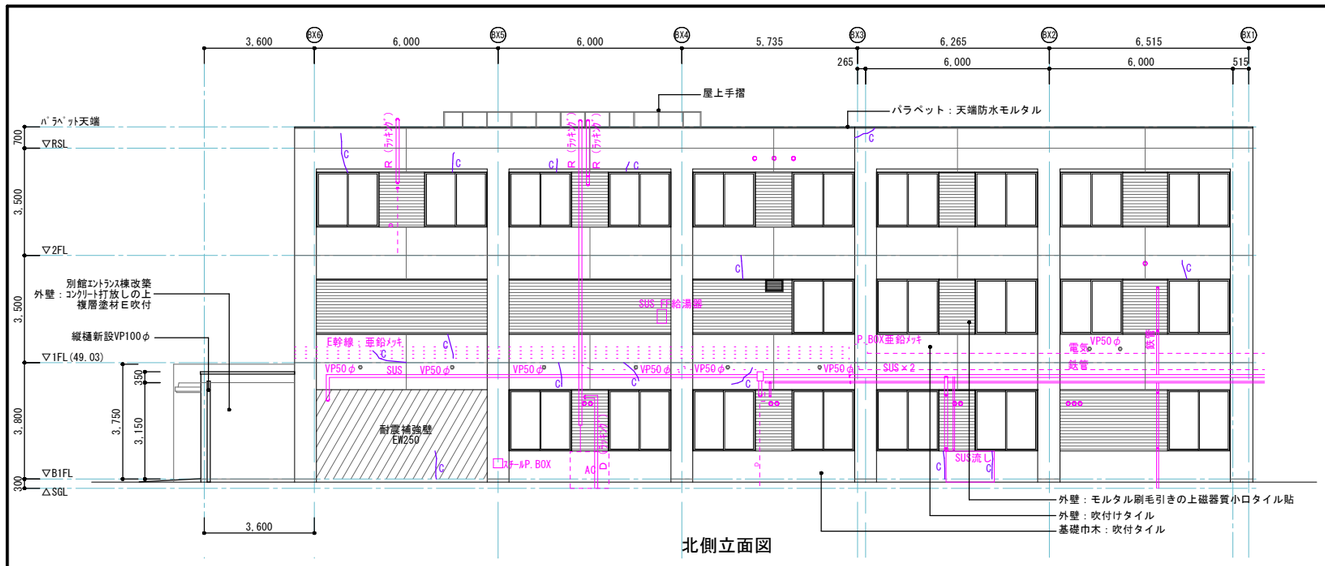


南側立面図

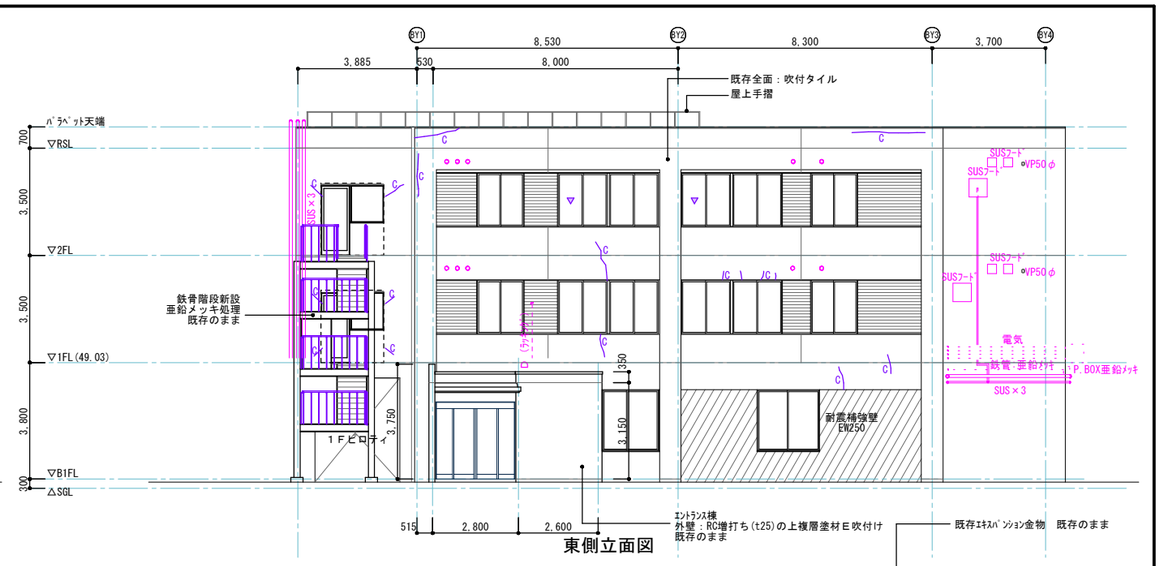


三：既存縦樋、設備配管類を示す
※SUSを除く縦樋は、EP-G塗替
※既存塗装配管類は、EP-G塗替
Ｃ：現状クラック位置を示す
　幅寸法に応じた補修を施工
設備配管改修は設備工事
（設備図参照）

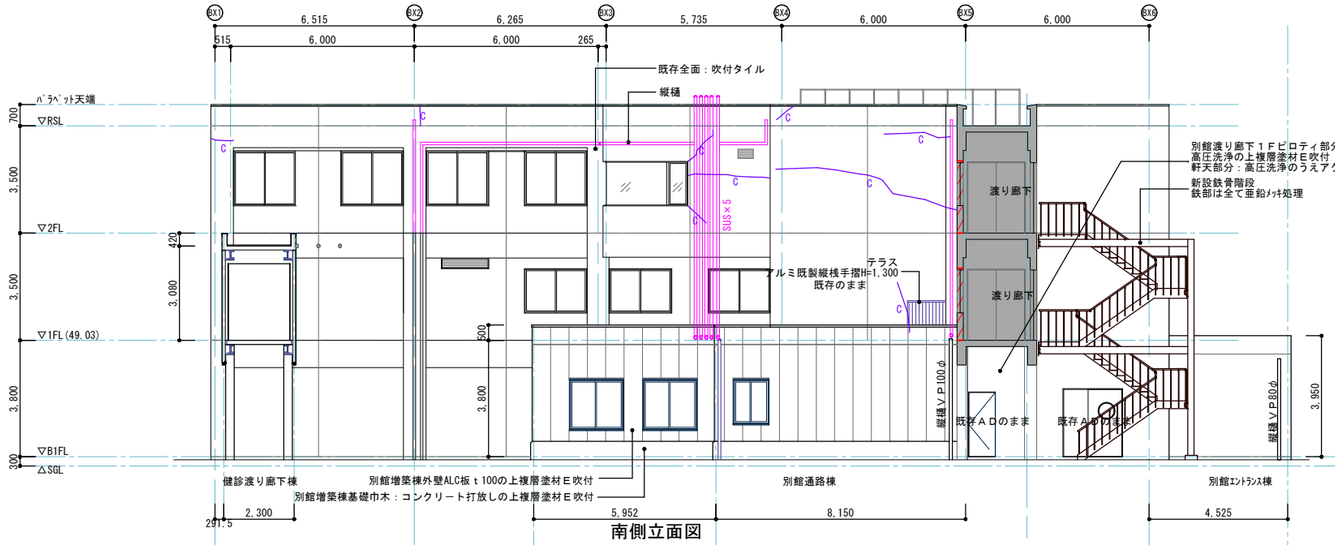
NO. (仮称)大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 レントゲン棟　既存・改修立面図	縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014. 07. 01	図面NO. ＧＡ－０７



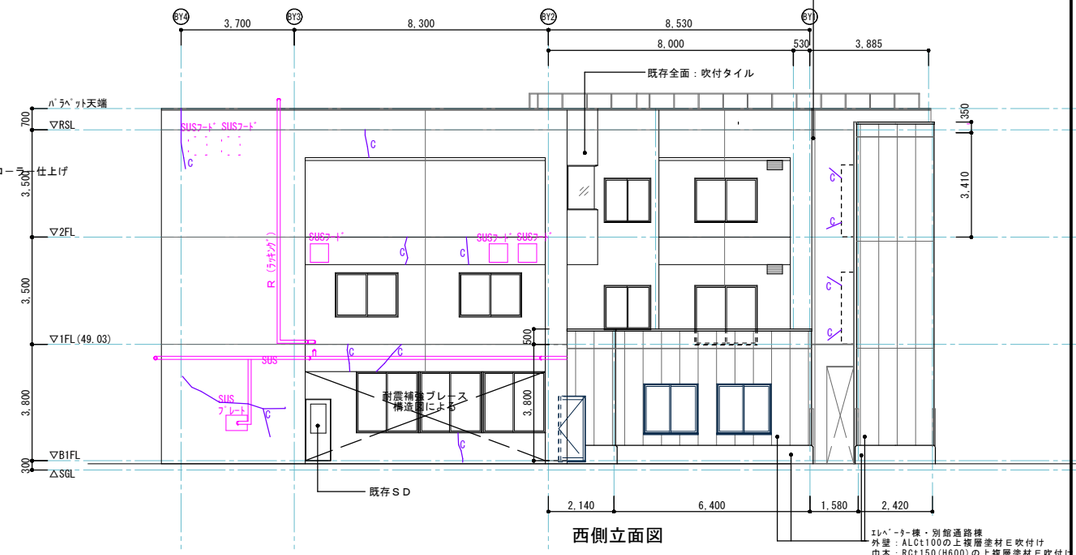
北側立面図



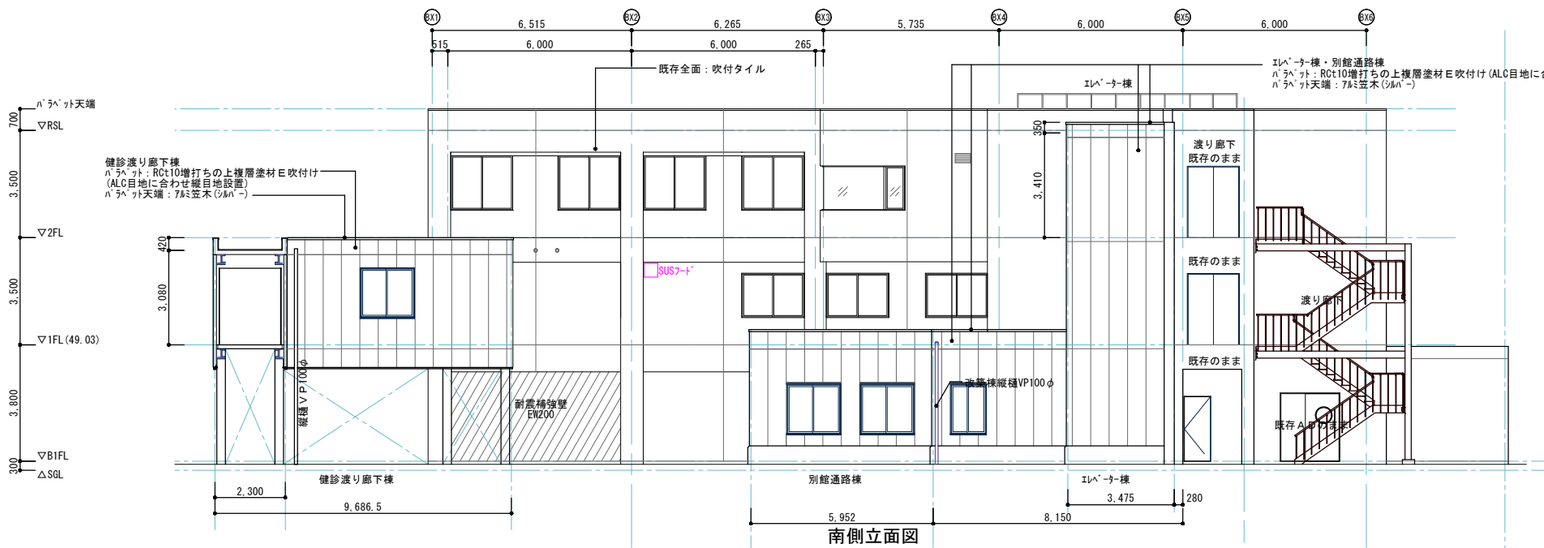
東側立面図



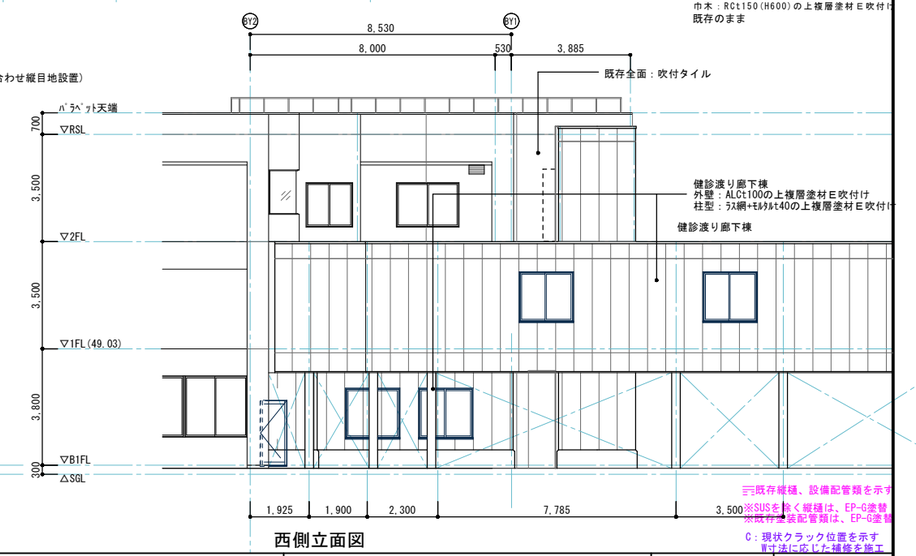
南側立面図



西側立面図

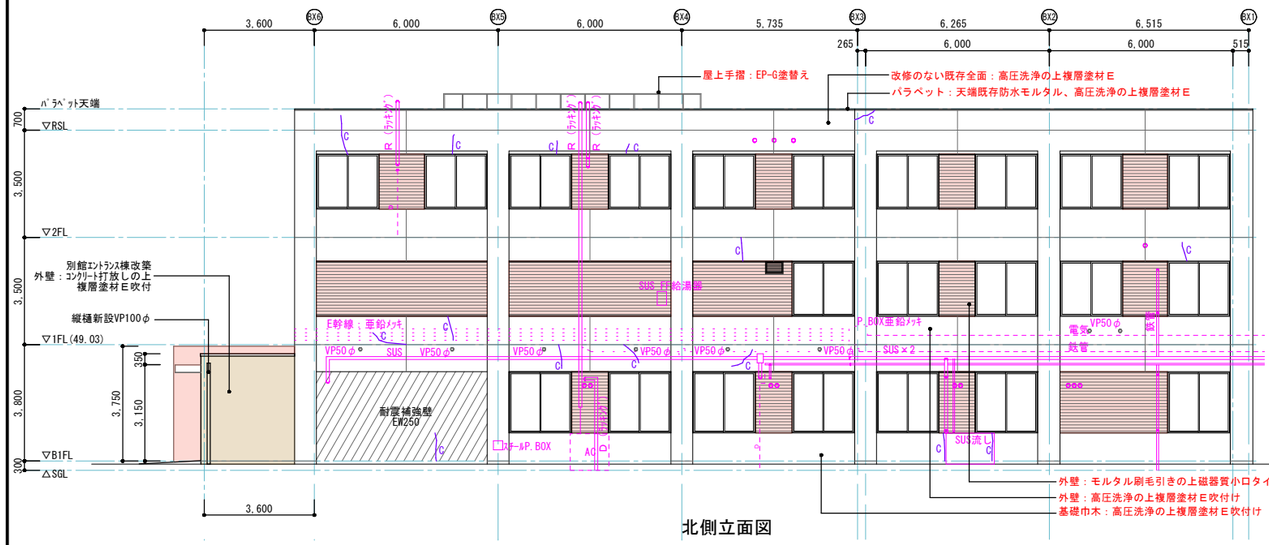


南側立面図

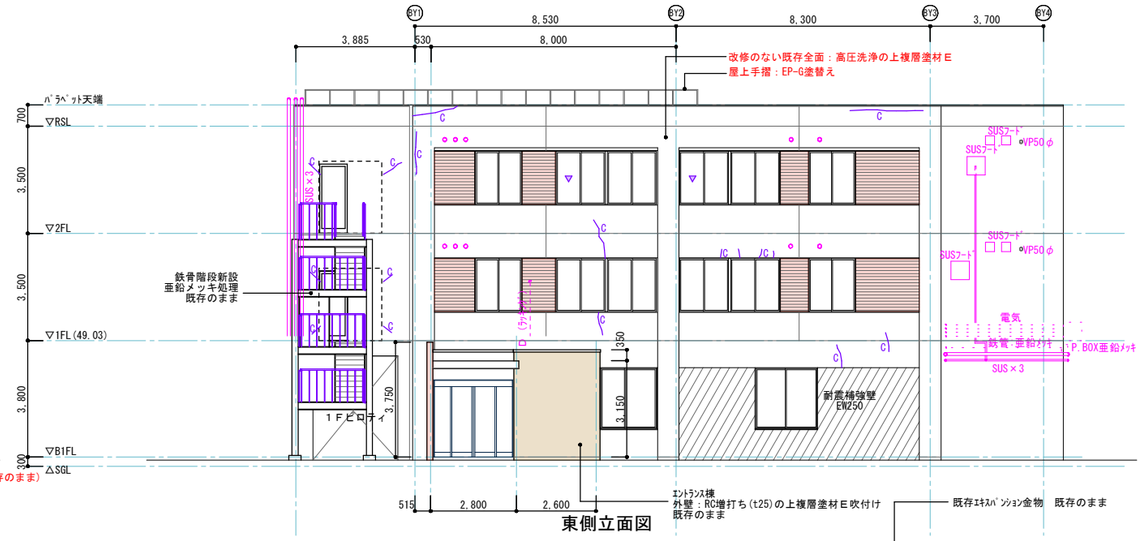


西側立面図

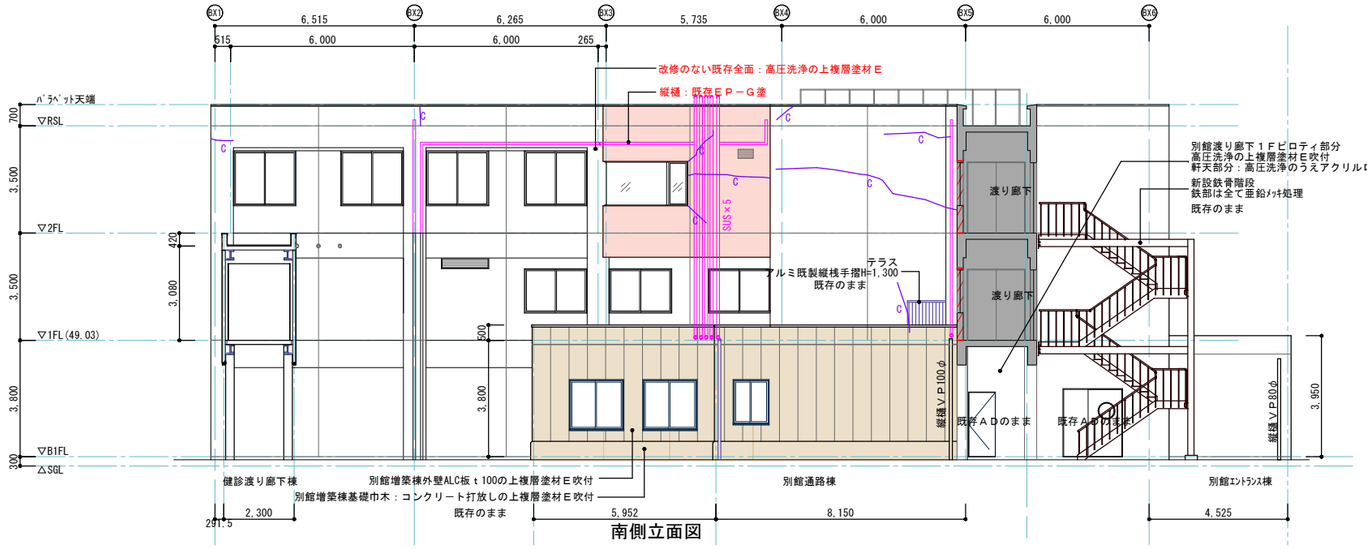
工事件名 (仮称)大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ	(株) 佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 既存立面図（別館）	縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01	図面NO. GA－08



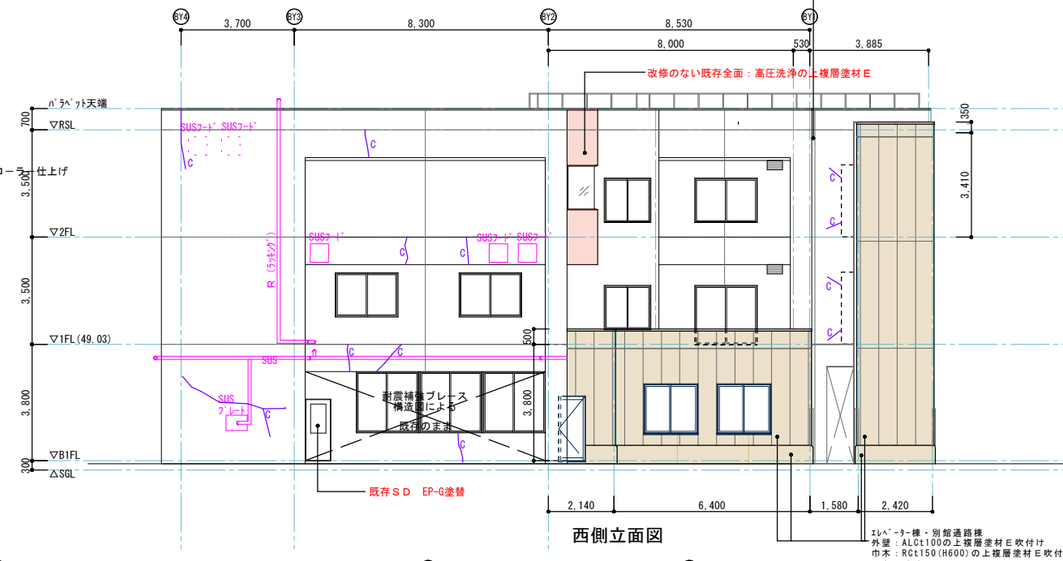
北側立面図



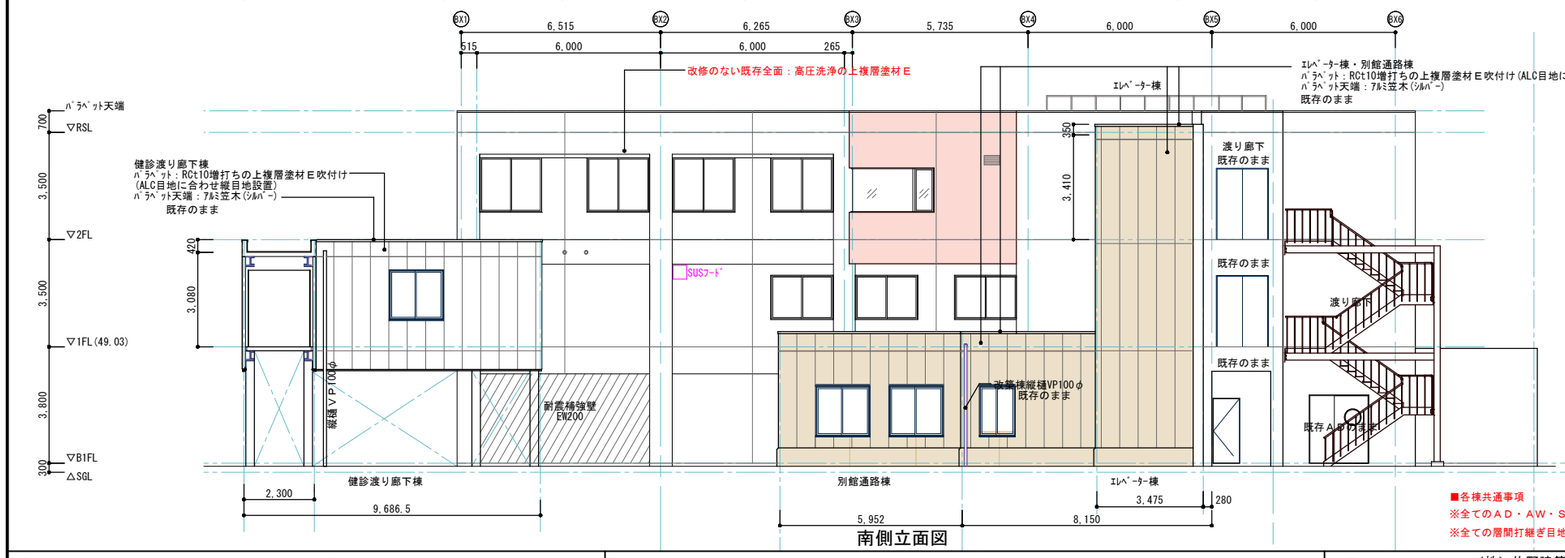
東側立面図



南側立面図

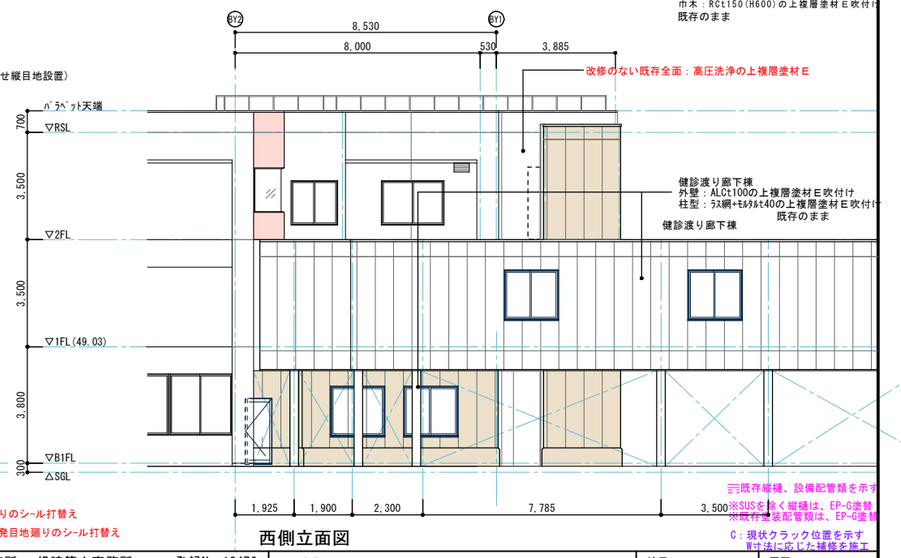


西側立面図



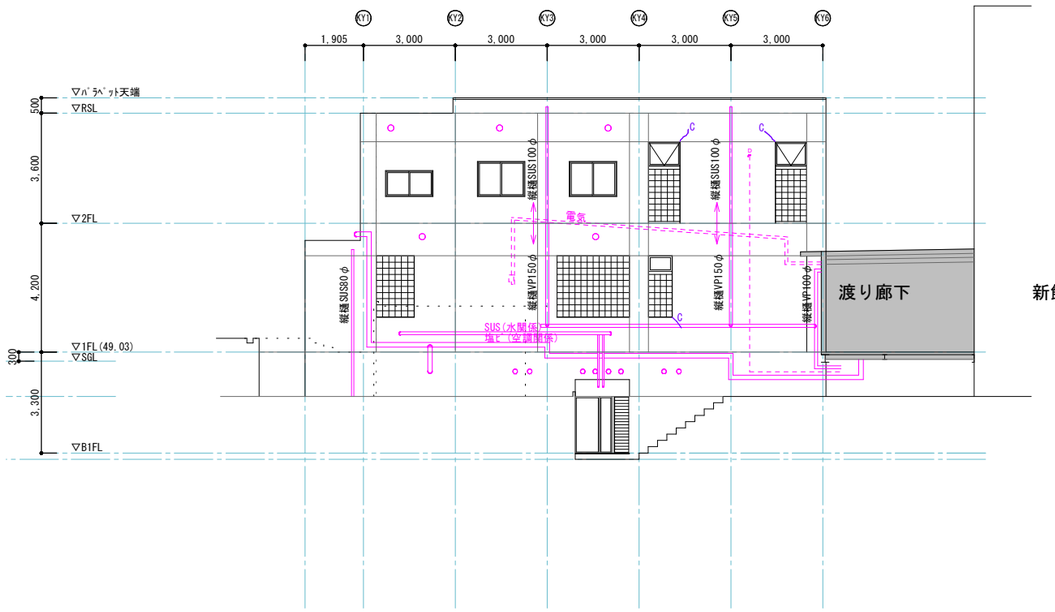
南側立面図

■各棟共通事項
※全てのＡＤ・ＡＷ・ＳＤ廻りのシール打替え
※全ての層間打継ぎ目地、誘発目地廻りのシール打替え

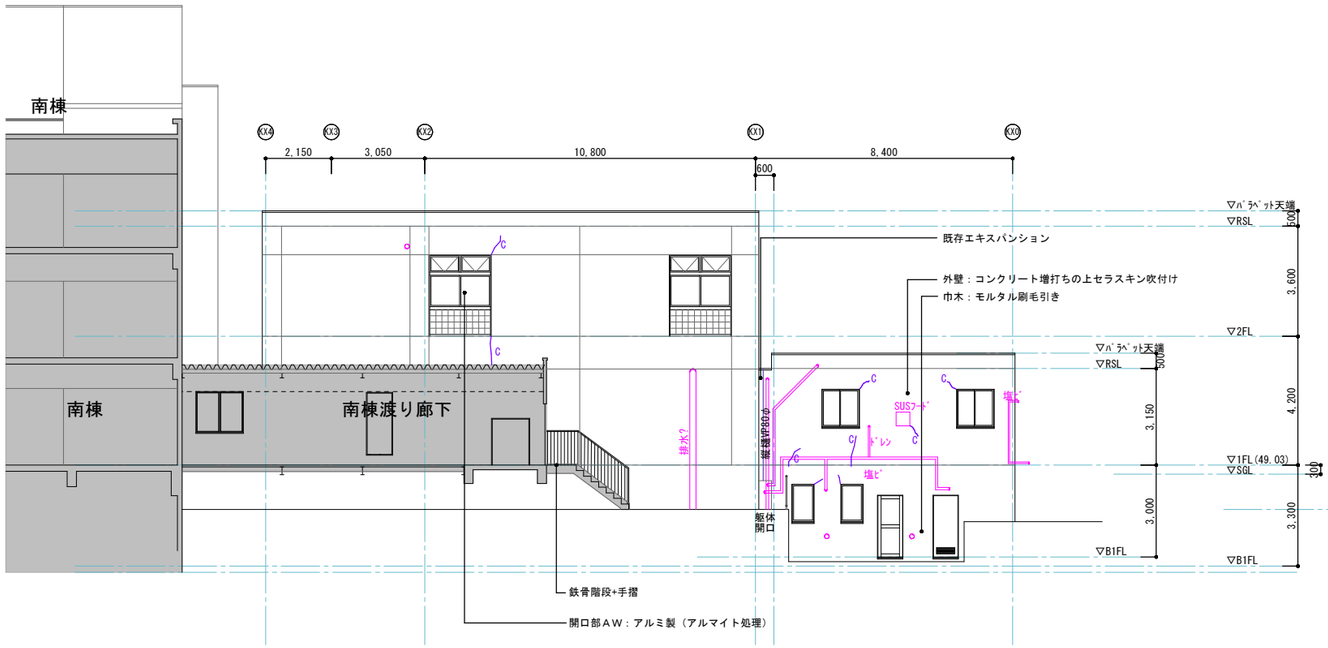


西側立面図

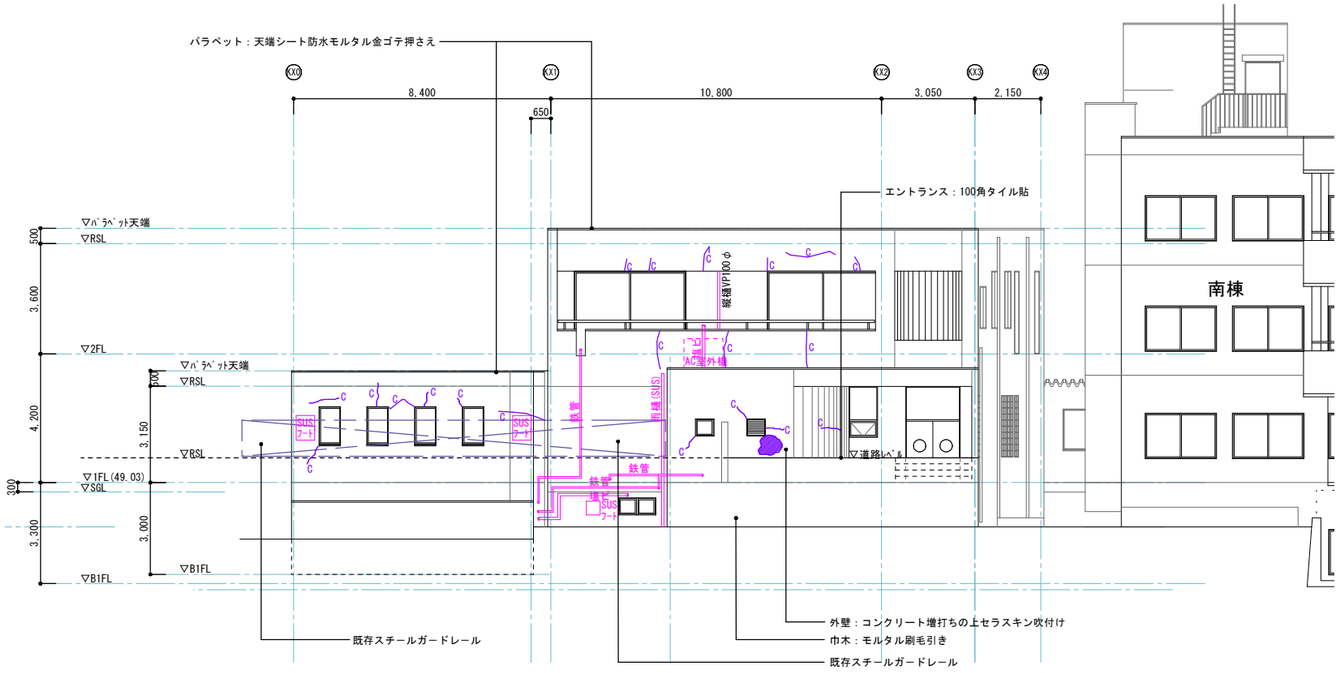
工事件名 （仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 改修立面図（別館）
佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体			縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01 図面NO. GA－09



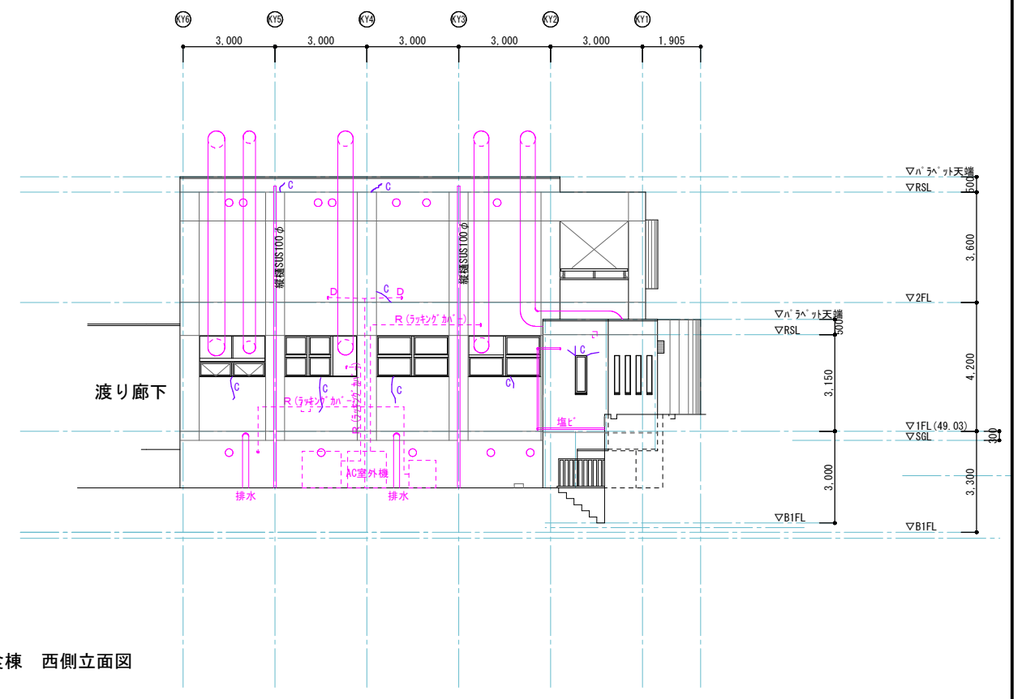
給食棟　東側立面図



給食棟　北側立面図



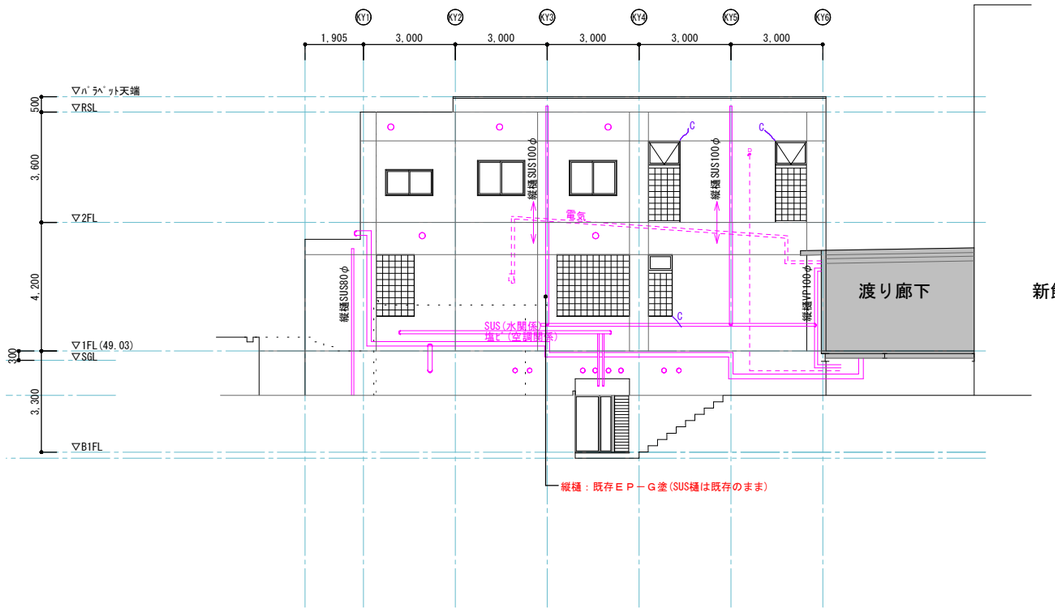
給食棟　南側立面図



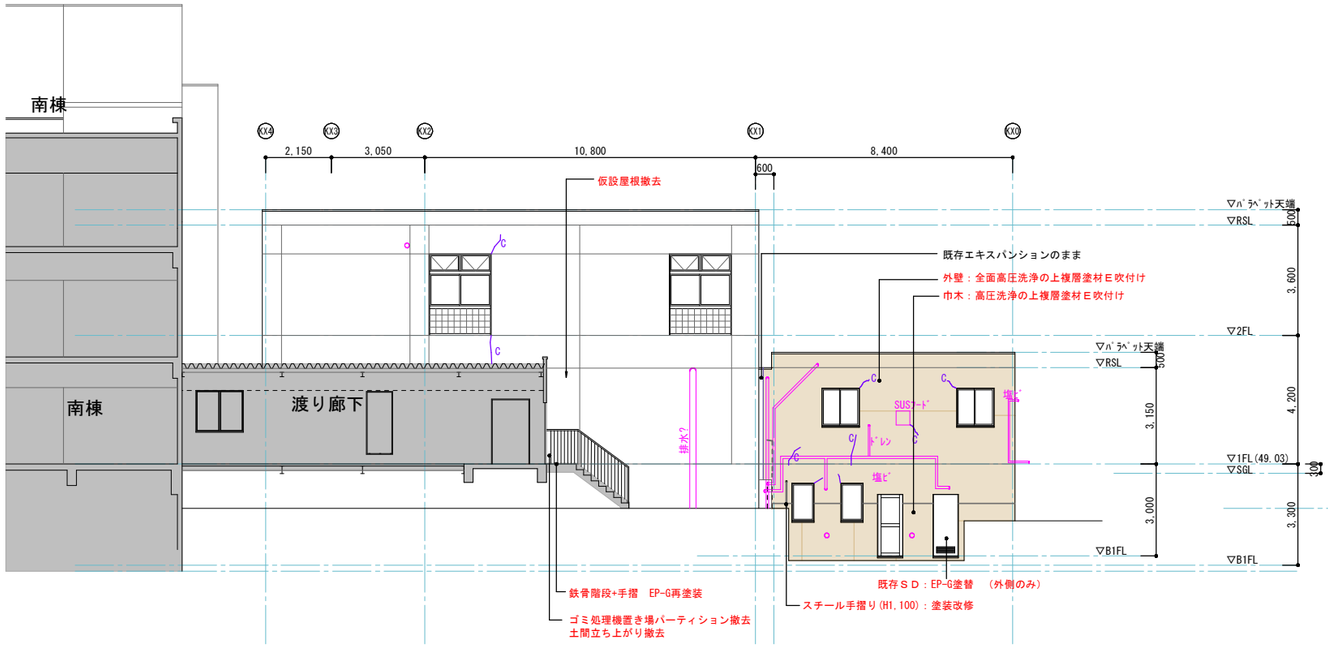
給食棟　西側立面図

既存縦樋、設備配管類を示す
C：現状クラック位置を示す
設備配管撤去は設備工事
（設備図参照）

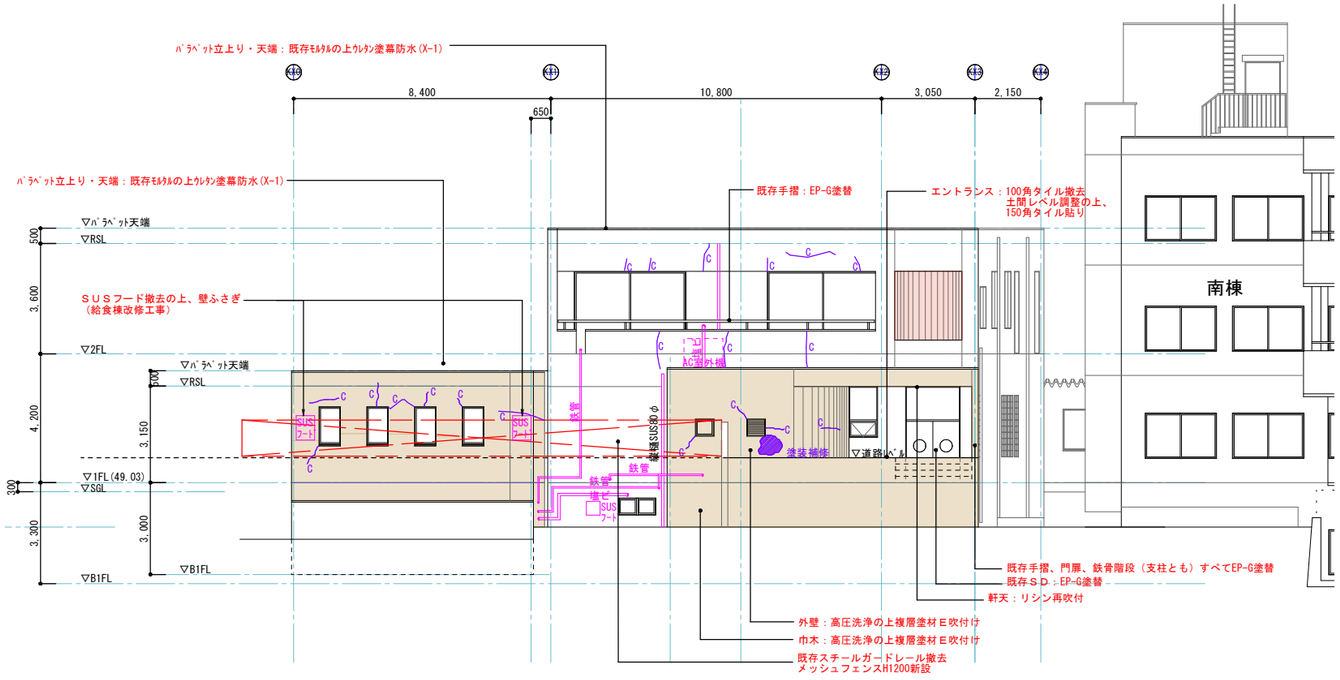
工事件名 （仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 既存立面図（給食棟） 縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01	図面NO. GA－10



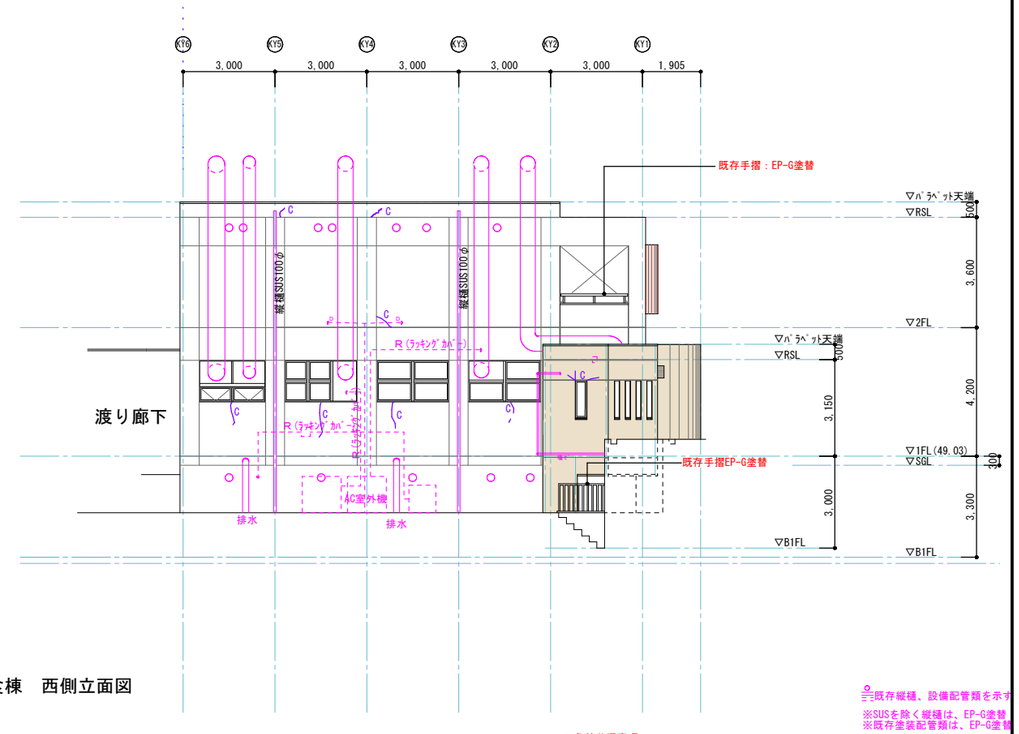
給食棟　東側立面図



給食棟　北側立面図



給食棟　南側立面図



給食棟　西側立面図

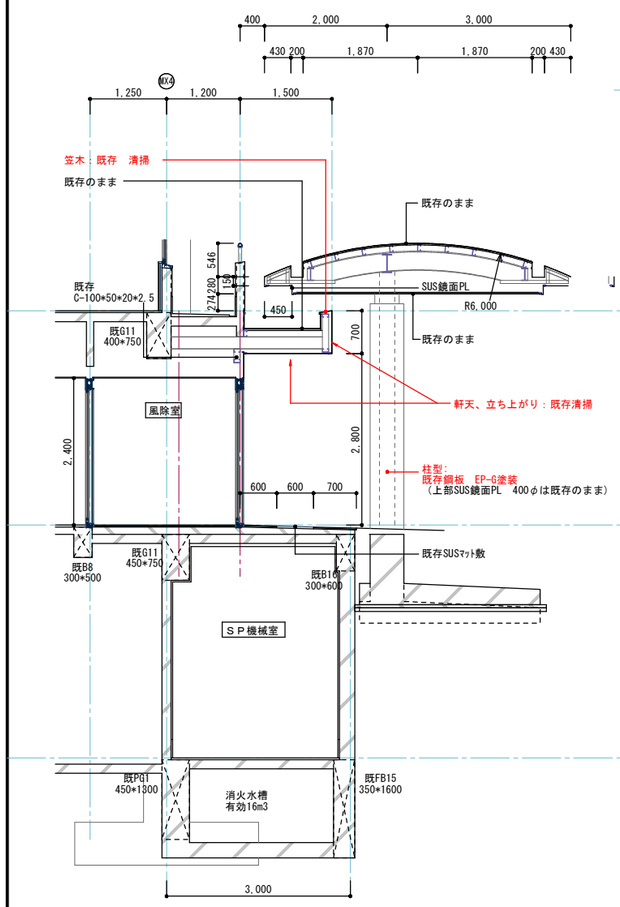
■各棟共通事項
※全てのＡＤ・ＡＷ・ＳＤ廻りのシール打替え
※全ての層間打継ぎ目地、誘発目地廻りのシール打替え

○：既存縦樋、設備配管類を示す
※SUSを除く縦樋は、EP-G塗替
※既存塗装配管類は、EP-G塗替
C：現状クラック位置を示す
※寸法に応じた補修を施工
設備配管改修は設備工事
（設備図参照）

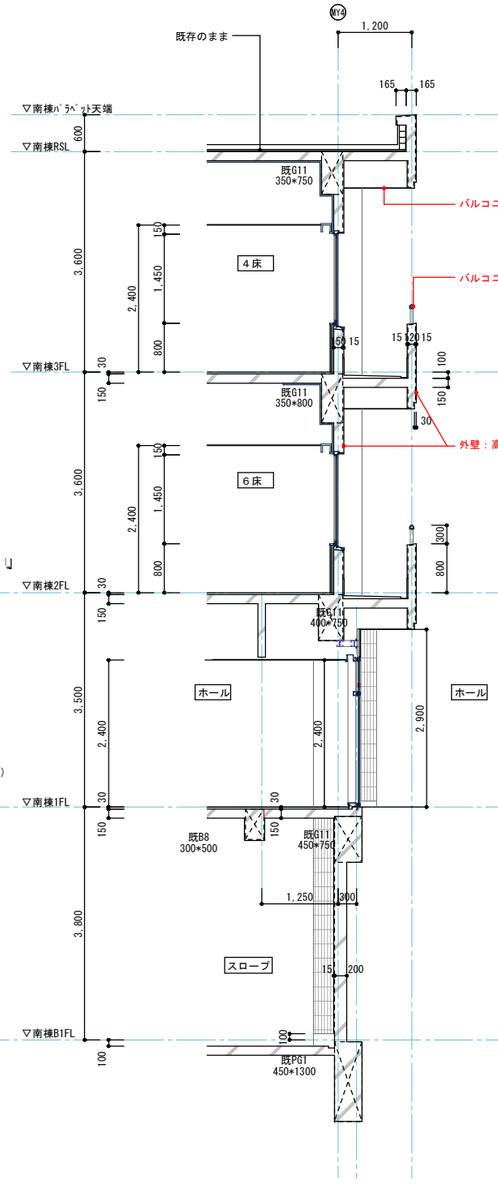
工事件名 （仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 改修立面図（給食棟） 縮尺 A1 1：100 A3 1：200 作成年月日 2014.07.01	図面NO. ＧＡ－１１

南棟改修

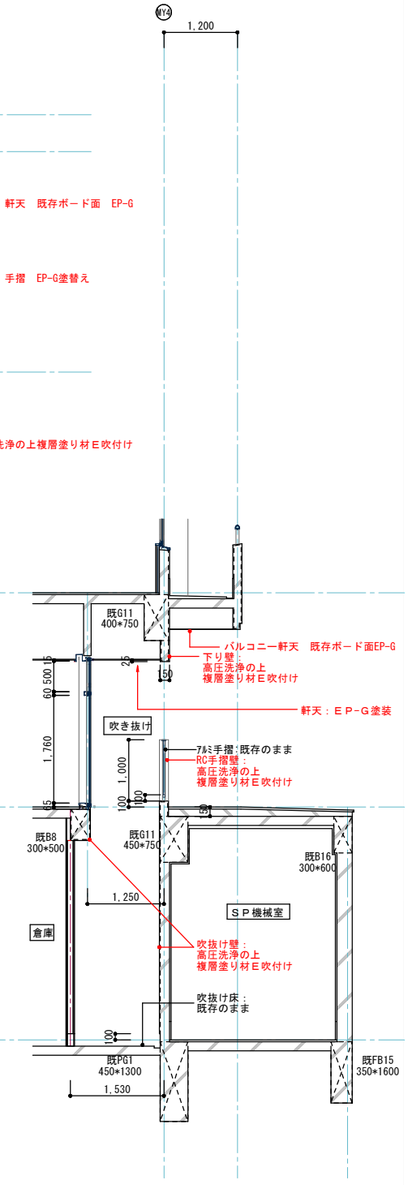
赤：改修部分を示す。



A矩計図



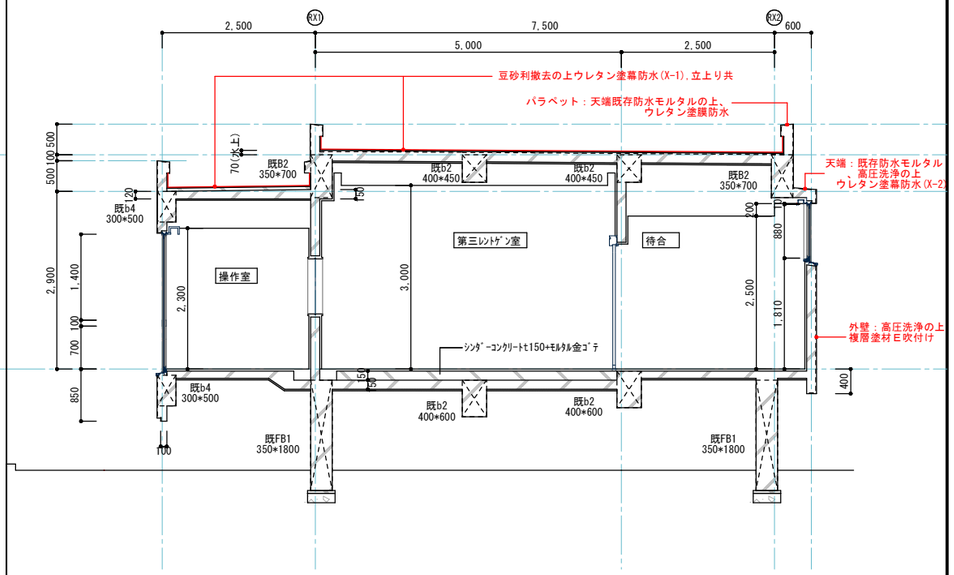
B矩計図



C矩計図

レントゲン棟改修

赤：改修部分を示す。

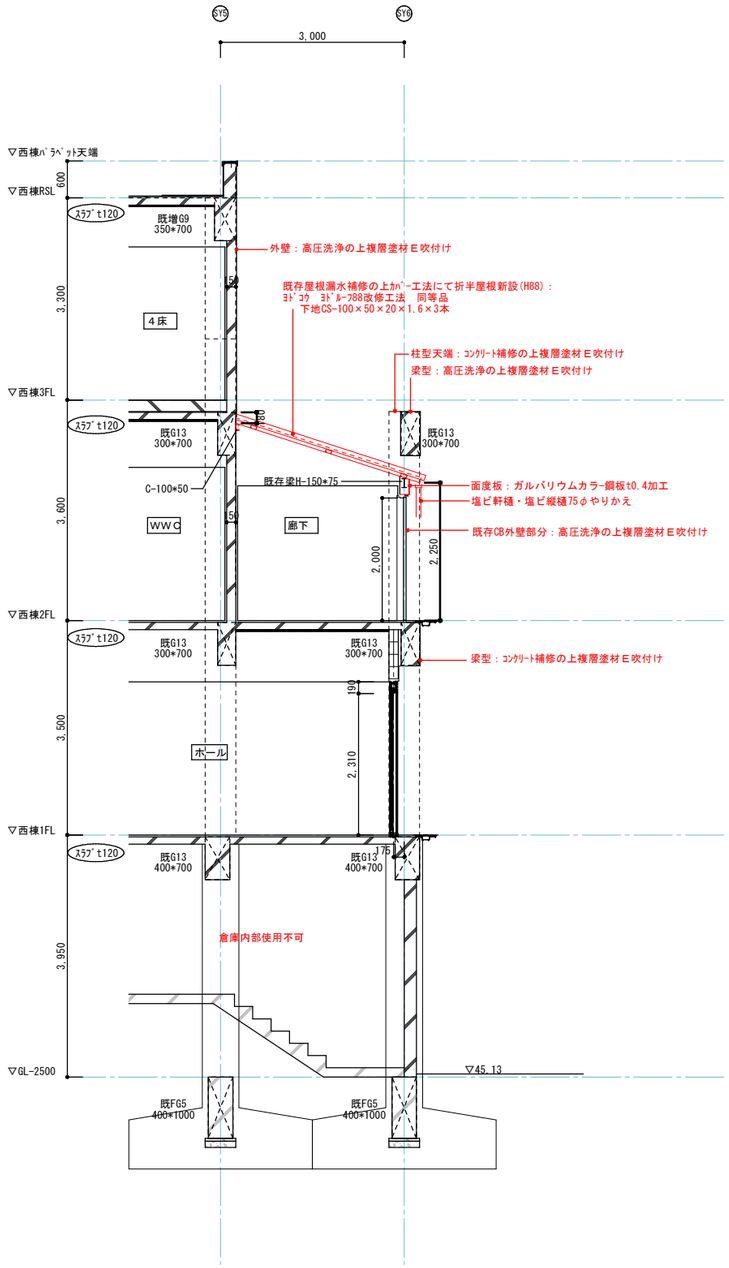


C矩計図

工事件名　NO. （仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外装改修工事 南棟・レントゲン棟　矩計図	縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	図面NO. GA－12

新館改修

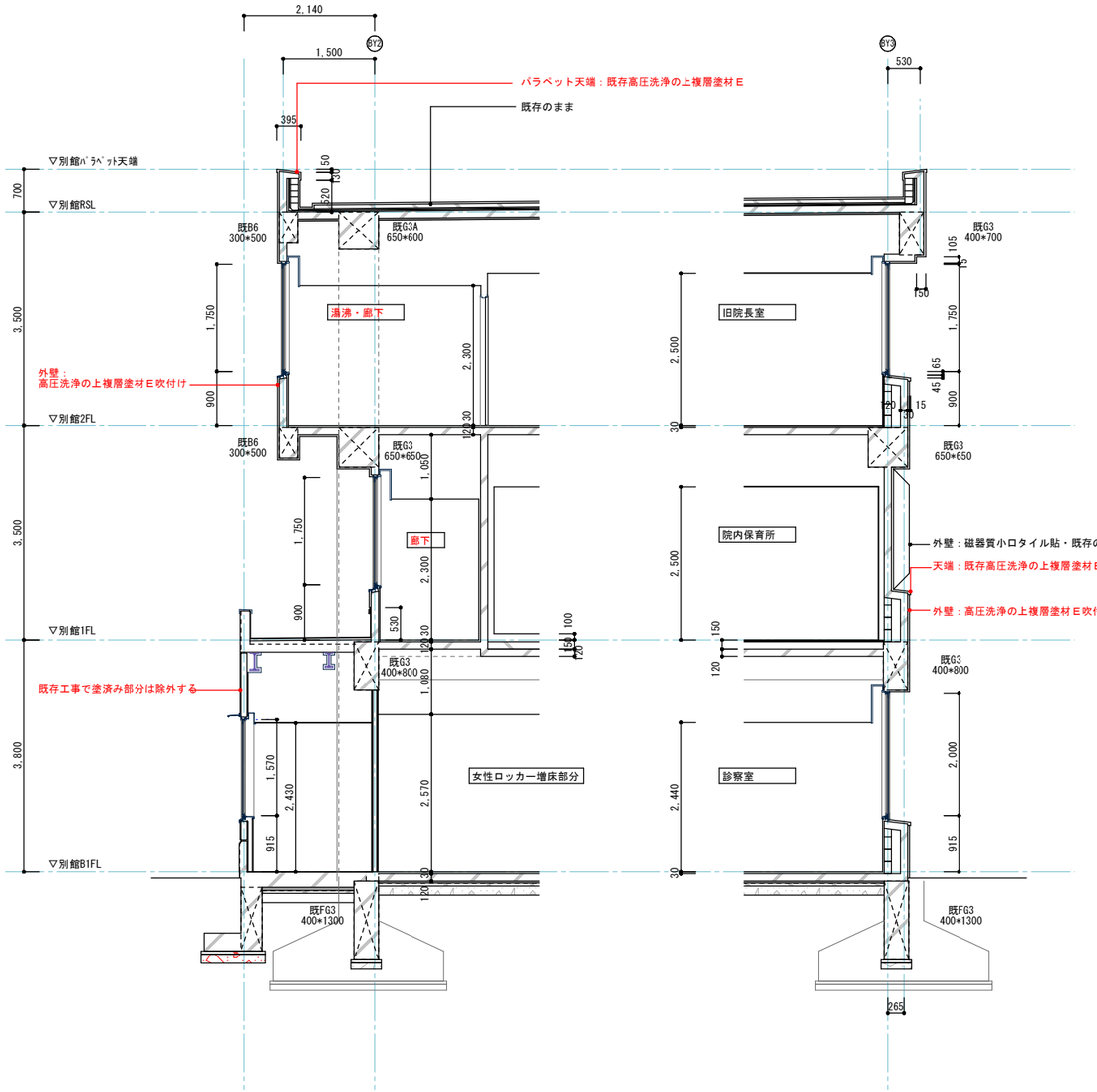
赤：改修部分を示す。



A矩計図

別館改修

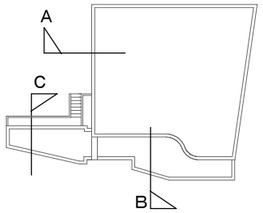
赤：改修部分を示す。



A矩計図

B矩計図

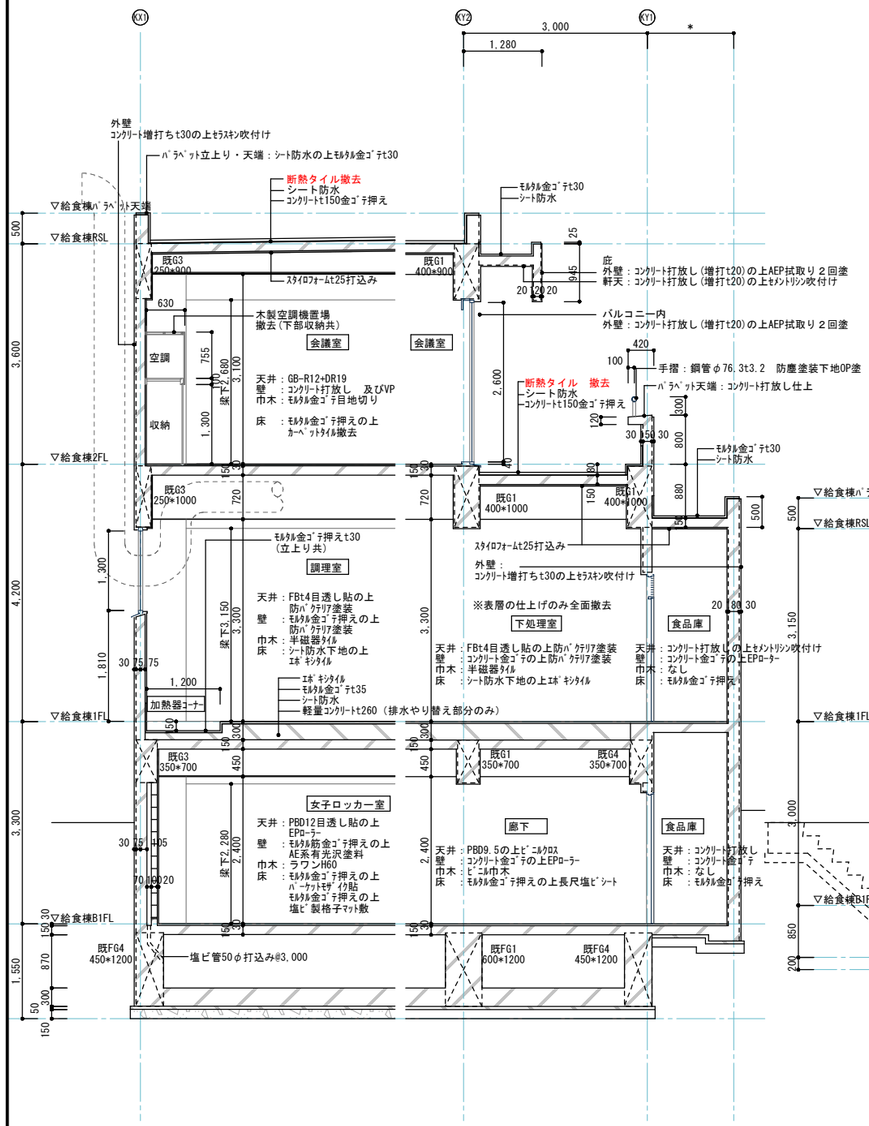
工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
(仮称)大月市立中央病院既存棟改修建設工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	(株) 佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No. 12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No. 191666	既存棟外装改修工事 新館 別館 矩計図	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	GA－13



現況

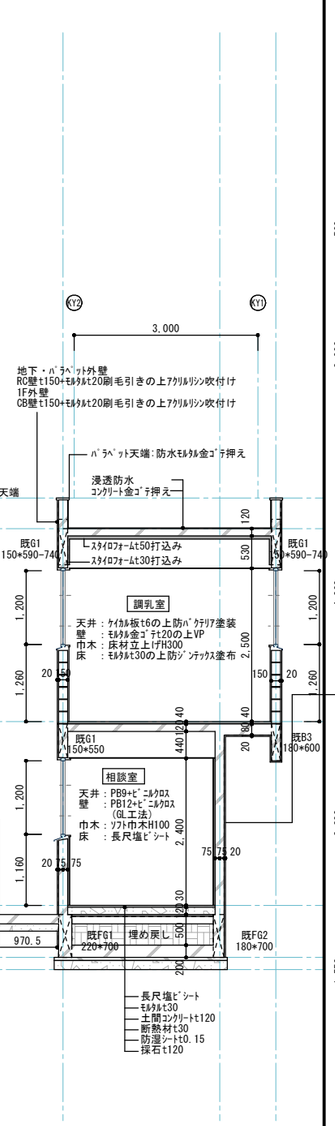
赤：既存撤去部分を示す。

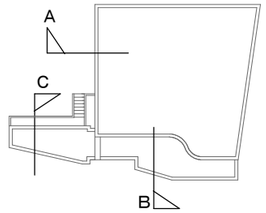
A矩計図



B矩計図

C矩計図

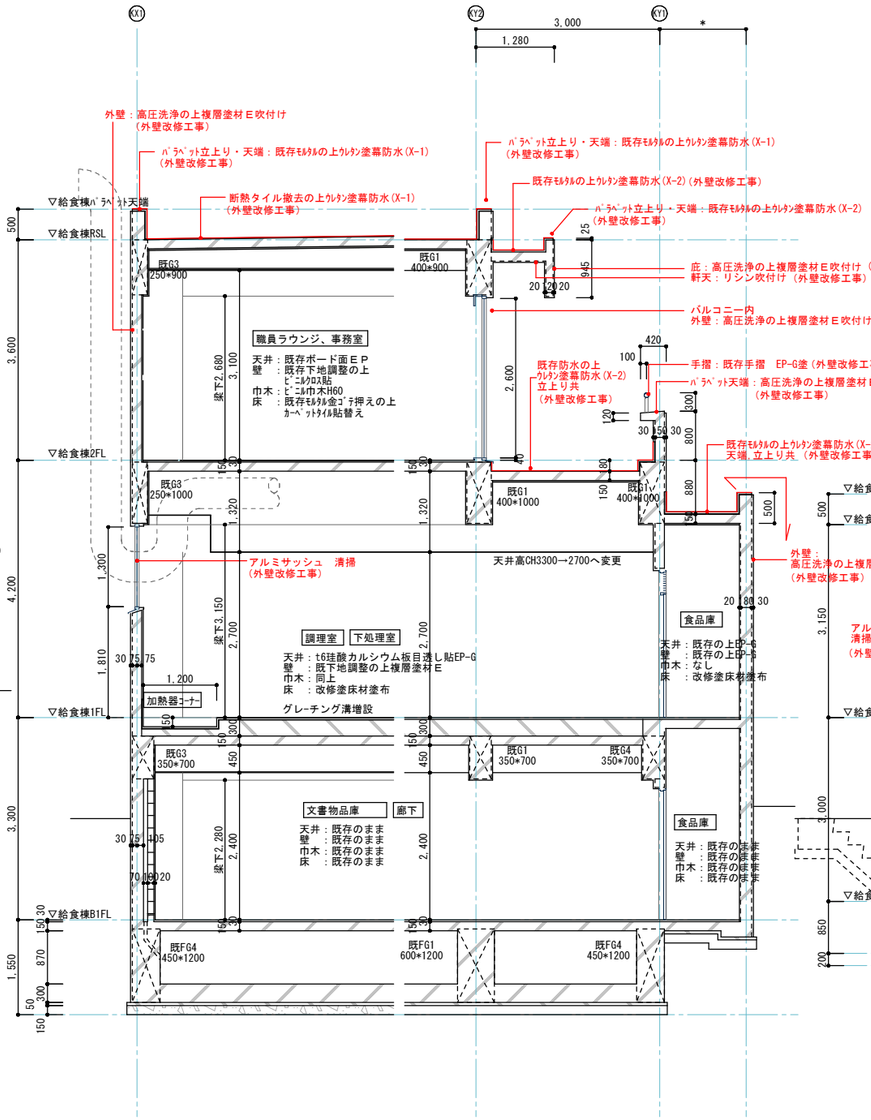




改修

赤：改修部分を示す。

A矩計図



工事件名 （仮称）大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 既存棟外壁改修工事 給食棟　矩計図
佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体			縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01 図面NO. GA－14

内部仕上表

＊接着剤、仕上材及び下地、内部建具、家具は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用
＊天井裏等への措置は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用

●：新設　△：部分新設
○：一時撤去・復旧又は移設
別：別途工事　×：撤去

棟	階数	室名	床 仕上		床 下地	巾木 仕上	巾木 H	壁 仕上	壁 下地	腰壁 仕上	腰壁 H	腰壁 下地	天井 仕上	天井 下地	天井高	廻縁	備考 建築	備考 設備・電気
別館	２階	大会議室 （旧人工透析室）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×純塩化ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ溶接貼	ＲＣ ×木下地	× ビニル巾木	75	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ×ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	ＲＣ				× GB-D9.5 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6VP	× ＬＧＳ	２５００	× 塩ﾋﾞ製	×既存間仕切撤去　×医療ガスアウトレット撤去	●設備・電気一式 ●ＡＶ設備
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 カーペットタイルt=6.5貼		ビニル巾木	60	既存下地調整及びGB-F12.5+12.5の上ビニルクロス貼	ＬＧＳ				DR-12直貼工法	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製 目透し	●SD点検口、電気盤類の既存鉄部は全てEP-G塗装 ●室名サイン取付　※既存木製C.BOX：EP-G塗装	
		研修室 （旧人工透析更衣室）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×純塩化ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ溶接貼	ＲＣ	× ビニル巾木	75	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ×ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	ＲＣ				× GB-D9.5 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6VP	× ＬＧＳ	２５００	× 塩ﾋﾞ製	×既存間仕切撤去	●設備・電気一式
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 カーペットタイルt=6.5貼		ビニル巾木	60	既存下地調整及びGB-F12.5+12.5の上ビニルクロス貼	ＬＧＳ				DR-12直貼工法	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製 目透し	●SD点検口、電気盤類の既存鉄部は全てEP-G塗装 ●室名サイン取付　※既存木製C.BOX：EP-G塗装	
		廊下	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押えの上、×ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼	ＲＣ	× ビニル巾木	75	モルタル金ゴテ押えの上、吹付タイル及び GB-R9.0+9.0の上、吹付タイル	ＲＣ・ＬＧＳ				× GB-D9.5	× ＬＧＳ	２５００	× 塩ﾋﾞ製	×手摺：全部撤去	●設備・電気一式
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 カーペットタイルt=6.5貼		ビニル巾木	60	既存下地調整及びGB-F12.5+12.5の上ビニルクロス貼					DR-12直貼工法	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製 目透し	●SD点検口、電気盤類の既存鉄部は全てEP-G塗装 ●室名サイン取付	
		倉庫 （旧透析機械室）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、モザイクタイル	ＲＣ	100角タイル		モルタル金ゴテの上ＥＰ	ＲＣ	100角タイル	1200	ＲＣ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6VP	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製		
			改修	既存仕上げの上、モルタル嵩上げ カーペットタイルt6.5		既存のまま		既存のまま		既存のまま			既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
		空調機械室	既存	色ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上げ	ＲＣ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		ﾛｯｸｳｰﾙ吹付ｺﾃ押さえ	ＲＣ				ﾛｯｸｳｰﾙ吹付ｺﾃ押さえ	——	——	——		●設備・電気　既存のまま
			改修	既存のまま		既存のまま		既存のまま					既存のまま	——	——	——	アスペスト封込め（既存SD廻り4周シール、ガラリふさぎ）	
		廊下・渡り廊下	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押えの上、×ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼	ＲＣ	× ビニル巾木	75	モルタル金ゴテの上ＥＰ	ＲＣ、ＬＧＳ				× GB-D9.5及びDR-12	× ＬＧＳ	２３００	× 塩ﾋﾞ製	木製建具は既存のまま	●設備：既存天吊AC撤去 ●電気：照明器具取り替え
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存の上EP-G					GB-D9.5貼	ＬＧＳ	２３００	塩ﾋﾞ製 目透し	●SD点検口、電気盤類の既存鉄部は全てEP-G塗装 ●室名サイン取付　●ＬＳＤ新設	
		ＭＷＣ	既存	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（Ｈ50）の上、×長尺ｼｰﾄ貼	ＲＣ	× 床材巻き上げ	75	× 100角タイル貼	ＲＣ				× ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6VP	× ＬＧＳ	２３００	× 塩ﾋﾞ製	トイレブースは既存のまま カガミ、ペーパータオルホルダー既存利用　○衛生器具：撤去、再設置	●設備・電気一式
			改修	既存防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（Ｈ50）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存撤去後、GB-R12.5+GB-S9.5の上ビニルクロス貼					GB-D9.5貼	ＬＧＳ	２３００	塩ﾋﾞ製 目透し	●室名サイン取付	
		ＷＷＣ	既存	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（Ｈ50）の上、×長尺ｼｰﾄ貼	ＲＣ	× ビニル巾木	75	× 100角タイル貼	ＲＣ				× ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6VP	× ＬＧＳ	２３００	× 塩ﾋﾞ製	トイレブースは既存のまま カガミ、ペーパータオルホルダー既存利用　○衛生器具：撤去、再設置	●設備・電気一式
			改修	既存防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（Ｈ50）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存撤去後、GB-R12.5+GB-S9.5の上ビニルクロス貼					GB-D9.5貼	ＬＧＳ	２３００	塩ﾋﾞ製 目透し	●室名サイン取付	
	１階	病児病後保育園 保育室 （旧中央検査血液検査室）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×ビニルタイルｔ2.0	ＲＣ	× ビニル巾木	75	モルタル金ゴテＶＰ	ＲＣ、ＬＧＳ				× GB-D9.5+DR9.0貼	× ＬＧＳ	２５００	× 塩ﾋﾞ製	×既存RC間仕切、建具撤去	●設備・電気一式
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 コルクタイルｔ＝5.0		ビニル巾木	60	既存下地調整の上ビニルクロス貼					DR-12直貼工法	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製 目透し	●室名サイン取付 ●ＧＰ、ＬＳＤ新設　●ライニング新設（LGS+GB-Sの上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼）	
		病児病後保育園 安静室 （旧細菌検査室）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×ビニルタイルｔ2.0	ＲＣ	× ビニル巾木	75	モルタル金ゴテＶＰ	ＲＣ、ＬＧＳ				× GB-D9.5+DR9.0貼	× ＬＧＳ	２５００	× 塩ﾋﾞ製	×既存建具、吊棚撤去　×作業台撤去（SUS流し、ｶｳﾝﾀｰ部分ｺﾝｸﾘｰﾄの上、ﾒﾗﾐﾝ貼り）	●設備・電気一式
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 コルクタイルｔ＝5.0		ビニル巾木	60	既存下地調整の上ビニルクロス貼					DR-12直貼工法	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製 目透し	●室名サイン取付 ●ＬＳＤ新設	
		病児病後保育園 ＷＣ （旧採尿ＷＣ）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、×ビニルタイルｔ2.0	ＲＣ	× ビニル巾木	75	モルタル金ゴテＶＰ	ＲＣ、ＬＧＳ				× ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6VP	× ＬＧＳ	２５００	× 塩ﾋﾞ製	×既存RC間仕切、建具、検尿棚撤去	●設備・電気一式
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存下地調整及びGB-F12.5+12.5の上ビニルクロス貼	ＬＧＳ				DR-12直貼工法	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製 目透し		
		病児病後保育園 倉庫 （旧中央検査通路）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押えの上、 ビニルシートｔ2.0	ＲＣ	ビニル巾木	75	モルタル金ゴテＶＰ	ＲＣ、ＬＧＳ				GB-D9.5	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製		●設備・電気　既存のまま
			改修	既存のまま		既存のまま		既存のまま　一部GB-R12.5の上ビニルクロス貼	ＬＧＳ				既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	●ＬＳＤ新設	
		空調機械室	既存	色ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上げ	ＲＣ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		ﾛｯｸｳｰﾙ吹付ｺﾃ押さえ	ＲＣ				ﾛｯｸｳｰﾙ吹付ｺﾃ押さえ	——	——	——		●設備・電気　既存のまま
			改修	既存のまま		既存のまま		既存のまま					既存のまま	——	——	——	アスペスト封込め（既存SD廻り4周シール）、ガラリ部分Ｓｔ板にてふさぎ	
		廊下・渡り廊下	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押えの上、×ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼	ＲＣ	× ビニル巾木	75	モルタル金ゴテの上ＥＰ	ＲＣ、ＬＧＳ				× GB-D9.5及びDR-12	× ＬＧＳ	２３００	塩ﾋﾞ製		●設備：既存天吊AC撤去 ●電気：照明器具取り替え
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存の上EP-G					GB-D9.5貼	ＬＧＳ	２３００	既存のまま	●SD点検口、電気盤類の既存鉄部は全てEP-G塗装 ●室名サイン取付　LSD新設	
		ＭＷＣ	既存	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え（Ｈ50）の上、×長尺ｼｰﾄ貼	ＲＣ	× 床材巻き上げ	75	× 100角タイル貼	ＲＣ				× ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6VP	× ＬＧＳ	２３００	× 塩ﾋﾞ製	×トイレブース撤去　カガミ、ペーパータオルホルダー既存利用	●設備・電気一式
			改修	既存防水ﾓﾙﾀﾙの押えの上、ﾓﾙﾀﾙ嵩上げ（Ｈ50） 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存撤去後、GB-R12.5+GB-S9.5の上ビニルクロス貼					GB-D9.5貼	ＬＧＳ	２３００	塩ﾋﾞ製 目透し	●室名サイン取付　●トイレブース取り替え ●ライニング新設（LGS+GB-Sの上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼）	
		ＷＷＣ （旧掃除用具入れ）	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押えの上、×ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼	ＲＣ	× 100角タイル		× 100角タイル貼	ＲＣ				× ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6VP	× ＬＧＳ	２３００	× 塩ﾋﾞ製	×流し台、吊戸、レンジフード撤去	●設備・電気一式
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存撤去後、GB-R12.5+GB-S9.5の上ビニルクロス貼					GB-D9.5貼	ＬＧＳ	２３００	塩ﾋﾞ製 目透し	●室名サイン取付　●トイレブース新設 ●カガミ、ペーパータオルホルダー新設	
	Ｂ１階	エントランス 待合ホール 既存女性待合室	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押えの上、×ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼	ＲＣ	× ビニル巾木	75	×ビニールクロス	ＲＣ、ＬＧＳ				×GB-R9.5下地ビニールクロス	× ＬＧＳ	２４３０	× 塩ﾋﾞ製	木製建具は既存のまま	●設備・電気一式
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	ビニルクロス貼替え					GB-R9.5下地ビニールクロス	ＬＧＳ	２４３０	塩ﾋﾞ製 目透し	●SD点検口、電気盤類の既存鉄部は全てEP-G塗装	
		健診事務室	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押えの上、長尺シート貼	ＲＣ	ビニル巾木	60	ビニールクロス	ＲＣ、ＬＧＳ				GB-R9.5下地ビニールクロス　×下がり天井撤去	下がり天井部分 × ＬＧＳ	２５００ × ２２００	下がり天井部分 × 塩ﾋﾞ製	×アルミパーティション撤去　×下がり天井	●設備・電気一式
			改修	既存のまま		既存のまま		既存のまま					下がり天井撤去部：GB-R9.5下地ビニールクロス	下がり天井部分 ＬＧＳ	２５００	下がり天井部分 塩ﾋﾞ製目透し	●ＡＣ用天井点検口設置	
		健診事務室内 空調機械置場	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押え	ＲＣ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃVP	75	モルタル金ゴテ押えの上、吹付けタイル	ＣＢ、ＬＧＳ				× GB-D9.5+DR9.0貼	× ＬＧＳ	× ２２００	× 塩ﾋﾞ製		●設備・電気一式
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		ビニル巾木	60	既存下地調整及びLGS+GB-R12.5の上ビニルクロス貼	既存ＣＢ部分 ＬＧＳ				GB-R9.5下地ビニールクロス	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製目透し		
		健診センター長室 読影室	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押えの上、長尺シート貼	ＲＣ	ビニル巾木	60	ビニールクロス	ＲＣ、ＬＧＳ				GB-R9.5下地ビニールクロス	ＬＧＳ	２５００	塩ﾋﾞ製		×設備：空調アネモ撤去
			改修	既存のまま		既存のまま		既存のまま					既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	●ＡＣ用天井点検口設置　●アネモ撤去後、天井ふさぎ	
	共通	階段室	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃの押えの上、×ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ貼	ＲＣ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃVP	75	モルタル金ゴテ押えの上、吹付けタイル	ＲＣ				段裏：吹付けタイル 最上階：ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ6.0目透かしの上、VP	ＲＣ ＬＧＳ	——	塩ﾋﾞ製	※手摺：既存のまま	●設備：既存のまま ●電気：法準拠工事
			改修	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ押え（既存）の上、 長尺塩ビシートＡ　t＝2.0		既存の上EP-G		既存の上EP-G					既存面の上EP-G	既存のまま	既存のまま	既存のまま	○段鼻ノンスリップ復旧　※既存盤類EP-G塗装	

凡　例

St	鉄骨、鋼製	GB-RH	硬質石膏ボード
AL	アルミ	GB-F	強化石膏ボード
SUS	ステンレス	DR	岩綿吸音板
LGS	軽量鉄骨・天井下地	SOP	合成樹脂調合ペイント
CB	ＲＣブロック	CL	クリアラッカー
GB-R	石膏ボード	UC	ウレタン樹脂ワニス
GB-S	耐水石膏ボード	EP	合成樹脂エマルションペイント
GB-D	化粧石膏ボード	EP-G	つやあり合成樹脂エマルションペイント
SLM	セルフレベリングモルタル（セメント系）	2-UE	ポリウレタン塗装

■塗装仕様

※ＥＰ、ＥＰ-Ｇ塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、塗料1種2回塗（B種）とする
※鉄部SOP塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえC種、錆止塗料A種工場一回
　、SOP1種工程B種とする
※木部CL塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、塗料二回塗りB種とする

※木部UC塗装の下地調整及び塗装は
　新規：素地ごしらえB種、ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系1液性B種とする

■内装不燃認定番号表

ｔ９．５不燃積層石膏ボード	ＮＭ－０４４１
ｔ１２．５石膏ボード	ＮＭ－８６１２，８６１９
ｔ１２．５防水石膏ボード	ＮＭ－９６３９
ｔ９.５,１２.５硬質石膏ボード	ＮＭ－９６４５
ｔ１２.５強化石膏ボード	ＮＭ－８６１５
ｔ９．５化粧石膏ボード	ＮＭ－１８６４
ｔ９，１２岩綿化粧吸音板	ＮＭ－８５９９
ｔ９．５不燃石膏吸音ﾎﾞｰﾄﾞ	ＮＭ－０８７９
ｔ３．０不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板	ＮＭ－２１８３
ｔ６．０突板塗装不燃化粧板	ＮＭ－１７３９
ｔ６．０繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板	ＮＭ－３０７３
ｔ８．０曲面加工FGﾎﾞｰﾄﾞ	ＮＭ－９０２８

■耐火構造リスト

壁：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
柱：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
床：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
梁：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
屋根：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）
階段：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（平成12年5月30日建告第1399号）

■壁下地、石膏ボード厚さ

W1（防火上主要な間仕切、及び耐久壁）
2重張　上張　GB-R-H t9.5
　　下張　GB-R　t12.5

ＧＬ工法部分
GB-R-H　t12.5

■特記事項

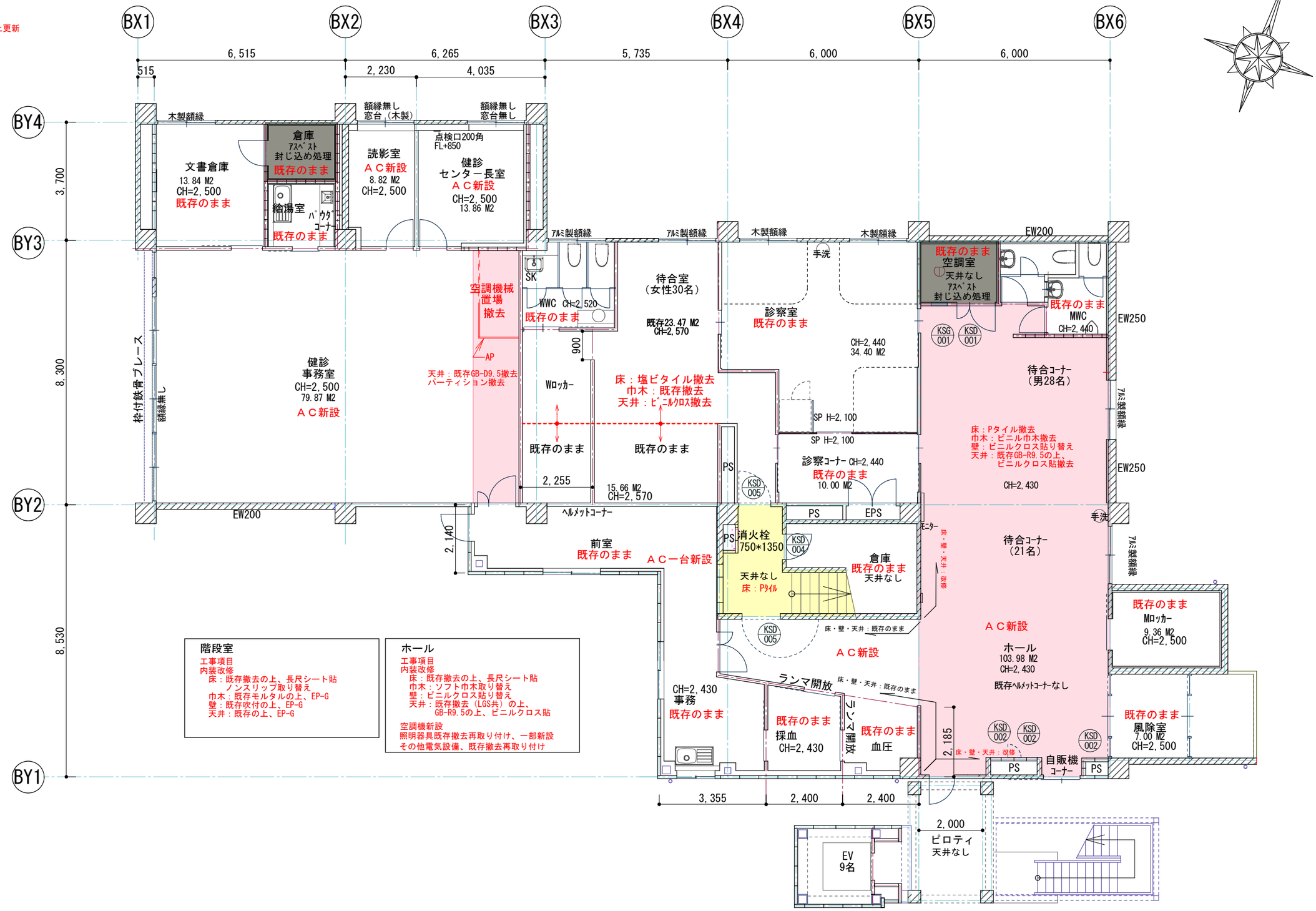
＊特記以外の柱・梁・下がり壁の仕上は壁仕上げと同様とする。
＊室名札・案内板等の位置はサイン図による。床下点検口等の位置は平面図による。
＊天井点検口等の位置は天井伏図による。
＊接着材、仕上材及び下地、内部建具、家具はF☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用すること。
＊天井裏等への措置は、F☆☆☆☆もしくは規制対象外建材を使用すること。
＊水廻りのﾋﾞﾆ床ｼｰﾄ貼りは溶接工法とし、ｴﾎﾟｷｼ系接着材を使用すること。
＊天井廻縁及び、見切り縁は樹脂製とし、特記無き限り軽量鉄骨天井下地は19型（屋外は25型）とする。
＊特記以外のＡＷ額縁・カーテンボックスはスチールEP-Gとしてサッシュ建具表に示す。
＊樹脂製目透し廻縁はﾌｶﾋﾞ，先付けｸﾛｽﾌﾘｰ見切りとする
＊特記以外の壁、天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類、岩綿吸音板、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼りは不燃認定品とする。
＊水廻りの壁石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼りは、壁・天井共、表面GBを耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞを使用すること。
＊使用する建材は全てﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄ(含有量0.1%以下)とすること。
＊壁ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼りは不燃認定品とする。素地ごしらえはB種とする。
＊壁建具取付、天井開口部は下地開口補強を見込むこと。
＊壁仕様は平面詳細図中の凡例によるものとする。
＊内部ＲＣ打放し部分はＡ種　増打ｔ20とする。
＊B1Fスラブ下はｔ50スタイロフォーム打込みとする。
＊改修する壁面の既存塗膜類はすべてEP-G塗装とする。

NO.		メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No.12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No.191666	別館会議室改修工事 仕上表（１）	N.S 作成年月日 2014.07.01	ＢＡ－０１

増改築・改修範囲　凡例

設備、電気：改修なし
天井：既存仕上げの上、塗替
壁　：既存仕上げの上、仕上更新
床　：既存撤去の上、仕上更新

設備、電気：改修あり
天井：既存下地共撤去の上、仕上材更新
壁　：既存仕上撤去及び下地新設の上、仕上更新
床　：既存仕上撤去の上、仕上更新



階段室
工事項目
内装改修
床：既存撤去の上、長尺シート貼
ノンスリップ取り替え
巾木：既存モルタルの上、EP-G
壁：既存吹付の上、EP-G
天井：既存の上、EP-G

ホール
工事項目
内装改修
床：既存撤去の上、長尺シート貼
巾木：ソフト巾木取り替え
壁：ビニルクロス貼り替え
天井：既存撤去（LGS共）の上、
GB-R9.5の上、ビニルクロス貼
空調機新設
照明器具既存撤去再取り付け、一部新設
その他電気設備、既存撤去再取り付け

※赤字表現部分：既存物撤去を示す

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No.12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No.191666	別館会議室改修工事 既存別館地下1階平面詳細図	A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014.07.01	BA－02

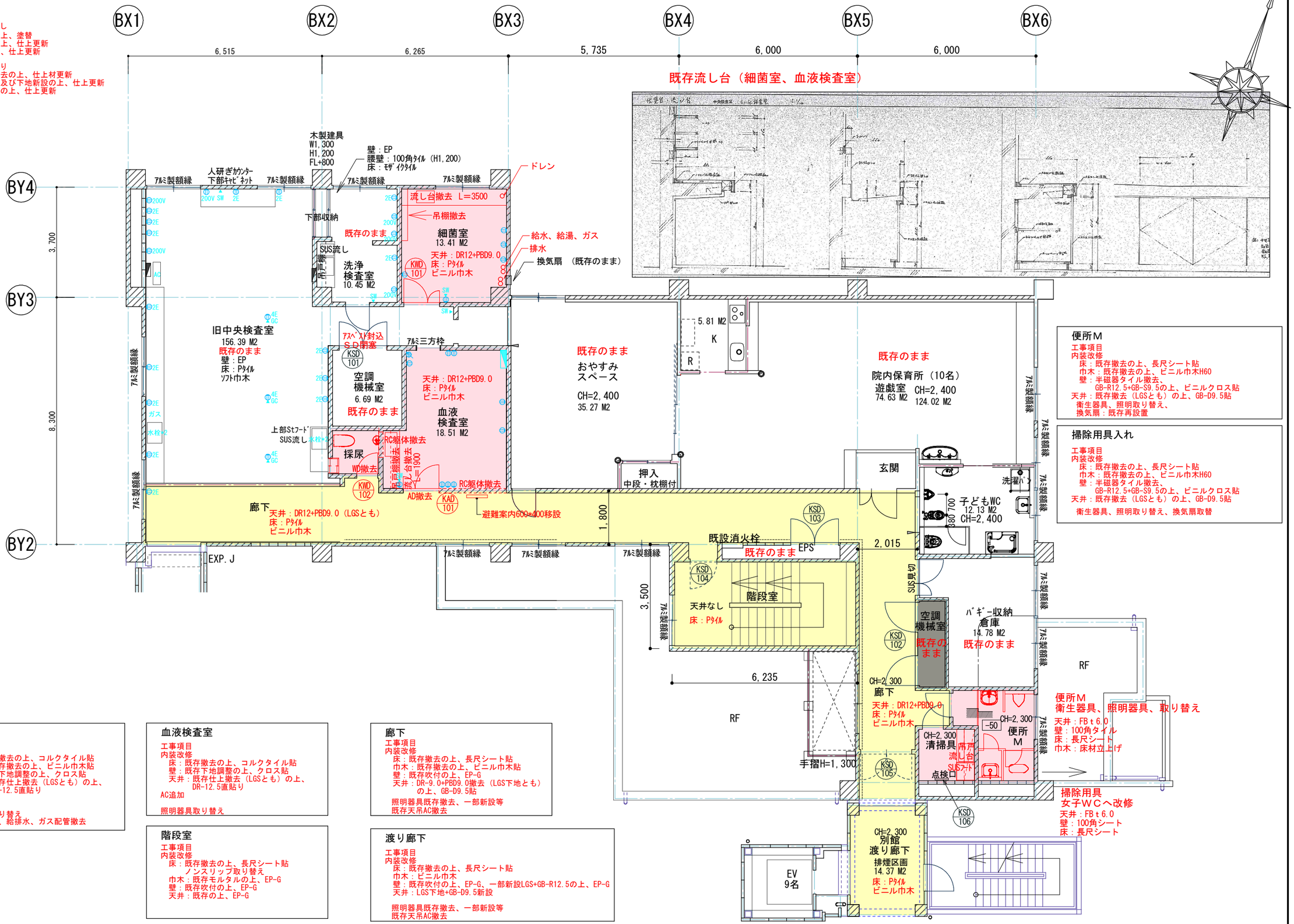
増改築・改修範囲　凡例

設備、電気：改修なし
天井：既存仕上げの上、塗替
壁　：既存仕上げの上、仕上更新
床　：既存撤去の上、仕上更新

設備、電気：改修あり
天井：既存下地共撤去の上、仕上材更新
壁　：既存仕上撤去及び下地新設の上、仕上更新
床　：既存仕上撤去の上、仕上更新

改修設備　凡例

㊀　既存コンセント



便所M

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　巾木：既存撤去の上、ビニル巾木H60
　壁：半磁器タイル撤去、
　　GB-R12.5+GB-S9.5の上、ビニルクロス貼
天井：既存撤去（LGSとも）の上、GB-D9.5貼
　衛生器具、照明取り替え、
　換気扇：既存再設置

掃除用具入れ

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　巾木：既存撤去の上、ビニル巾木H60
　壁：半磁器タイル撤去、
　　GB-R12.5+GB-S9.5の上、ビニルクロス貼
天井：既存撤去（LGSとも）の上、GB-D9.5貼
　衛生器具、照明取り替え、換気扇取替

細菌室

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、コルクタイル貼
　巾木：既存撤去の上、ビニル巾木貼
　壁：既存下地調整の上、クロス貼
　天井：既存仕上撤去（LGSとも）の上、
　　DR-12.5直貼り
AC追加

照明器具取り替え
流し台撤去、給排水、ガス配管撤去

血液検査室

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、コルクタイル貼
　壁：既存下地調整の上、クロス貼
　天井：既存仕上撤去（LGSとも）の上、
　　DR-12.5直貼り
AC追加

照明器具取り替え

階段室

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　　ノンスリップ取り替え
　巾木：既存モルタルの上、EP-G
　壁：既存吹付の上、EP-G
　天井：既存の上、EP-G

廊下

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　巾木：既存撤去の上、ビニル巾木貼
　壁：既存吹付の上、EP-G
　天井：DR-9.0+PBD9.0撤去（LGS下地とも）
　　の上、GB-D9.5貼
照明器具既存撤去、一部新設等
既存天吊AC撤去

渡り廊下

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　巾木：ビニル巾木
　壁：既存吹付の上、EP-G、一部新設LGS+GB-R12.5の上、EP-G
　天井：LGS下地+GB-D9.5新設

照明器具既存撤去、一部新設等
既存天吊AC撤去

※赤字表現部分：既存物撤去を示す

工事件名 / NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No.12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No.191666	別館会議室改修工事 既存別館1階平面詳細図	A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014.07.01	BA－03

佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体

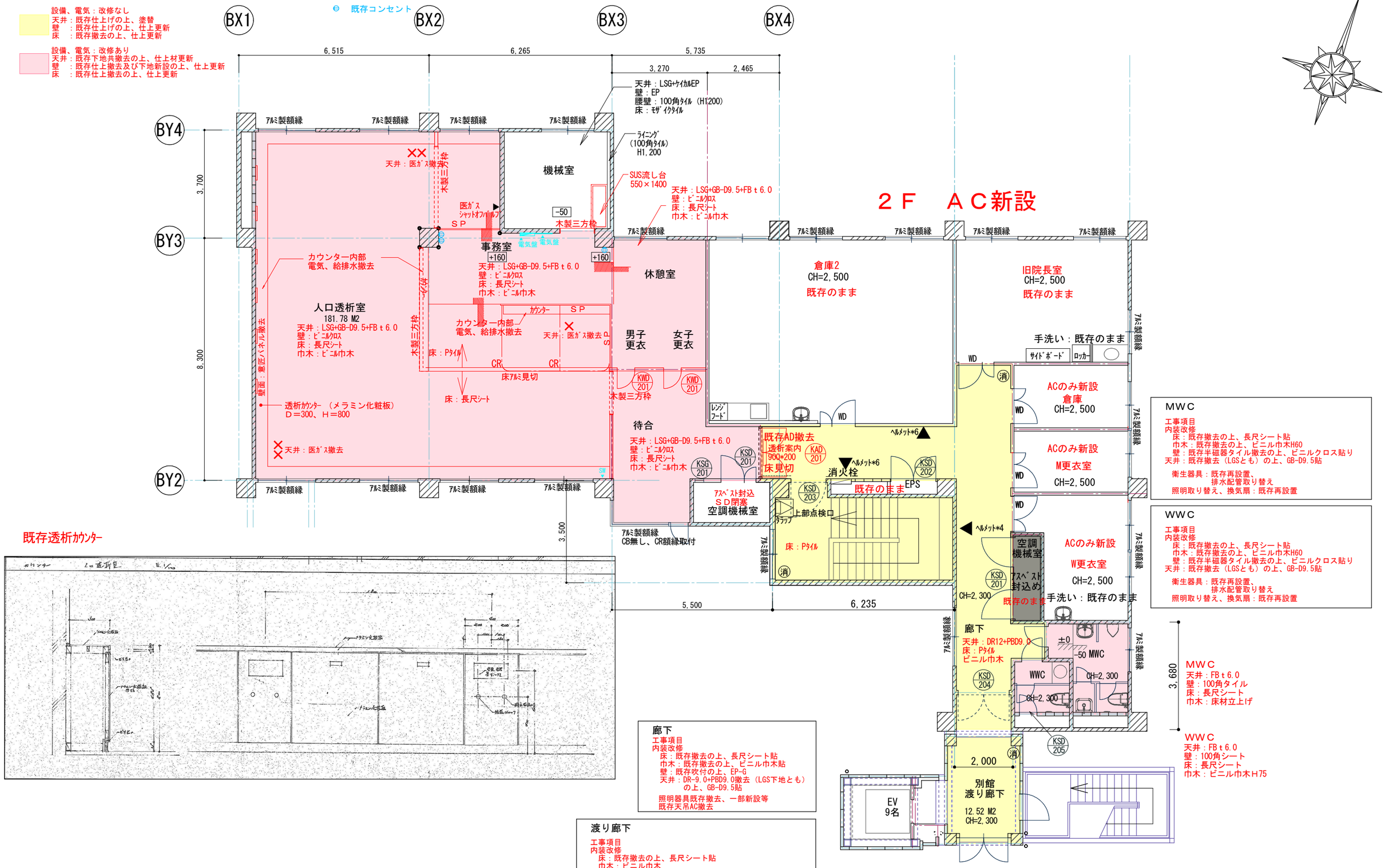
増改築・改修範囲　凡例

設備、電気：改修なし
天井：既存仕上げの上、塗替
壁　：既存仕上げの上、仕上更新
床　：既存撤去の上、仕上更新

設備、電気：改修あり
天井：既存下地共撤去の上、仕上材更新
壁　：既存仕上撤去及び下地新設の上、仕上更新
床　：既存仕上撤去の上、仕上更新

改修設備　凡例

⊖　既存コンセント



MWC

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　巾木：既存撤去の上、ビニル巾木H60
　壁：既存半磁器タイル撤去の上、ビニルクロス貼り
天井：既存撤去（LGSとも）の上、GB-D9.5貼

　衛生器具：既存再設置、
　　排水配管取り替え
　照明取り替え、換気扇：既存再設置

WWC

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　巾木：既存撤去の上、ビニル巾木H60
　壁：既存半磁器タイル撤去の上、ビニルクロス貼り
天井：既存撤去（LGSとも）の上、GB-D9.5貼

　衛生器具：既存再設置、
　　排水配管取り替え
　照明取り替え、換気扇：既存再設置

MWC
天井：FBｔ6.0
壁：100角タイル
床：長尺シート
巾木：床材立上げ

WWC
天井：FBｔ6.0
壁：100角シート
床：長尺シート
巾木：ビニル巾木H75

廊下

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　巾木：既存撤去の上、ビニル巾木貼
　壁：既存吹付の上、EP-G
天井：DR-9.0+PBD9.0撤去（LGS下地とも）
　　の上、GB-D9.5貼
　照明器具既存撤去、一部新設等
　既存天吊AC撤去

渡り廊下

工事項目
内装改修
　床：既存撤去の上、長尺シート貼
　巾木：ビニル巾木
　壁：既存吹付の上、EP-G、一部新設LGS+GB-R12.5の上、EP-G
天井：LGS下地+GB-D9.5新設

　照明器具既存撤去、一部新設等
　既存天吊AC撤去

※赤字表現部分：既存物撤去を示す

工事件名 / NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No.12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No.191666	別館会議室改修工事 既存別館2階平面詳細図	A1 1：60 A3 1：120	BA－04
佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体			作成年月日 2014.07.01	

増改築・改修範囲　凡例

設備、電気：改修なし
天井：既存仕上げの上、塗替
壁　：既存仕上げの上、仕上更新
床　：既存撤去の上、仕上更新

設備、電気：改修あり
天井：既存下地共撤去の上、仕上材更新
壁　：既存仕上撤去及び下地新設の上、仕上更新
床　：既存仕上撤去の上、仕上更新

サイン凡例

16-a　室名表示2a（平付）　W300*H900

壁下地凡例　※仕上は仕上表参照

ⓐ コンクリート打放又はCB積みの上、硬質発泡ウレタンt20+GB-R12.5（GL工法）

ⓑ コンクリート打放及びCB積みの上、GB-R12.5（GL工法）

ⓒ コンクリート打放し（増し外部15・内部15）※外断熱部分は外部増打不要及びCBあらわし

ⓓ コンクリート打放しの上現場発泡ウレタンt20あらわし

Ⓢ 一般間仕切 GB-R12.5+LGS65(BF：90)（両面貼）(ｽﾗﾌﾞ～天井まで)（ ）内寸法は地下部分。

Ⓢ9 耐火間仕切（吉野石膏：ハイパーウォールB同等品）GB-F12.5+GB-F12.5+LGS65（90）（両面貼）(ｽﾗﾌﾞ～ｽﾗﾌﾞ間)（ ）内寸法は地下部分。

Ⓢ9 耐火遮音間仕切(吉野石膏：A-2000・ＷⅠ同等品) GB-H9.5+GB-R21+LGS65（90）（千鳥）（両面貼）(ｽﾗﾌﾞ～ｽﾗﾌﾞ間) ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50(24K)充填（ ）内寸法は地下部分。

Ⓢ9 一般間仕切（PS等）GB-R9.5+GB-R12.5+LGS65（90）（片面貼）(ｽﾗﾌﾞ～天井まで)（ ）内寸法は地下部分。

Ⓧ 既存仕上面下地

※上記符号が無い壁面は、原則既存仕上げのままを表す。

※水廻り（湯沸・湯沸室・ﾄｲﾚ）の表面石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（t9.5）は耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）とする
※石膏ﾎﾞｰﾄﾞは全て不燃認定品とする

鉄筋コンクリート造を示す
※600　ＡＬＣ板を示す
※300　コンクリートブロックを示す
コーナーガードを示す　※詳細図参照
防耐塩ビ目地を示す（GL壁～乾式壁取合部）※詳細図参照
床下点検口を示す
Pr　ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙを示す
ｽﾄﾚｯﾁｬｰ兼用手摺を示す（既存のまま）
水抜きﾊﾟｲﾌﾟ40φを示す
消火器BOXを示す
点検口（SD）
点検口 塩ビ枠マグネット式
ｱﾙﾐ製額縁　既存造作物を示す

BX2　BX3　BX4　BX5　BX6
BY4　BY3　BY2　BY1
6,515　6,265　5,735　6,000　6,000
515　2,230　4,035
3,700　8,300　8,530
3,355　2,400　2,400　2,000

別館B1F：AC新設

木製額縁　額縁無し 窓台（木製）　額縁無し 窓台無し
文書倉庫 13.84 M2 CH=2,500 既存のまま
倉庫 ｱｽﾍﾞｽﾄ封じ込め処理 既存のまま
給湯室 既存のまま　ﾊﾟｳﾀﾞｰｺｰﾅｰ
読影室 ＡＣ新設 8.82 M2 CH=2,500
点検口200角 FL+850
健診センター長室 ＡＣ新設 CH=2,500 13.86 M2
設備基礎 2000*1000*200 2か所（建築工事）
ｱﾙﾐ製額縁　木製額縁　手洗
既存のまま 空調室 ①天井なし ｱｽﾍﾞｽﾄ封じ込め処理
EW200　EW250
既存のまま MWC CH=2,440
KSG 001　KSD 001
CH=2,440 34.40 M2
空調機械室撤去部分 壁仕上げ
SK　WWC CH=2,520 既存のまま
待合室（女性30名）
既存23.47 M2 CH=2,570
診察室 既存のまま
床：既存モルタル下地の上、長尺シート貼 巾木：ビニル巾木
床：塩ビｼｰﾄへ張替え 巾木：H60へ取替 天井：既存下地へﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り ＡＣ一台新設
枠付鉄骨ブレース　額縁無し
健診事務室 CH=2,500 79.87 M2 ＡＣ新設
Wﾛｯｶｰ　900
SP H=2,100　SP H=2,100
診察ｺｰﾅｰ CH=2,440 既存のまま 10.00 M2
既存のまま 2,255　既存のまま 15.66 M2 CH=2,570
PS　KSD 005　KSD 004
ﾍﾙﾒｯﾄｺｰﾅｰ
EW200　2,140
ＡＣ一台新設 前室 既存のまま
消火栓 塗替 750×1350
EPS　ﾓﾆﾀｰ
CH=2,430
ＡＣ新設
辛洗
ｱﾙﾐ製額縁
床・壁・天井：改修
16-a　Ⓧ天井なし　LSD 001 建具追加
階段室　倉庫 既存のまま 天井なし
既存のまま Mﾛｯｶｰ 9.36 M2 CH=2,500
床・壁・天井：既存のまま　ＡＣ新設
CH=2,430 事務 既存のまま
ﾗﾝﾏ開放　床・壁・天井：既存のまま
既存のまま 採血 CH=2,430
既存のまま 血圧
ﾎｰﾙ 103.98 M2 CH=2,430
既存のまま 風除室 7.00 M2 CH=2,500
KSD 002　床・壁・天井：改修
2,185
PS　自販機ｺｰﾅｰ　PS
EV 9名
ピロティ 天井なし

階段室
工事項目
内装改修
床：張り替え、ノンスリップ取り替え
巾木：既存モルタルの上、EP-G
壁：既存吹付の上、EP-G
天井：既存の上、EP-G

ホール
工事項目
内装改修
床：張り替え
巾木：ソフト巾木取り替え
壁：ビニルクロス貼り替え
天井：既存撤去（LGS共）の上、GB-R9.5の上、ビニルクロス貼
空調機新設
照明器具既存撤去再取り付け、一部新設
その他電気設備、既存撤去再取り付け

工事件名 / NO.	メモ		図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	別館会議室改修工事 改修後 別館地下1階平面詳細図	A1 1：60 A3 1：120	BA－05
				作成年月日 2014.07.01	

増改築・改修範囲　凡例

設備、電気：改修なし
天井：既存仕上げの上、塗替
壁　：既存仕上げの上、仕上更新
床　：既存撤去の上、仕上更新

設備、電気：改修あり
天井：既存下地共撤去の上、仕上材更新
壁　：既存仕上撤去及び下地新設の上、仕上更新
床　：既存仕上撤去の上、仕上更新

新設スイッチ
ＴＥＬ(NTT工事)
ＴＶアウトレット
既存コンセント

新設コンセント
アース付４口 ハーネス用インナーコンセント ２Ｐ１５ＡＥ×４
アース付２口 埋込コンセント ２Ｐ１５ＡＥ×２（非常用発電機回路）
アース付２口 埋込コンセント ２Ｐ１５ＡＥ×２
アース付１口 医用埋込コンセント ２Ｐ１５ＡＥ×１
アース付２口 露出コンセント ２Ｐ１５ＡＥ×２

サイン凡例
16-a 室名表示2a（平付） W300*H900
17-a 室名表示3a（平付） W220*H300
17-b 室名表示3a（突出し）W220*H300
18 室名表示4（シート） H30
30 避難経路案内表示 W400*H600

壁下地凡例　※仕上は仕上表参照

ⓐ コンクリート打放又はCB積みの上、硬質発泡ウレタンｔ20+GB-R12.5（GL工法）
ⓑ コンクリート打放及びCB積みの上、GB-R12.5（GL工法）
ⓒ コンクリート打放し（増し外部15・内部15）※外断熱部分は外部増打不要 及びＣＢあらわし
ⓓ コンクリート打放しの上 現場発泡ウレタンｔ20あらわし
Ⓢ 一般間仕切 GB-R12.5+LGS65(BF：90)（両面貼）(ｽﾗﾌﾞ～天井まで)（ ）内寸法は地下部分。
Ⓢg 耐火間仕切(吉野石膏：ﾊｲﾊﾟｰｳｫｰﾙB同等品) GB-F12.5+GB-F12.5+LGS65（90）（両面貼）(ｽﾗﾌﾞ～ｽﾗﾌﾞ間)（ ）内寸法は地下部分。
Ⓢs 耐火遮音間仕切(吉野石膏：A-2000・Ⅲ同等品) GB-R9.5+GB-R21+LGS65（90）（千鳥）ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50(24K)充填（ ）内寸法は地下部分。
Ⓢp 一般間仕切（PS等）GB-R9.5+GB-R12.5+LGS65（90）（片面貼）(ｽﾗﾌﾞ～天井まで)（ ）内寸法は地下部分。
Ⓧ 既存仕上面下地

※上記符号が無い壁面は、原則既存仕上げのままを表す。

※水廻り（湯沸・湯溜室・ﾄｲﾚ）の表面石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(t9.5)は耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)とする
※石膏ﾎﾞｰﾄﾞは全て不燃認定品とする

鉄筋コンクリート造を示す
※600 ＡＬＣ板を示す
※300 コンクリートブロックを示す
コーナーガードを示す ※詳細図参照
防耐塩ビ目地を示す (GL壁～乾式壁取合部) ※詳細図参照
床下点検口を示す
Pr ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙを示す
ｽﾄﾚｯﾁｬｰ兼用手摺を示す (既存のまま)
水 水抜きﾊﾟｲﾌﾟ40φを示す
消 消火器BOXを示す
点検口（SD）
点検口 塩ビ枠マグネット式
ｱﾙﾐ製額縁 既存造作物を示す

BX1 BX2 BX3 BX4 BX5 BX6
BY4 BY3 BY2
6,515 6,265 5,735 6,000 6,000
3,700 8,300 1,780

壁：EP
腰壁：100角ﾀｲﾙ（H1,200）
床：ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ
ｱﾙﾐ製額縁
人研ぎｶｳﾝﾀｰ 下部ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ
木製建具 W1,300 H1,200 FL+800
下部収納
点検口 W550 H1,000 FL+1,600
SUS流し
倉庫 既存のまま
CH=2,500 安静室 14.50 M2
既存換気扇
スリット
WD
壁新設
SD固定、4周ｼｰﾙ
ｱﾙﾐ三方枠
内装既存のまま 倉庫
旧中央検査室 倉庫 既存のまま 75.45 M2
空調機械室 アスベスト封じ込め
保育室（定員2名） CH=2,500 18.51 M2
既存のまま おやすみスペース CH=2,400 35.27 M2
5.81 M2 K R
既存のまま 院内保育所（10名） 遊戯室 CH=2,400 74.63 M2 124.02 M2
上部SUSﾌｰﾄﾞ SUS流し
WC改修
手洗追加
水栓×2
廊下 CH2,300
押入 中段・枕棚付
玄関
洗濯パン
子どもWC 12.13 M2 CH=2,400
両開ｶﾞﾗｽ框LD新設 1800×2000 片面ｶｰﾄﾞ式電池錠
既設消火栓 塗替
既存のまま EPS
階段室
SUS見切
ﾊﾞｷﾞｰ収納 倉庫 14.78 M2 既存のまま
SP ｱﾗｰﾑ ｱｽﾍﾞｽﾄ封じ込め 既存のまま
RF
テラス
手摺H=1,300
MWC CH=2,300
WWC CH=2,300
点検口
CH=2,300 別館渡り廊下 排煙区画 14.37 M2
EV 9名
3,500 2,015 6,235 1,800 700 300

MWC
工事項目
内装改修
床：既存撤去、ﾓﾙﾀﾙﾚﾍﾞﾙ調整（+50）の上、長尺シート貼
巾木：既存撤去の上、ビニル巾木H60
壁：半磁器タイル撤去、GB-R12.5+GB-S9.5の上、ビニルクロス貼
天井：既存撤去（LGSとも）の上、GB-D9.5貼
ライニング設置
衛生器具、給排水配管取り替え
照明取り替え、換気扇：既存再設置
ブース取り替え

WWC
工事項目
内装改修
床：既存撤去の上、長尺シート貼
巾木：既存撤去の上、ビニル巾木H60
壁：半磁器タイル撤去、GB-R12.5+GB-S9.5の上、ビニルクロス貼
天井：既存撤去（LGSとも）の上、GB-D9.5貼
ライニング設置
洋便器、手洗い設置
照明取り替え、換気扇設置
ブース設置

安静室・保育室
工事項目
内装改修
床：既存モルタルの上、コルクタイルｔ5.0
巾木：ビニル巾木
壁：既存下地調整の上、クロス貼
天井：既存仕上撤去（LGSとも）の上、DR-12.5直貼り
AC追加
照明器具取り替え

階段室
工事項目
内装改修
床：既存モルタルの上、長尺シート貼、ノンスリップ取り替え
巾木：既存モルタルの上、EP-G
壁：既存吹付の上、EP-G
天井：既存の上、EP-G

廊下
工事項目
内装改修
床：既存モルタルの上、長尺シート貼り
巾木：ビニル巾木
壁：既存吹付の上、EP-G
天井：GB-D9.5貼（LGS下地とも）
照明器具既存撤去、一部新設等
既存天吊AC撤去

渡り廊下
工事項目
内装改修
床：既存モルタルの上、長尺シート貼
巾木：ビニル巾木
壁：既存吹付の上、EP-G、一部新設LGS+GB-R12.5の上、EP-G
天井：LGS下地+GB-D9.5新設
照明器具既存撤去、一部新設等
既存天吊AC撤去

別館1階平面詳細図
病児病後保育園へ改修

※梁は見上げを示す

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	別館会議室改修工事 改修 別館1階平面詳細図	A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014.07.01	BA－06

増改築・改修範囲　凡例

設備、電気：改修なし
天井：既存仕上げの上、塗替
壁　：既存仕上げの上、仕上更新
床　：既存撤去の上、仕上更新

設備、電気：改修あり
天井：既存下地共撤去の上、仕上材更新
壁　：既存仕上撤去及び下地新設の上、仕上更新
床　：既存仕上撤去の上、仕上更新

● 新設スイッチ
● TEL(NTT工事)
● TVアウトレット
⊖ 既存コンセント

新設コンセント
アース付４口 ハーネス用インナーコンセント ２Ｐ１５ＡＥ×４
アース付２口 埋込コンセント ２Ｐ１５ＡＥ×２（非常用発電機回路）
アース付２口 埋込コンセント ２Ｐ１５ＡＥ×２
アース付１口 医用埋込コンセント ２Ｐ１５ＡＥ×１
アース付２口 露出コンセント ２Ｐ１５ＡＥ×２

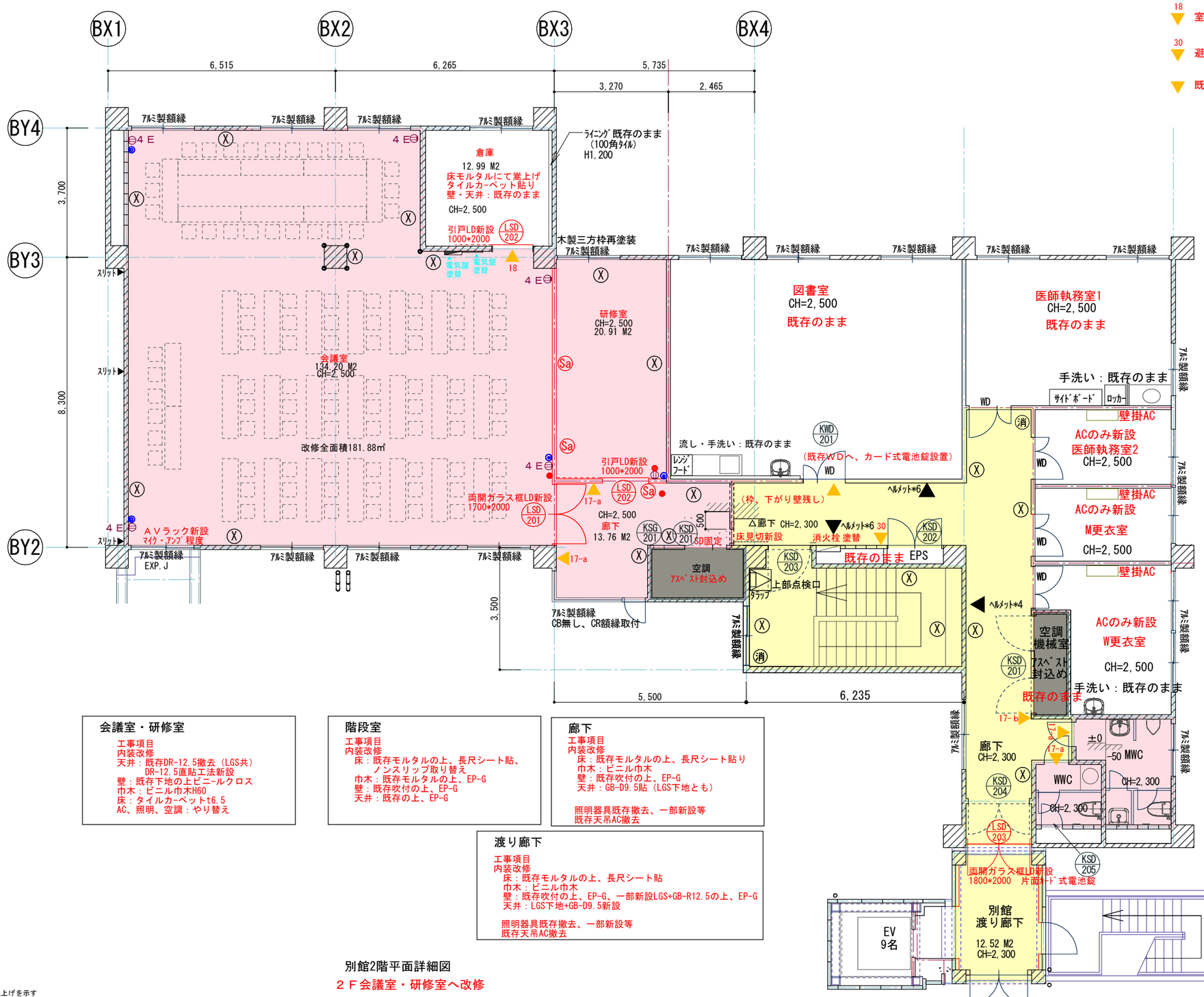
サイン凡例
16-a 室名表示2a（平付） W300*H900
17-a 室名表示3a（平付） W220*H300
17-b 室名表示3a（突出し） W220*H300
18 室名表示4（シート） H30
30 避難経路案内表示 W400*H600
既存サインへインクジェットシート貼

壁下地凡例 ※仕上は仕上表参照

ⓐ コンクリート打放又はCB積みの上、硬質発泡ウレタンt20+GB-R12.5（GL工法）
〈内部〉 〈外部〉
ⓑ コンクリート打放及びCB積みの上、GB-R12.5（GL工法）
〈内部〉
ⓒ コンクリート打放し（増し外部15・内部15）※外断熱部分は外部増打不要 及びCBあらわし
ⓓ コンクリート打放しの上 現場発泡ウレタンt20あらわし
Ⓢ 一般間仕切 GB-R12.5+LGS65(BF：90)（間面貼）(ｽﾗﾌﾞ～天井まで)（ ）内寸法は地下部分。
Ⓢa 耐火間仕切(吉野石膏：ﾊｲﾊﾟｰｳｫｰﾙB同等品) GB-F12.5+GB-F12.5+LGS65（90）(両面貼)(ｽﾗﾌﾞ～ｽﾗﾌﾞ間)（ ）内寸法は地下部分。 H≦4.5m:90形 H≦4.0m:65形
Ⓢb 耐火遮音間仕切(吉野石膏：A-2000・W I 同等品) GB-H9.5+GB-R21+LGS65（90）(千鳥)(両面貼)(ｽﾗﾌﾞ～ｽﾗﾌﾞ間) ｸﾞﾗｽｳｰﾙ+50(24K)充填（ ）内寸法は地下部分。 H≦4.5m:90形 H≦4.0m:65形
Ⓢc 一般間仕切（PS等） GB-R9.5+GB-R12.5+LGS65（90）(片面貼)(ｽﾗﾌﾞ～天井まで)（ ）内寸法は地下部分。
Ⓧ 既存仕上面下地

※上記符号が無い壁面は、原則既存仕上げのままを表す。

※水回り(湯沸・湯適室・ﾄｲﾚ)の表面石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(t9.5)は耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)とする
※石膏ﾎﾞｰﾄﾞは全て不燃認定品とする
鉄筋コンクリート造を示す
@600 ＡＬＣ板を示す
@300 コンクリートブロックを示す
コーナーガードを示す ※詳細図参照
防湿塩ビ目地を示す (GL壁～乾式壁取合部) ※詳細図参照
床下点検口を示す
Pr ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙを示す
ｽﾄﾚｯﾁｬｰ兼用手摺を示す (既存のまま)
水抜きﾊﾟｲﾌﾟ40φを示す
消 消火器BOXを示す
点検口（SD）
点検口 塩ビ枠マグネット式
ｱﾙﾐ製額縁 既存造作物を示す
※梁は見上げを示す



会議室・研修室
工事項目
内装改修
天井：既存DR-12.5撤去（LGS共） DR-12.5直貼工法新設
壁：既存下地の上ビニールクロス
巾木：ビニル巾木H60
床：タイルカーペット t6.5
AC、照明、空調：やり替え

階段室
工事項目
内装改修
床：既存モルタルの上、長尺シート貼、ノンスリップ取り替え
巾木：既存モルタルの上、EP-G
壁：既存吹付の上、EP-G
天井：既存の上、EP-G

廊下
工事項目
内装改修
床：既存モルタルの上、長尺シート貼り
巾木：ビニル巾木
壁：既存吹付の上、EP-G
天井：GB-D9.5貼（LGS下地とも）
照明器具既存撤去、一部新設等
既存天吊AC撤去

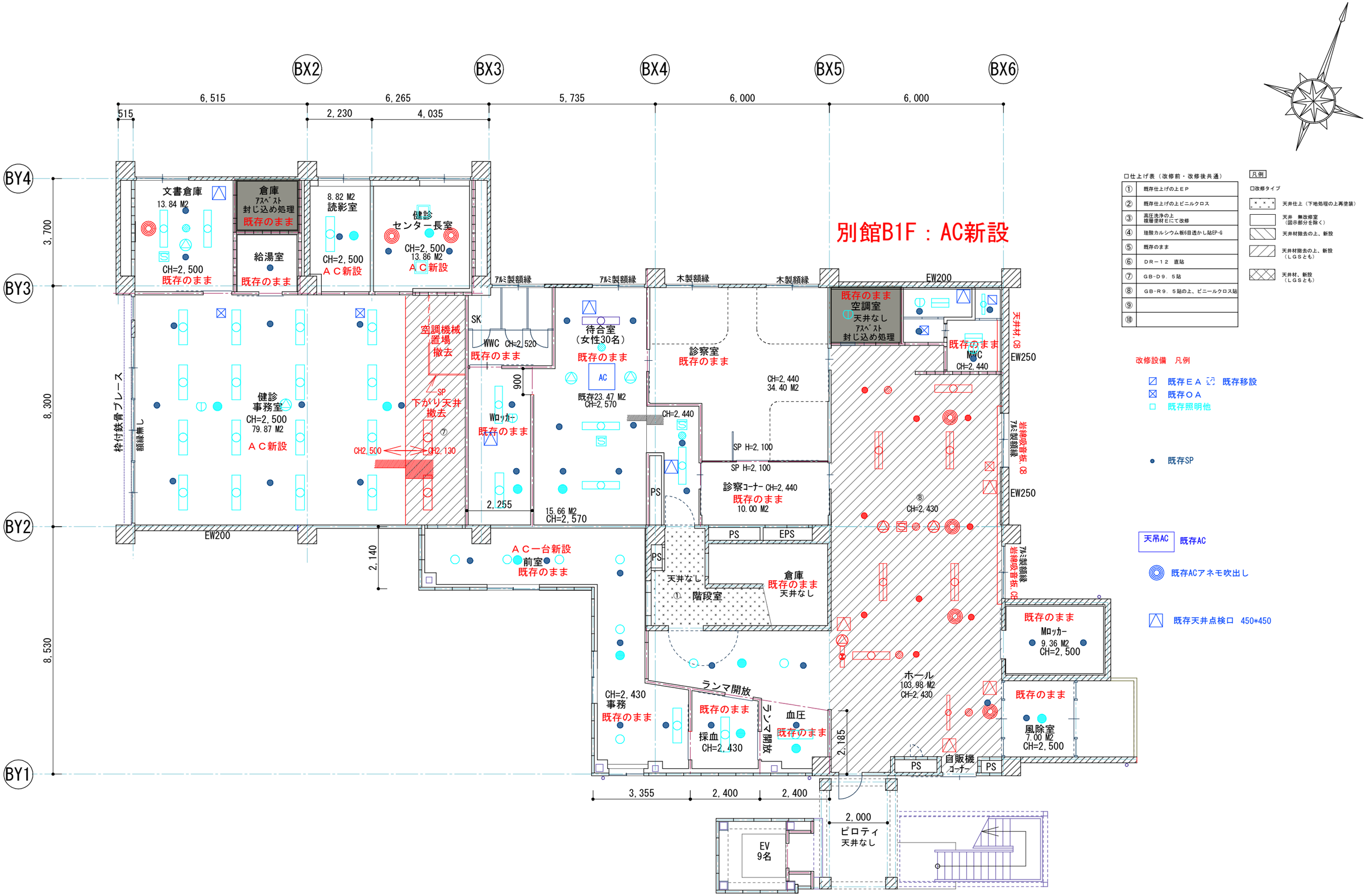
渡り廊下
工事項目
内装改修
床：既存モルタルの上、長尺シート貼
巾木：ビニル巾木
壁：既存吹付の上、EP-G、一部新設LGS+GB-R12.5の上、EP-G
天井：LGS下地+GB-D9.5新設
照明器具既存撤去、一部新設等
既存天吊AC撤去

MWC
工事項目
内装改修
床：既存撤去の上、長尺シート貼
巾木：既存撤去の上、ビニル巾木H60
壁：既存半磁器タイル撤去の上、ビニルクロス貼り
天井：既存撤去（LGSとも）の上、GB-D9.5貼
衛生器具：既存再設置、排水配管取り替え
照明取り替え、換気扇：既存再設置

WWC
工事項目
内装改修
床：既存撤去の上、長尺シート貼
巾木：既存撤去の上、ビニル巾木H60
壁：既存半磁器タイル撤去の上、ビニルクロス貼り
天井：既存撤去（LGSとも）の上、GB-D9.5貼
衛生器具：既存再設置、排水配管取り替え
照明取り替え、換気扇：既存再設置

別館2階平面詳細図
２Ｆ会議室・研修室へ改修

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No.12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No.191666	別館会議室改修工事 改修 別館2階平面詳細図	A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014.07.01	BA－07



凡例

□仕上げ表（改修前・改修後共通）

①	既存仕上げの上ＥＰ
②	既存仕上げの上ビニルクロス
③	高圧洗浄の上 複層塗材Ｅにて改修
④	珪酸カルシウム板6目透かし貼EP-G
⑤	既存のまま
⑥	ＤＲ－１２　直貼
⑦	ＧＢ-Ｄ９．５貼
⑧	ＧＢ-Ｒ９．５貼の上、ビニールクロス貼
⑨	
⑩	

凡例

□改修タイプ

- 天井仕上（下地処理の上再塗装）
- 天井　無改修室（図示部分を除く）
- 天井材撤去の上、新設
- 天井材撤去の上、新設（ＬＧＳとも）
- 天井材、新設（ＬＧＳとも）

改修設備　凡例

- 既存ＥＡ　既存移設
- 既存ＯＡ
- 既存照明他
- 既存SP
- 天吊AC　既存AC
- 既存ACアネモ吹出し
- 既存天井点検口　450*450

※赤文字は、既存撤去を示す
（撤去再取り付けを含む）

工事件名 大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 別館会議室改修工事 既存 別館地下1階天井伏図	縮尺 A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014. 07. 01	図面NO. ＢＡ－０８

別館B1F：AC新設

BX2 BX3 BX4 BX5 BX6
BY4 BY3 BY2 BY1

6,515 / 6,265 / 5,735 / 6,000 / 6,000
515 / 2,230 / 4,035
3,700 / 8,300 / 8,530
3,355 / 2,400 / 2,400

文書倉庫 13.84 M2 CH=2,500 既存のまま
倉庫 アスベスト封じ込め処理 既存のまま
給湯室 既存のまま
8.82 M2 読影室 CH=2,500 AC新設
健診センター長室 AC CH=2,500 13.86 M2 AC新設
アルミ製額縁 / 木製額縁 / EW200 / EW250
既存のまま 空調室 天井なし アスベスト封じ込め処理
既存のまま MWC CH=2,440
SK WWC CH=2,520 既存のまま
待合室（女性30名） 既存のまま
既存23.47 M2 CH=2,570
診察室 既存のまま
CH=2,440 34.40 M2
CH=2,440
SP H=2,100
SP H=2,100
診察コーナー CH=2,440 既存のまま 10.00 M2
Wロッカー 既存のまま
900
2,255
15.66 M2 CH=2,570
AC一台新設
PS
PS EPS
CH=2,430
アルミ製額縁 笠木防音板 CB
枠付鉄骨ブレース 額縁無し
EW200
2,140
AC一台新設 前室 既存のまま
PS 天井なし ① 階段室
倉庫 既存のまま 天井なし
AC一台新設
ランマ開放
既存のまま Mロッカー 9.36 M2 CH=2,500
既存のまま
ホール 103.98 M2 CH=2,430
既存のまま 風除室 7.00 M2 CH=2,500
既存のまま 採血 CH=2,430
血圧 既存のまま
CH=2,430 事務
2,185
PS 自販機コーナー PS
2,000 ピロティ 天井なし
EV 9名

凡例

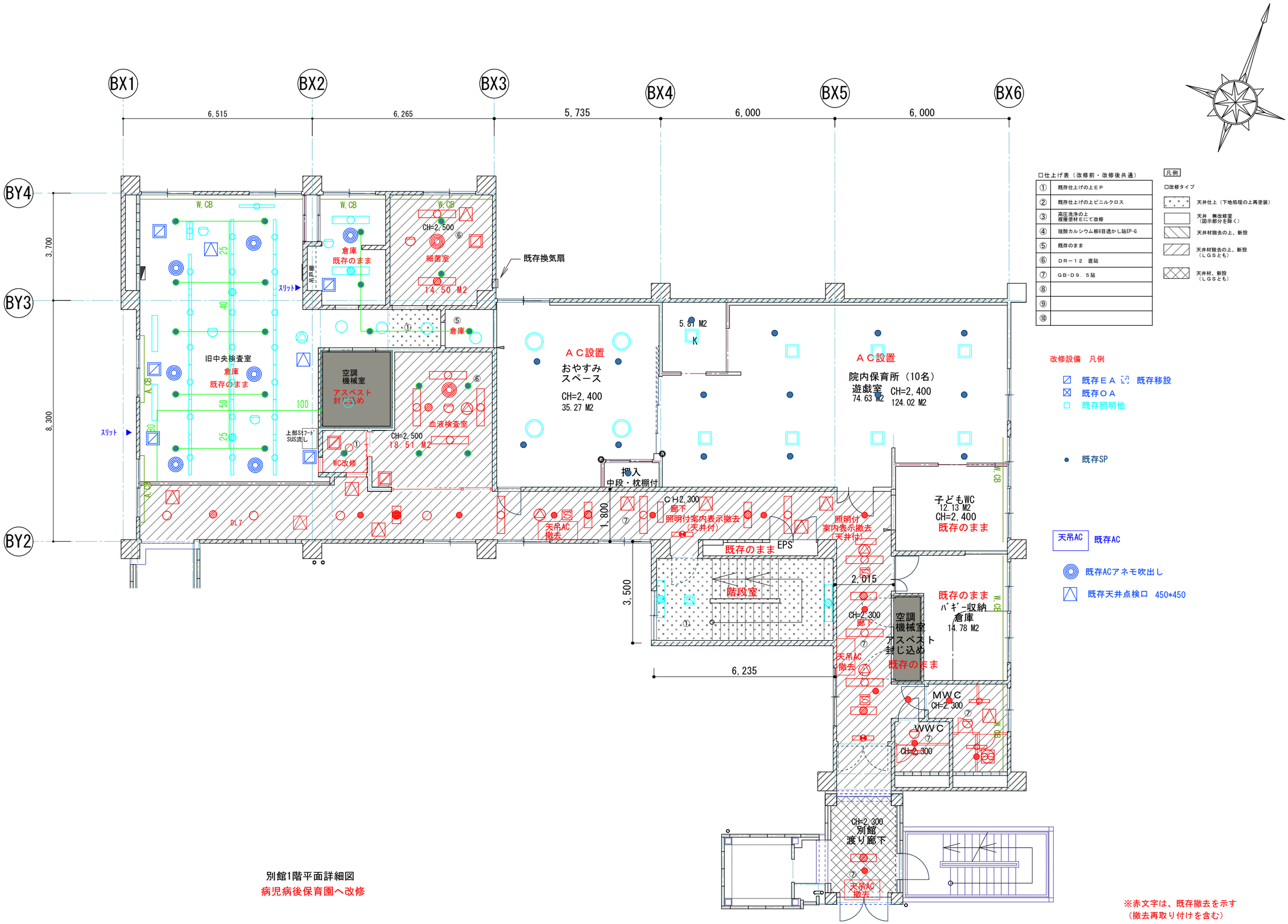
□仕上げ表（改修前・改修後共通）

①	既存仕上げの上ＥＰ
②	既存仕上げの上ビニルクロス
③	高圧洗浄の上複層塗材Ｅにて改修
④	珪酸カルシウム板6目透かし貼EP-G
⑤	既存のまま
⑥	ＤＲ－１２ 直貼
⑦	ＧＢ-Ｄ９．５貼
⑧	ＧＢ-Ｒ９．５貼の上、ビニールクロス貼
⑨	
⑩	

凡例
□改修タイプ
- 天井仕上（下地処理の上再塗装）
- 天井 無改修室（図示部分を除く）
- 天井材撤去の上、新設
- 天井材撤去の上、新設（ＬＧＳとも）
- 天井材、新設（ＬＧＳとも）

改修設備 凡例
- 新設設備
- 既存ＥＡ 既存移設
- 既存ＯＡ
- 既存照明他
- 新設照明器具 （一部再設置）
- 新設照明器具（発電機回路）
- 既存SP
- AC 新設AC
- 天吊AC 既存AC
- 既存ACアネモ吹出し
- 新設天井点検口 450*450
- 既存天井点検口 450*450

工事件名 / NO.	大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ
（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所 登録No. 12476 統括建築士 一級建築士 長井隆志 登録No. 191666	図面名称	別館会議室改修工事 改修後 別館地下1階天井伏図	縮尺 A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014.07.01
図面NO.	BA－09		



□仕上げ表（改修前・改修後共通）

①	既存仕上げの上ＥＰ
②	既存仕上げの上ビニルクロス
③	高圧洗浄の上 複層塗材Ｅにて改修
④	珪酸カルシウム板6目透かし貼EP-G
⑤	既存のまま
⑥	ＤＲ－１２　直貼
⑦	GB-D９．５貼
⑧	
⑨	
⑩	

凡例

□改修タイプ

- 天井仕上（下地処理の上再塗装）
- 天井　無改修室（図示部分を除く）
- 天井材撤去の上、新設
- 天井材撤去の上、新設（ＬＧＳとも）
- 天井材、新設（ＬＧＳとも）

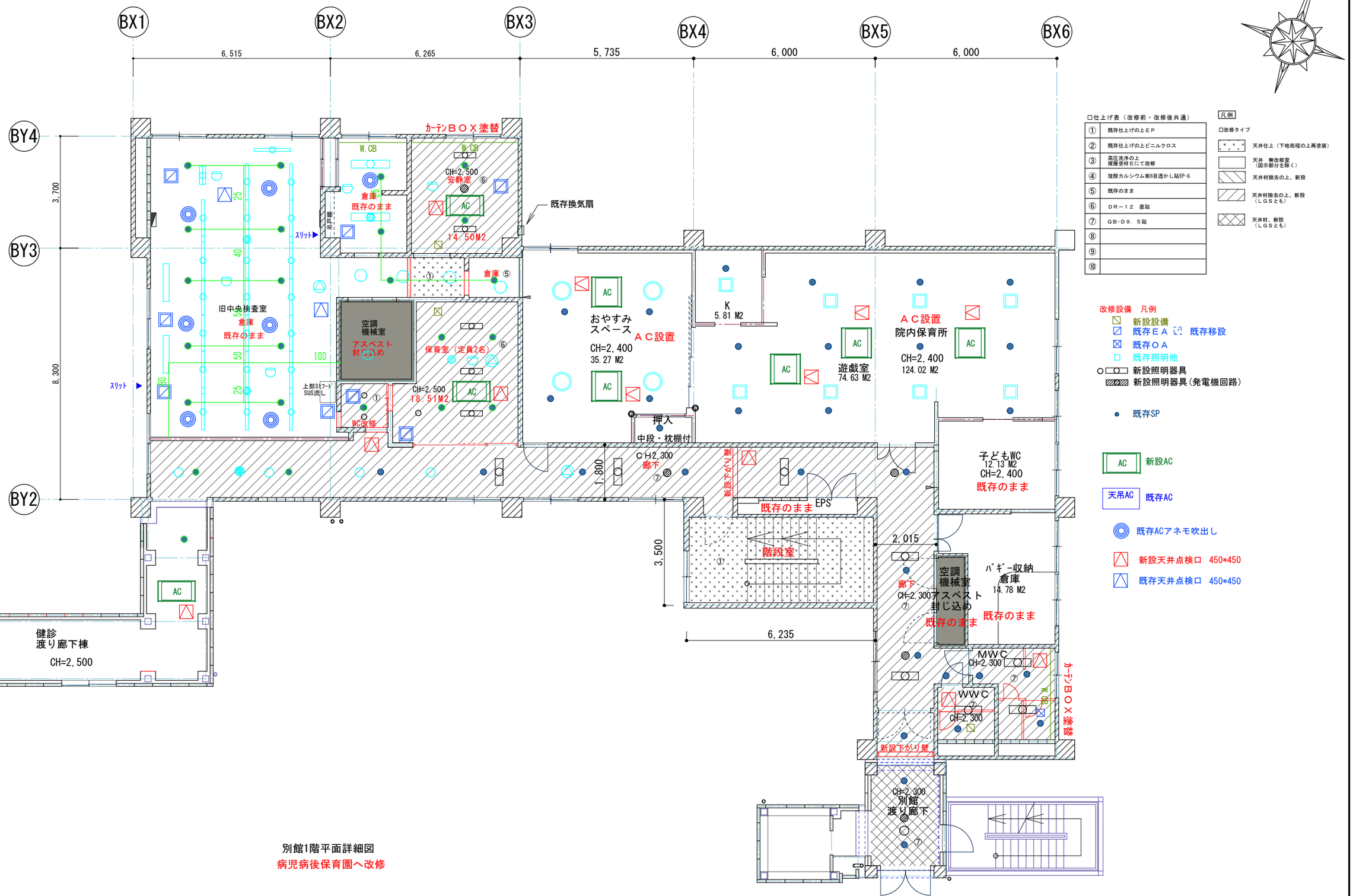
改修設備　凡例

- 既存ＥＡ　既存移設
- 既存ＯＡ
- 既存照明他
- 既存SP
- 天吊AC　既存AC
- 既存ACアネモ吹出し
- 既存天井点検口　450*450

別館1階平面詳細図
病児病後保育園へ改修

※赤文字は、既存撤去を示す
（撤去再取り付けを含む）

工事件名 大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 別館会議室改修工事 既存 別館1階天井伏図	縮尺 A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014.07.01	図面NO. ＢＡ－１０



別館1階平面詳細図
病児病後保育園へ改修

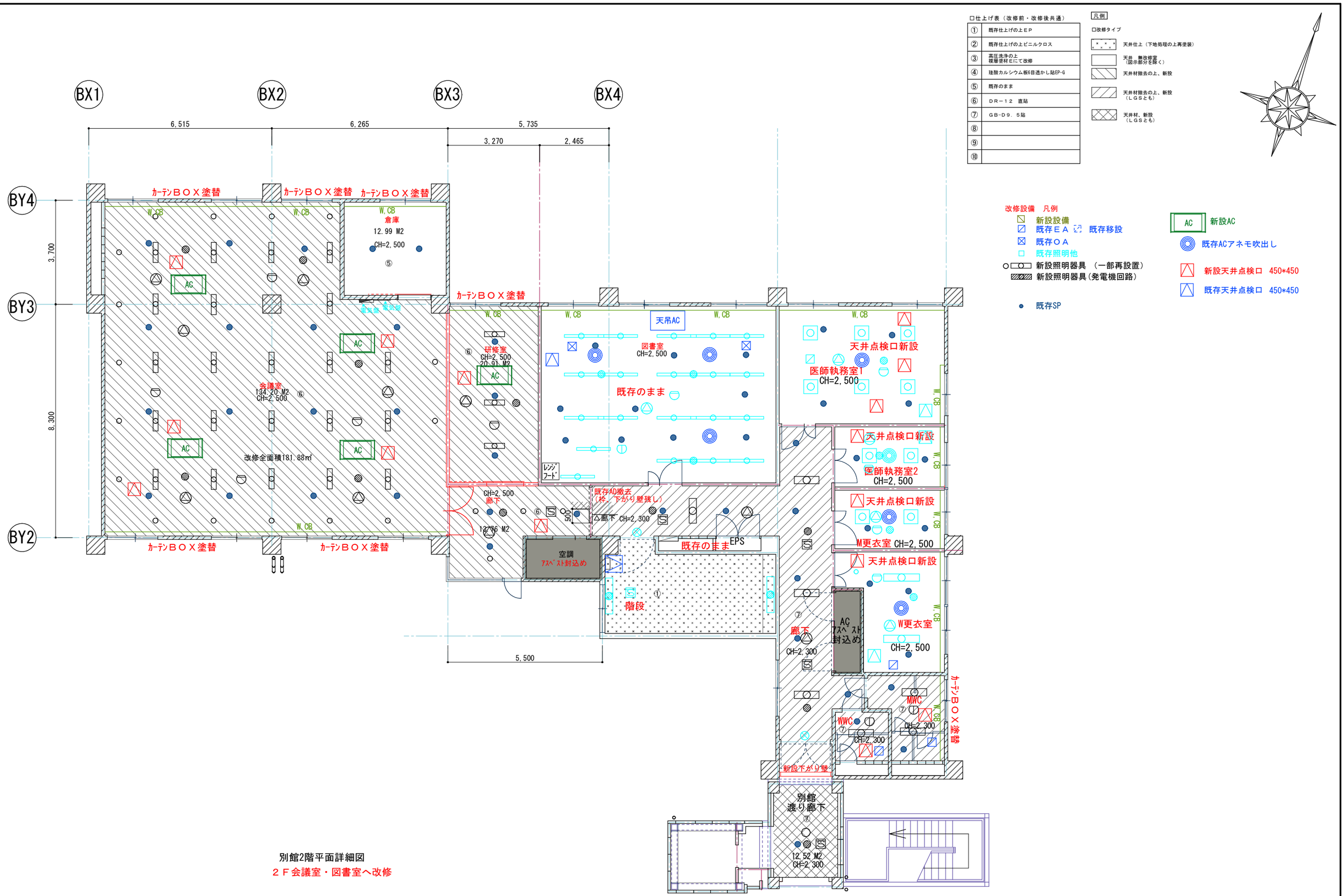
□仕上げ表（改修前・改修後共通）

①	既存仕上げの上ＥＰ
②	既存仕上げの上ビニルクロス
③	高圧洗浄の上 複層塗材Ｅにて改修
④	珪酸カルシウム板6目透かし貼EP-G
⑤	既存のまま
⑥	ＤＲ－１２　直貼
⑦	GB-D９．５貼
⑧	
⑨	
⑩	

凡例
□改修タイプ
天井仕上（下地処理の上再塗装）
天井　無改修塗
（図示部分を除く）
天井材撤去の上、新設
天井材撤去の上、新設
（ＬＧＳとも）
天井材、新設
（ＬＧＳとも）

改修設備　凡例
新設設備
既存ＥＡ　既存移設
既存ＯＡ
既存照明他
新設照明器具
新設照明器具（発電機回路）
既存SP
AC 新設AC
天吊AC 既存AC
既存ACアネモ吹出し
新設天井点検口　450*450
既存天井点検口　450*450

工事件名 大月市立中央病院既存棟改修工事	NO.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 別館会議室改修工事 改修 別館1階天井伏図	縮尺 A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014.07.01	図面NO. ＢＡ－１１



□仕上げ表（改修前・改修後共通）

①	既存仕上げの上ＥＰ
②	既存仕上げの上ビニルクロス
③	高圧洗浄の上 複層塗材Ｅにて改修
④	珪酸カルシウム板6目透かし貼EP-G
⑤	既存のまま
⑥	ＤＲ－１２　直貼
⑦	ＧＢ-Ｄ９．５貼
⑧	
⑨	
⑩	

凡例

□改修タイプ

- 天井仕上（下地処理の上再塗装）
- 天井　無改修変（図示部分を除く）
- 天井材撤去の上、新設
- 天井材撤去の上、新設（ＬＧＳとも）
- 天井材、新設（ＬＧＳとも）

改修設備　凡例

- 新設設備
- 既存ＥＡ　既存移設
- 既存ＯＡ
- 既存照明他
- 新設照明器具　（一部再設置）
- 新設照明器具（発電機回路）
- 既存SP
- AC　新設AC
- 既存ACアネモ吹出し
- 新設天井点検口　450*450
- 既存天井点検口　450*450

別館2階平面詳細図

２Ｆ会議室・図書室へ改修

工事件名 大月市立中央病院既存棟改修工事	ＮＯ.	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 別館会議室改修工事 改修 別館2階天井伏図	縮尺 A1 1：60 A3 1：120 作成年月日 2014.07.01	図面ＮＯ. ＢＡ－１２

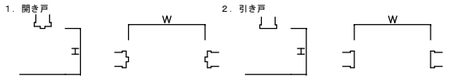
■共通事項

◎　一般事項
1．特記なき事項は東京都建築工事標準仕様書による。
2．標準的扉材には戸当りを設ける。設置場所は監督員の承諾を得ること。
3．ガラス押えは特記なき限りシール押えとする。
4．ＬＳＤは特記なき限り指定色とし、枠：焼付塗装、扉：鋼板t=0.6焼付塗装とする。
　切窓及びガラリを設ける場合、枠なしを標準とする。
5．ＳＤは特記なき限り、扉見込40、両面フラッシュとする。
6．防音扉の仕様は特記による。
7．ハンガードアは特記なき限り手動開、自動閉鎖、閉鎖時エアブレーキ付、引手付、
　ストップ機構付とする。
8．外壁に面するＳＤは躯体による抱きを設ける。屋内に設ける枠は特記なき場合大枠とする。
9．サッシュ寸法はタイル割付などにより寸法調整を行い、監督員の承諾を得ること。
10．排煙口手動開放装置のうち、手で操作する部分は壁面の床から0.8mから1.5mの範囲に
　設け、設置場所については監督員の承諾を得ること。使用方法を示す標識を設けること。
11．ガラス厚の合計が10mmを超す建具の下枠内部でｽﾁｰﾙ補強すること。
12．特定防火設備、防火設備の区別を監督員に確認すること。
13．塗装色については監督員の承諾を得ること。
14．塩化ビニルシート貼はアイカ：ダイノックシート同等品以上とする。
15．ガラスの飛散防止フィルム貼は特記によるものとする。
16．外部の開閉可能なサッシについては全て鍵付とする。（排煙窓を除く）
17．すべての建具寸法は、特記なき限り有効開口寸法とする。
18．カード式電気錠は、美和ロックFelicaカード、FKALT仕様同等品とする。
19．一般の電気錠は、非常用装置付電気錠、美和ロックAUS-E同等品とする。
20．高耐久性木材以外の木部は共通木材保護塗装とする。

◎　外部建具
1．アルミサッシに付ける網戸の網は合成樹脂製とし、プリーツ網戸とする。
2．特記なき限り、アルミ建具(AW)には結露受(アルミ押出型材)をつけること。
3．鍵は、ピッキング防止用とする。
4．ＲＣ納まりの建具はﾓﾙﾀﾙ充填とする。外壁に面する建具は防水ﾓﾙﾀﾙ充填とする。
5．外部に面する建具には水切りを設けること。
　アルミサッシュ：アルミ製水切り、鋼製建具：SUS製水切り
6．アルミ建具は特記なき限り、以下の仕様とする。
　表面処理：B-2、　耐風圧：S-5、　気密性：A-3、　水密性：W-4、　遮音性：T-2、
　断熱性：H-3
7．外部に面するアルミサッシ枠廻りは4周共現場発泡ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ充填とする。
8．アルミサッシ以外の金属建具の枠廻りは、外部：防水モルタル内部：モルタル詰めとする。
9．シーリングは次による。
　コンクリートと金属：ポリサルファイド系シーリング材
　金属とガラス、ガラスとガラス：シリコンシーリング材
10．排煙窓の手動開放装置は隠蔽式とし、操作ボックスはﾒｰｶｰ仕様とする。
11．ガラス突きつけ部分はガラスと同厚のシリコンシーリングを行う。
12．アルミガラリはステンレス製防虫網・ダクト接続用ｱﾝｶﾞﾙ(4周)付とし、
　開口率は50%内外とする。又、補強が必要な場合は裏側補強とする。
13．回転窓、内たおし窓、外倒し窓の回転角度は45°以上とする。
14．電気錠は火災報知器連動とする。
15．外部に面する鋼製建具は特記なき限り簡易気密型ドアセット(S-4、A-3、W-1)とする。
16．クレセント高さは、床から0.8mから1.5mの範囲に設けること。
17．特記無き限り、すべて、クレセント、サムターンシリンダー錠等の鍵付とする。

◎　建具金物
1．錠前は全てマスターキー対応とする。
2．建具金物は特記なき限り下記による。
　開き戸：レバーハンドル(ユニオンUL1039-0025同等品以上)
　両開き(親子開き)戸の場合はﾌﾗｽ落し付とする。
　錠前はｹｰｽﾛｯｸﾀｲﾌﾟ　ｻﾑﾀｰﾝｼﾘﾝﾀﾞｰとする。
　EPS・PS等の点検扉は隠し丁番(ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ)とする。
　引戸：戸車、ﾚｰﾙ、ｸﾚｾﾝﾄ、把手又は引手
　全ての建具を鍵付きとする。
　サムターン、鍵の取付位置はH=1400を標準とし、監督員の承諾を得ること。
3．木製建具の引錠には敷居スペリを取り付ける。
4．両開きに取り付けるﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰは特記なき限り順位調整器付とする。
5．押棒：(三共立山アルミ　ARM-S専用品　同等品)
6．ハンガー戸は、すべて自閉式とする。

◎　鋼製・軽量鋼製建具寸法



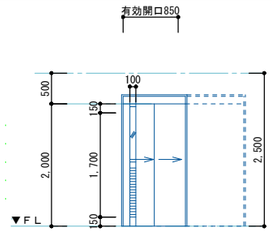
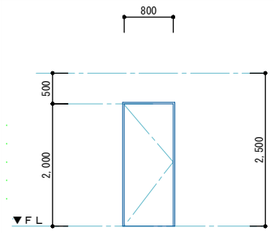
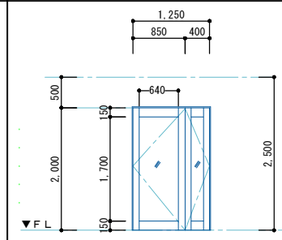
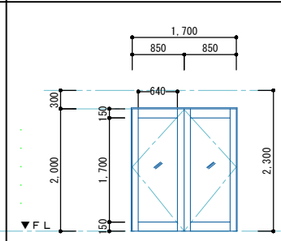
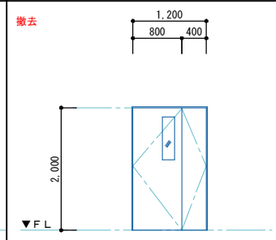
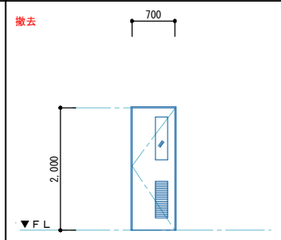
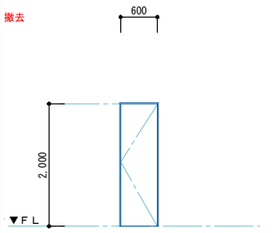
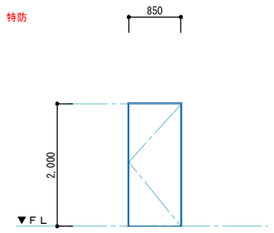
建具
WD　：木製扉
SD　：鋼製扉
SSD：ステンレス製扉
AD　：アルミニウム製扉
LSD：鋼製軽量扉
WW　：木製窓
SW　：鋼製窓
AW　：アルミニウム製窓
SS　：鋼製重量シャッター
SSS：ステンレス製シャッター
LS　：鋼製軽量シャッター
OD　：オーバーヘッドドア
WG　：木製ガラリ
SG　：鋼製ガラリ
AG　：アルミニウム製ガラリ
SSG：ステンレス製ガラリ
SL　：鉄格子
AL　：アルミニウム製ルーバー
SP　：鋼製パーテーション
AP　：アルミニウム製パーテーション
H　：ふすま
P　：障子

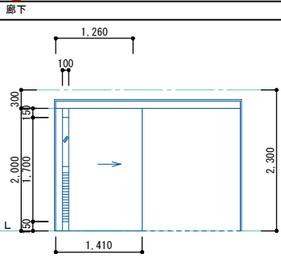
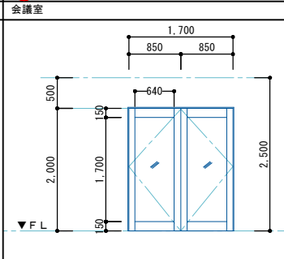
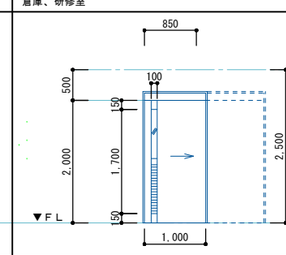
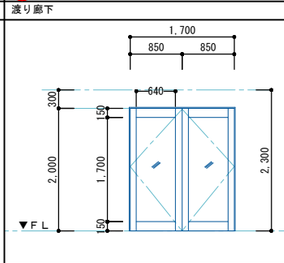
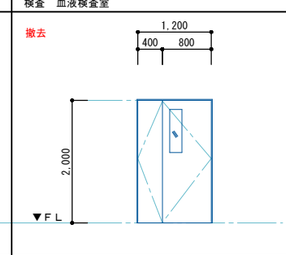
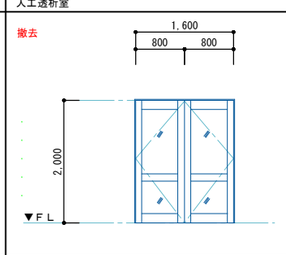
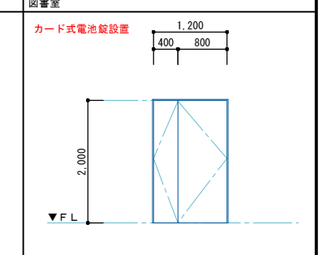
建具金物
DC：ドアクローザー
PH：ピボットヒンジ
HC：ヒンジクローザー
FH：フロアヒンジ
AS：アームストッパー
AH：オートヒンジ
LH：ラバトリーヒンジ
ガラス
FL　：フロート板ガラス
FLSG：フロート板ガラス（すりガラス）
F　：型板ガラス
NF　：網入り型板ガラス
NP　：網入りみがき板ガラス
L　：合わせガラス
T　：強化ガラス
HAP：熱線吸収フロート板ガラス
IG　：複層ガラス
HR　：熱線反射ガラス
DS　：倍強度ガラス
PC　：ポリカーボネート樹脂板
AC　：アクリル樹脂板

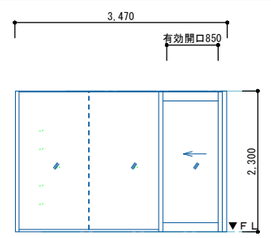
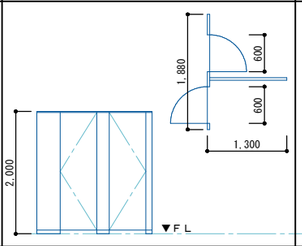
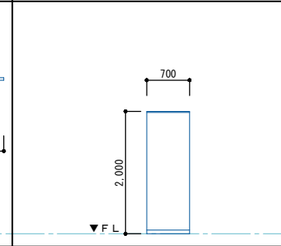
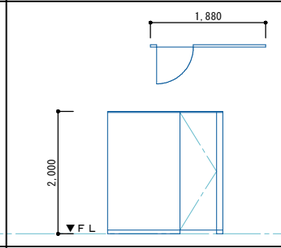
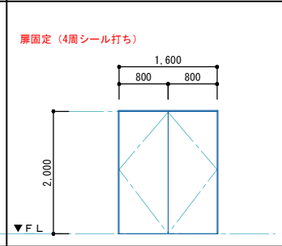
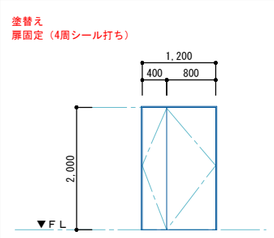
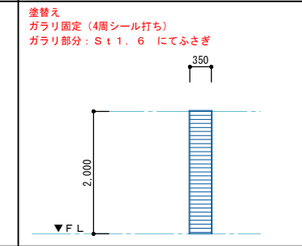
仕上げ
SOP　：合成樹脂調合ペイント塗り
FE　：フタル酸樹脂エナメル塗り
CL　：クリヤラッカー塗り
UC　：ウレタン樹脂ワニス塗り
OS　：オイルステイン塗り
LE　：ラッカーエナメル塗り
OF　：オイル塗りワックス拭き
HDZ55：鉄の溶融亜鉛めっきA種
　(550g/m2以上)
HDZ45：鉄の溶融亜鉛めっきB種
　(450g/m2以上)
HDZ35：鉄の溶融亜鉛めっきC種
　(350g/m2以上)
A－1種：無着色隠蔽酸化皮膜
A－2種：着色隠蔽酸化皮膜
B－1種：無着色隠蔽酸化塗装複合皮膜
B－2種：着色隠蔽酸化塗装複合皮膜
C－1種：無着色隠蔽酸化皮膜
C－2種：着色隠蔽酸化皮膜
D種　：化成皮膜の上に塗装

容揺形式
A：なし
B：SUS製 FB　t=3　H=20
C：内部一般(フラット) SUS製 t=2.0　W=40
D：内部一般(戸当たり) SUS製 t=2.0
E：内部簡易気密 SUS製 t=2.0
F：外部一般 SUS製 t=2.0
G：外部簡易気密 SUS製 t=2.0

ガラリの形状
特記なき限りガラリ形状はBとする。
開口率30～60%
開口率30～40%
開口率30～40%
※は図中に記載

符号・数量	LSD-101 1箇所	LSD-102 1箇所	LSD-103 1箇所	LSD-104 2箇所	KWD-101 1箇所	KWD-102 1箇所	KWD-201 2箇所	LSD-201 1箇所
場所	病児病後保育園ＷＣ	病児病後保育園　倉庫	病児病後保育園　安静室	渡廊下、廊下	検査　細菌室	検査　採尿ＷＣ	人工透析室　更衣	階段室
姿図								
形式	２本引込み戸	片開き戸	親子開き戸	両開きガラス戸（片面カード式電池錠）	親子開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸（常時閉鎖　特防）
扉材質・仕上げ（見込）	軽量スチール　焼付塗装　40	軽量スチール　焼付塗装　40	軽量スチール　焼付塗装　40	軽量スチール　焼付塗装　40	木製　ＳＯＰ　３６	木製　ＳＯＰ　３６	木製　ＳＯＰ　３６	スチール　焼付塗装　40
枠材質・仕上げ（見込）	スチール　焼付塗装　135	スチール　焼付塗装　135	スチール　焼付塗装　135	スチール　焼付塗装　135	木製　ＳＯＰ　１８０	木製　ＳＯＰ　１８０	木製　ＳＯＰ　１８０	スチール　焼付塗装　135
建具金物	付属金物一式、シリンダ-錠	ＤＣ、戸当たり、付属金物一式	ＰＨ、ＤＣ、戸当たり、フランス落し、シリンダー錠、押棒	ＰＨ、ＤＣ、戸当たり、フランス落し、シリンダー錠、押棒	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	ＰＨ、ＤＣ、戸当たり、フランス落し、シリンダー錠
ガラス	Ｆ４		Ｔ５　、飛散防止フィルム貼り	Ｔ５　、飛散防止フィルム貼り	Ｆ　4.0mm	Ｆ　4.0mm		
備考	ガラリ			片面カ-ド式電池錠				

符号・数量	LSD-105 1箇所	LSD-201 1箇所	LSD-202 2箇所	LSD-203 1箇所	KAD-101 1箇所	KAD-201 1箇所		KWD-201 1箇所
場所	廊下	会議室	倉庫、研修室	渡り廊下	検査　血液検査室	人工透析室		図書室
姿図								
形式	片引き戸	両開きガラス戸	片引き戸	両開きガラス戸（片面カード式電池錠）				親子開きフラッシュ戸
扉材質・仕上げ（見込）	軽量スチール　焼付塗装　15	軽量スチール　焼付塗装　40	軽量スチール　焼付塗装　15	軽量スチール　焼付塗装　40	親子開き戸	親子開き戸		木製　ＳＯＰ　３６
枠材質・仕上げ（見込）	スチール　焼付塗装　55	スチール　焼付塗装　135	スチール　焼付塗装　55	スチール　焼付塗装　135	アルミ　７０	アルミ　７０		木製　ＳＯＰ　１８０
建具金物	付属金物一式	ＰＨ、ＤＣ、戸当たり、フランス落し、シリンダー錠、押棒	付属金物一式	ＰＨ、ＤＣ、戸当たり、フランス落し、シリンダー錠、押棒	アルミ　１８０	アルミ　１８０		
ガラス	Ｆ４	Ｔ５、飛散防止フィルム貼り	Ｆ４	Ｔ５、飛散防止フィルム貼り	付属金物一式	付属金物一式		
備考	ガラリ		ガラリ	片面カ-ド式電池錠	ＮＰ　６．８mm	ＮＰ　６．８mm		

符号・数量	GP-101 1箇所	TB-101 1箇所	TB-102 1箇所	TB-103 1箇所		XSP-101 1箇所	XSP-201 1箇所	XSC-201 1箇所
場所	病児病後保育	ＭＷＣ	ＭＷＣ	ＷＷＣ		検査室　空調機械室	人工透析室　空調機械室	人工透析室　空調機械室
姿図								
形式	片引き戸+ガラスパーテション	トイレブース	トイレブース	トイレブース		両開き戸	両開き戸	両開き戸
扉材質・仕上げ（見込）	軽量スチール　焼付塗装　40	高圧メラミン樹脂化粧板　40	高圧メラミン樹脂化粧板　40	高圧メラミン樹脂化粧板　40		スチール　ＳＯＰ塗装　４０	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装
枠材質・仕上げ（見込）	スチール　焼付塗装　135	アルミアールエッジ　シルバー　46	アルミアールエッジ　シルバー　46	アルミアールエッジ　シルバー　46		スチール　ＳＯＰ塗装　１８０	スチール　ＳＯＰ塗装　１８０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１８０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装
建具金物	付属金物一式、シリンダ-錠	ＳＵＳ巾木、付属金物一式	ＳＵＳ巾木、付属金物一式	ＳＵＳ巾木、付属金物一式		付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
ガラス	Ｔ１０　飛散防止フィルム貼り							
備考	小松ウォール　MW-GWALL同等品							

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No.12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No.191666	別館会議室改修工事 建具表１	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014.07.01	ＢＡ－１３

■共通事項

◎　一般事項

1．特記なき事項は東京都建築工事標準仕様書による。
2．標準的扉材には戸当りを設ける。設置場所は監督員の承諾を得ること。
3．ガラス押えは特記なき限りシール押えとする。
4．ＬＳＤは特記なき限り指定色とし、枠：焼付塗装、扉：鋼板t=0.6焼付塗装とする。
　切窓及びガラリを設ける場合、枠なしを標準とする。
5．ＳＤは特記なき限り、扉見込40、両面フラッシュとする。
6．防音扉の仕様は特記による。
7．ハンガードアは特記なき限り手動開、自動閉鎖、閉鎖時エアブレーキ付、引手付、
　ストップ機構付とする。
8．外壁に面するＳＤは躯体による抱きを設ける。屋内に設ける枠は特記なき場合大枠とする。
9．サッシュ寸法はタイル割付などにより寸法調整を行い、監督員の承諾を得ること。
10．排煙口手動開放装置のうち、手で操作する部分は壁面の床から0.8mから1.5mの範囲に
　設け、設置場所については監督員の承諾を得ること。使用方法を示す標識を設けること。
11．ガラス厚の合計が10mmを超す建具の下枠内部でｽﾁｰﾙ補強すること。
12．特定防火設備、防火設備の区別を監督員に確認すること。
13．塗装色については監督員の承諾を得ること。
14．塩化ビニルシート貼はアイカ：ダイノックシート同等品以上とする。
15．ガラスの飛散防止フィルム貼は特記によるものとする。
16．外部の開閉可能なサッシについては全て鍵付とする。（排煙窓を除く）
17．すべての建具寸法は、特記なき限り有効開口寸法とする。
18．カード式電気錠は、美和ロックFelicaカード、FKALT仕様同等品とする。
19．一般の電気錠は、非常用装置付電気錠、美和ロックAUS-E同等品とする。
20．高耐久性木材以外の木部は共通木材保護塗装とする。

◎　外部建具

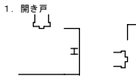
1．アルミサッシに付ける網戸の網は合成樹脂製とし、プリーツ網戸とする。
2．特記なき限り、アルミ建具（AW）には結露受（アルミ押出型材）をつけること。
3．鍵は、ピッキング防止用とする。
4．ＲＣ納まりの建具はﾓﾙﾀﾙ充填とする。外壁に面する建具は防水ﾓﾙﾀﾙ充填とする。
5．外部に面する建具には水切りを設けること。
　アルミサッシュ：アルミ製水切り、鋼製建具：SUS製水切り
6．アルミ建具は特記なき限り、以下の仕様とする。
　表面処理：B-2、　耐風圧：S-5、　気密性：A-3、　水密性：W-4、　遮音性：T-2、
　断熱性：H-3
7．外部に面するアルミサッシ枠廻りは4周共現場発泡ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ充填とする。
8．アルミサッシ以外の金属建具の枠廻りは、外部：防水モルタル内部：モルタル詰めとする。
9．シーリングは次による。
　コンクリートと金属：ポリサルファイド系シーリング材
　金属とガラス、ガラスとガラス：シリコンシーリング材
10．排煙窓の手動開放装置は隠蔽式とし、操作ボックスはﾒｰｶｰ仕様とする。
11．ガラス突きつけ部分はガラスと同厚のシリコンシーリングを行う。
12．アルミガラリはステンレス製防虫網・ダクト接続用ｱﾝｶﾞﾙ(4周）付とし、
　開口率は50%内外とする。又、補強が必要な場合は裏側補強とする。
13．回転窓、内たおし窓、外倒し窓の回転角度は45°以上とする。
14．電気錠は火災報知器連動とする。
15．外部に面する鋼製建具は特記なき限り簡易気密型ドアセット(S-4、A-3、W-1)とする。
16．クレセント高さは、床から0.8mから1.5mの範囲に設けること。
17．特記無き限り、すべて、クレセント、サムターンシリンダー錠等の鍵付とする。

◎　建具金物

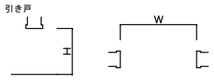
1．錠前は全てマスターキー対応とする。
2．建具金物は特記なき限り下記による。
　開き戸：レバーハンドル（ユニオンUL1039-0025同等品以上）
　両開き（親子開き）戸の場合はﾌﾗｽ落し付とする。
　錠前はｹｰｽﾛｯｸﾀｲﾌﾟ　ｻﾑﾀｰﾝｼﾘﾝﾀﾞｰとする。
　EPS・PS等の点検扉は隠し丁番（ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ）とする。
　引戸：戸車、ﾚｰﾙ、ｸﾚｾﾝﾄ、把手又は引手
　全ての建具を鍵付きとする。
　サムターン、鍵の取付位置はH=1400を標準とし、監督員の承諾を得ること。
3．木製建具の引縁には敷居スベリを取り付ける。
4．両開きに取り付けるﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰは特記なき限り順位調整器付とする。
5．押棒：（三共立山アルミ　ARM-S専用品　同等品）
6．ハンガー戸は、すべて自閉式とする。

◎　鋼製・軽量鋼製建具寸法

1．開き戸



2．引き戸



建具

WD	：木製扉
SD	：鋼製扉
SSD	：ステンレス製扉
AD	：アルミニウム製扉
LSD	：鋼製軽量扉
WW	：木製窓
SW	：鋼製窓
AW	：アルミニウム製窓
SS	：鋼製重量シャッター
SSS	：ステンレス製シャッター
LS	：鋼製軽量シャッター
OD	：オーバーヘッドドア
WG	：木製ガラリ
SG	：鋼製ガラリ
AG	：アルミニウム製ガラリ
SSG	：ステンレス製ガラリ
SL	：鉄格子
AL	：アルミニウム製ルーバー
SP	：鋼製パーテーション
AP	：アルミニウム製パーテーション
H	：ふすま
P	：障子

建具金物

DC	：ドアクローザー
PH	：ピボットヒンジ
HC	：ヒンジクローザー
FH	：フロアヒンジ
AS	：アームストッパー
AH	：オートヒンジ
LH	：ラバトリーヒンジ

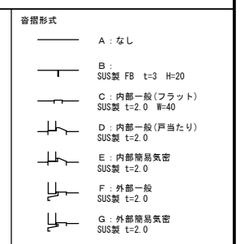
ガラス

FL	：フロート板ガラス
FLSG	：フロート板ガラス（すりガラス）
F	：型板ガラス
NF	：網入り型板ガラス
NP	：網入りみがき板ガラス
L	：合わせガラス
T	：強化ガラス
HAP	：熱線吸収フロート板ガラス
IG	：複層ガラス
HR	：熱線反射ガラス
DS	：倍強度ガラス
PC	：ポリカーボネート樹脂板
AC	：アクリル樹脂板

仕上げ

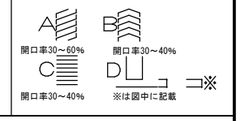
SOP	：合成樹脂調合ペイント塗り
FE	：フタル酸樹脂エナメル塗り
CL	：クリヤラッカー塗り
UC	：ウレタン樹脂ワニス塗り
OS	：オイルステイン塗り
LE	：ラッカーエナメル塗り
OF	：オイル塗りワックス拭き
HDZ55	：鉄の溶融亜鉛めっきA種（550ｇ/m2以上）
HDZ45	：鉄の溶融亜鉛めっきB種（450ｇ/m2以上）
HDZ35	：鉄の溶融亜鉛めっきC種（350ｇ/m2以上）
A－1種	：無着色隔様酸化皮膜
A－2種	：着色隔様酸化皮膜
B－1種	：無着色隔様酸化塗装複合皮膜
B－2種	：着色隔様酸化塗装複合皮膜
C－1種	：無着色隔様酸化皮膜
C－2種	：着色隔様酸化皮膜
D種	：化成皮膜の上に塗装

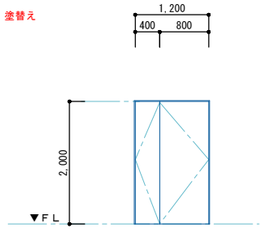
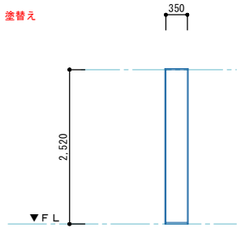
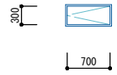
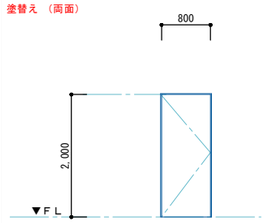
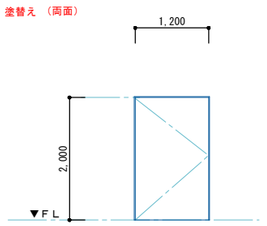
容摺形式

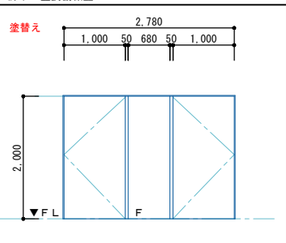
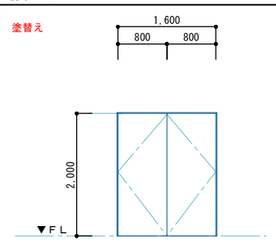
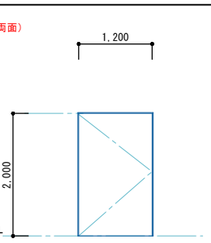
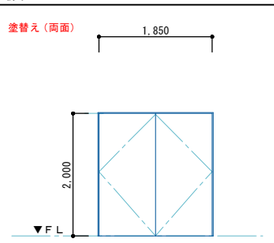
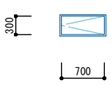


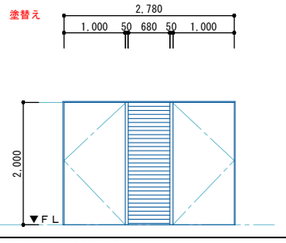
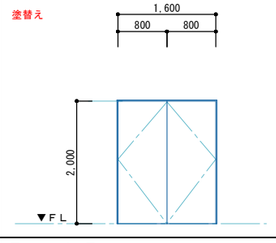
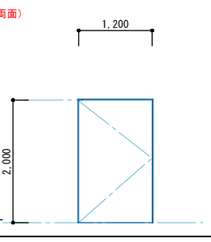
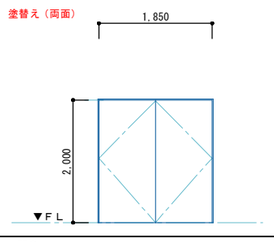
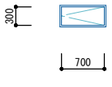
ガラリの形状

特記なき限りガラリ形状はＢとする。



符号・数量	KSD-101 1箇所	KSD-101 1箇所	KSD-102 3箇所		KSD-104 1箇所	KSD-105 2箇所		
場所	健診センター　空調機械室	健診センター 空調機械室	健診センター　ＰＳ		階段室　倉庫	階段室		
姿図	塗替え 	塗替え 	塗替え 		塗替え　（両面） 	塗替え　（両面） 		
形式	親子開き戸	ＦＩＸ	片開きアングル戸		片開き戸	片開き戸		
扉材質・仕上げ（見込）	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　７０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　２５　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装		スチール　ＳＯＰ塗装　４０　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装		
枠材質・仕上げ（見込）	スチール　ＳＯＰ塗装　１８０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１８０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装		スチール　ＳＯＰ塗装　１００　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装		
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		付属金物一式	付属金物一式		
ガラス								
備考								

符号・数量	KSD-102 1箇所	KSD-103 1箇所	KSD-104 1箇所	KSD-105 1箇所	KSD-106 1箇所			
場所	廊下　空調機械室	廊下　ＥＰＳ	階段室	廊下	ＷＷＣ　　ＰＳ			
姿図	塗替え 	塗替え 	塗替え　（両面） 	塗替え（両面） 	塗替え 			
形式	ＦＩＸ+片開きアングル戸	両開きアングル戸	片開き戸	両開き戸	片開きアングル戸			
扉材質・仕上げ（見込）	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　２５　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装			
枠材質・仕上げ（見込）	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１８０　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装			
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式			
ガラス								
備考								

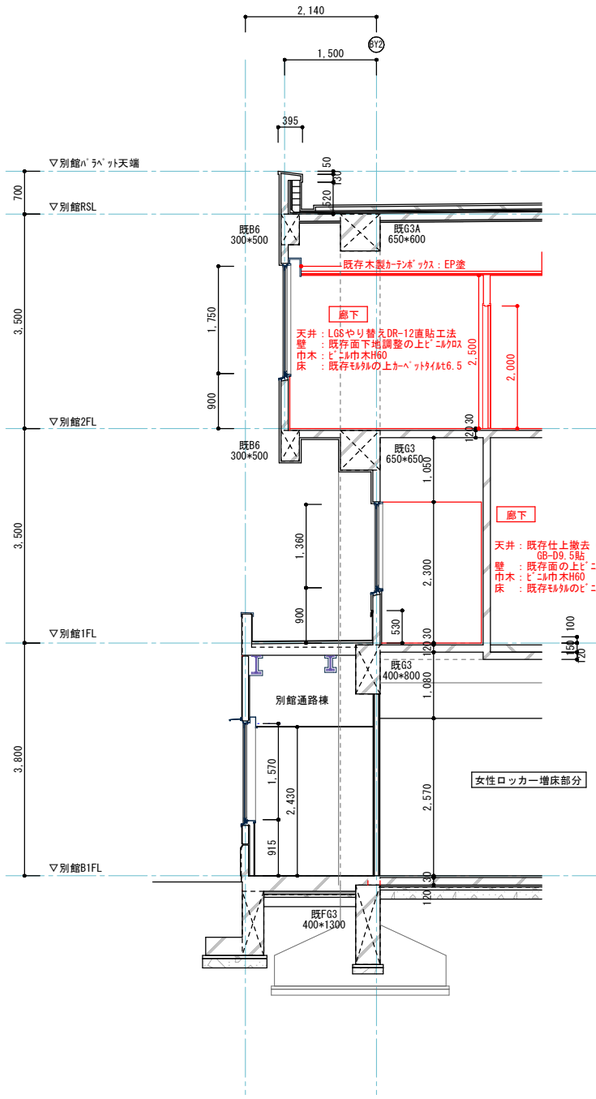
符号・数量	KSD-201 1箇所	KSD-202 1箇所	KSD-203 1箇所	KSD-204 1箇所	KSD-205 1箇所			
場所	廊下　空調機械室	廊下　ＥＰＳ	階段室	廊下	ＷＷＣ　　ＰＳ			
姿図	塗替え 	塗替え 	塗替え　（両面） 	塗替え（両面） 	塗替え 			
形式	ガラリ付片開きアングル戸	両開きアングル戸	片開き戸	両開き戸	片開きアングル戸			
扉材質・仕上げ（見込）	スチール　ＳＯＰ塗装　２５　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　４０　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　２５　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装			
枠材質・仕上げ（見込）	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１８０　両面：ＥＰ-Ｇ再塗装	スチール　ＳＯＰ塗装　１００　片面：ＥＰ-Ｇ再塗装			
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式			
ガラス								
備考								

工事件名	NO.	メモ	図面名称	縮尺	図面NO.
大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	（株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	別館会議室改修工事 建具表２	A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014. 07. 01	ＢＡ－１４

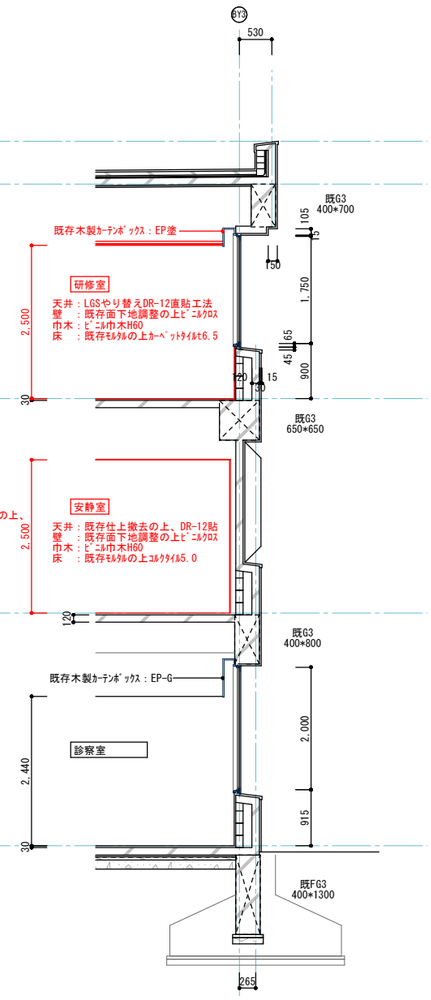
改修

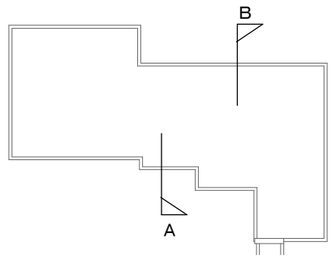
赤：改修部分を示す。

A矩計図



B矩計図





工事件名　NO. 大月市立中央病院既存棟改修工事	佐野・山形大月市立中央病院新病棟建設等建築関連業務共同企業体	メモ （株）佐野建築研究所 一級建築士事務所　登録No. 12476 統括建築士 一級建築士　長井隆志　登録No. 191666	図面名称 別館会議室改修工事 別館　矩計図	縮尺 A1 1：50 A3 1：100 作成年月日 2014. 07. 01	図面NO. BA－15